202年度 観光ビジネス学科 シラバス

■目次

1.	学修成果(到達目標)		4
2.	教育課程(カリキュラムマップ)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
3.	カリキュラムツリー		6
4.	1年生 年間予定表	•••••	8
5.	1年生 シラバス	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	10

開講科目	頁
日本語表現法	10
英語 I	11
コミュニケーション論	12
情報処理	13
数理リテラシー	14
経営学入門	15
マーケティング	16
観光概論	17
観光ビジネス論	18
国内観光地理	19
英語Ⅱ	20
ビジネスマナー	21
情報機器演習	22
エアラインビジネス実務	23
エアラインサービス	24
鉄道ビジネス実務	25
宿泊ビジネス実務	26
ホテル・ブライダルサービス	27
ウェディングブライダル演習	28
秘書実務	29

開講科目	頁
旅行業法	30
旅行業約款	31
国内運賃・旅費計算	32
旅行業務演習	33
旅程管理	34
韓国語会話I	35
英会話基礎	37
英会話応用	38
観光英語	39
TOEIC演習	40
観光インターンシップ	41
海外研修	42
基礎キャリア形成ゼミ	43
実践キャリア形成ゼミ	44
初年次ゼミ	45
観光ゼミナールA	46
観光ゼミナールB	47
観光ゼミナールC	48
観光ゼミナールD	49
観光ゼミナールE	50

6. 2年生年間予定表 7. 2年生 シラバス

開講科目	頁
東北学	54
歴史と文化	55
法律入門	56
現代の社会	57
国際観光論	58
観光史と観光文化	59
観光ビジネス英会話	60
旅行ビジネス実務	61
ホテル経営	62
ブライダルビジネス実務	63
旅と文学	64
テーマパークビジネス	65
国内観光資源	66

開講科目	頁
海外観光地理	67
東南アジアの言語と文化	68
韓国語会話Ⅱ	69
中国語会話I	71
中国語会話Ⅱ	72
フランス語会話	73
おもてなし英語	74
観光英語ガイド基礎	75
観光ゼミナールA	76
観光ゼミナールB	77
観光ゼミナールC	78
観光ゼミナールD	79
観光ゼミナールE	80

52 54

12. ナンバリング	 82
12. 学科教員一覧	 85
13. オフィスアワー	 85
14. 成績評価	 85
15. 実務経験を有する教員の一覧	 86

観光ビジネス学科

- 学修成果(到達目標)
- 教育課程(カリキュラムマップ)
- カリキュラムツリー

学修成果 (到達目標)

1【基礎力】一般教養並びに各専門分野の基礎的能力

広い視野を持ち、深い知識と技能を修得し、観光ビジネスの現場で活かすことができる。

- ①総合的な判断力の基礎を養うことができる。
- ②多角的な視野から物事を思考し、本質を見極め、問題解決に取り組むことができる。
- 2【実践力】各分野の実際の場面に対応できる力

複雑化する現代社会において、豊かな教養を身につけ、職業人として多角的に物事を見つめることができる。

- ①基本的なビジネスマナーを身につけ観光ビジネスの現場で実践することができる。
- ②収集した情報を状況に応じて適切に判断し、活用することができる。
- 3【人間関係力】専門職・社会人として必要なコミュニケーション能力

豊かなコミュニケーション能力を身に付け、職業人として自己の能力を発揮することができる。

- ①積極的かつ意図的にコミュニケーションを作りだすことができる。
- ②他者の考えや立場を理解し、自分の意見を述べることができる。
- 4【生涯学習力】生涯にわたって学び、成長できる力

継続してキャリアを積むことにより、さらなる業務遂行能力をはじめとする人間的成長ができる。

- ①生涯にわたって、課題を発見し、解決する力を身につける。
- ②時代の変化に応じ、生涯を通じて自分のキャリアを形成していくことができる。
- 5【地域理解力】地域・文化の多様性を理解し、地域に貢献できる力

職業人として地域社会の活性化に貢献することができる。

- ①職業や勤労に対する理解を深め、地域で意欲的に働くことができる。
- ②地域での活動に積極的に参加し、役割に即した活動の成果をあげることができる。
- ③東北地方の歴史、文化、社会、経済、観光資源について理解し、地域社会に貢献することができる。

学修成果: 1 基礎力、2 実践力、3 人間関係力、4 生涯学習力、5 地域理解力学修成果とは、学生がその授業科目で何ができるようになったかを表すものです。 ●は、各授業科目が学修成果の1~5のどれに当てはまるかを表すものです。

日本語表現法 15 ○ 次 次 次 次 次 次 次 次 次	1		修 3	成 4		期	修 後 期 ○	2		[女	果 5	単位 必修 1 1 2 2 2 2 2 1		ホテル・リゾートモ 〇〇〇〇〇	ディングモデル O O O O	を モデル 〇〇〇〇〇〇	エアラ	外国語コミュニケー 〇 〇
## 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 日本語表現法 15 ○		学 2	8 3	•	5	期	期〇	学 1 • •	修	. 月	4 •	5	1 1 2 2 2 2	選択	ル・リゾートモ 〇〇〇〇 〇〇	· ングモデル O O O O	· テーマパーク O O O O	スモデル 〇 〇 〇 〇	ンモデル ООО
株理			3	•	5	期	期〇	1			4 •	5	1 1 2 2 2 2	選択	0 0 0	グモデル O O O	0 0 0 0	スモデル 〇 〇 〇 〇	ンモデル ООО
## 日本語表現法 15 ○			•	•	•	0	0	•	2	3	•		1 1 2 2 2 2		0 0 0	デ・ウェ O O O O O O	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0
## 1			•	•	•	0	0	•	2	3	•		2 2 2		0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0
大間と文化 20			•	•	•	0		•			•	•	2 2 2		0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0	0
大間と文化 20			•	•	•	0		•			•	•	2 2 2		0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	0
整数音 20 15 15 15 15 15 15 15 1			Ť	•	•	0		•			•	•	2 2 2		0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0	0
歴史と文化 15	•		Ť	•	•	0		•			•		2 2 2		0 0	0 0	0 0	0	
1	•		Ť	•	•	0		•			•		2		0	0	0	0	0
1	•		Ť	•	•		0	•			•		2					0	0
1	•		Ť	•	•							$\frac{1}{1}$	1		0	0	\sim	-	0
上	•				•						_	\Box	1	1			0	0	0
基礎科目 必修14 基礎科目	•				•						_				0	0	0	0	0
基礎科目 2	•				•				+	- 1	$\overline{}$		1		0	0	0	0	0
基礎科目	•			•	•					\longrightarrow			2		0	0	0	0	0
基礎科目 後	•			•									2		0	0	0	0	0
B内観光論 15	•			•						-			2		0	0	0	0	0 0
国際観光論 15	•						j		+	\rightarrow		\dashv	2	-	0	0	0	0	0
観光文化 15		•				0	\dashv	•	\dashv	\rightarrow		•	2	-	0	0	0	0	0
基幹科目 必修6 一切		•			I	_	0	•			•		2	-	0	0	0	0	0
基幹科目 必修6 観光ビジネス英会話 15 ○	•											\dashv	1	\dashv	0	0	0	0	0
情報機器演習 15 ○ 旅行ビジネス実務 15 ○ エアラインビジネス実務 15 ○ エアラインサービス 15 ○ (集中) 鉄道ビジネス実務 15 ○ 市テル・ブライダルサービス 15 ○ ホテル・ブライダルビジネス実務 15 ○ でシェディングブライダル演習 15 ○ 秘書実務 15 ○ がはと文学 15 ○ 下ーマパークビジネス 15 ○ 旅行業法 15 ○ 下一マパークビジネス 15 ○ 旅行業法 15 ○ 国内観光資源 15 ○ 国内観光資源 15 ○ 国内観光資源 15 ○ 国内観光資源 15 ○ 国内観光資源 15 ○ 国内観光資源 15 ○ 東南アジアの言語と文化 15 ○ 韓国語会話 I 15 ○ 京本会話 I 15 ○ 中国語会話 I 15 ○ 日本会話 I 15 ○ 日本会社 I 15 ○ 日本	•					0			•	•			2		0	0	0	0	0
藤行ビジネス実務 15 ○ (集中) 鉄道ビジネス実務 15 ○ (集中) 鉄道ビジネス実務 15 ○ (集中) 鉄道ビジネス実務 15 ○ (事中) 大き では できない できない できない できない できない できない できない できない	-		•										2		0	0	0	0	0
中門教育	+	•					\Box					ightharpoons I	1		0	0	0	0	0
サービス 15 ○ (集中) 鉄道ビジネス実務 15 ○ (本テル・ブライダルサービス 15 ○ (本テル・ブライダルサービス 15 ○ (本テル・ブライダルビジネス実務 15 ○ (本テル経営 ブライダルビジネス実務 15 ○ (本テル経営 ブライダルビジネス実務 15 ○ (本テングブライダル演習 15 ○ (本テングブライダル演習 15 ○ (本テングブライダル演習 15 ○ (本 (本)))						0			•		•			2			0		
映道ビジネス実務 15 ○	+	•												2				0	0
電泊ビジネス実務 15 ○	+-	•								_				2				0	0
ホテル・ブライダルサービス 15 ○ ホテル経営 7ライダルビジネス実務 15 ○ かま実務 15 ○ がま実務 15 ○ がたて業法 15 ○ がの実質・旅費計算 15 ○ がの実質・旅費計算 15 ○ がの状況を調査を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	_				•									2	0	0		0	
専門教育分野 展開科目 選択22以上 15		•	•											2	0	0			
専門教育分野						0			•			•		2	0	0			
 融書実務 15 ○ か						0			•	•				2	0	0			
門教育分野 松書実務 15 ○		•	•											1	0	0			
テーマパークビジネス 15 旅行業法 15 ○ 旅行業法 15 ○ 版行業法 15 ○ 国内運賃・旅費計算 15 ○ 国内観光資源 15 版行業務演習 15 版程管理 15 ○ (集中) 東南アジアの言語と文化 15 韓国語会話 I 15 ○ 韓国語会話 I 15 ○ 日報語会話 I 15 ○ 日報語会話 I 15 ○ 日報語会話 I 15 ○ 日報語会話 I 15 ○ 日報 I 15 ○ 日報光度語 I 15 ○ 日報 I 15		•	•											2		0		0	
株の元素	_					0					•	•		2	0			0	
野 旅行業約款 15 ○	Ļ						0		•			•		2			0		
展開科目選択22以上 国内運賃・旅費計算 15 ○ 国内観光資源 15 「本行業務演習 15 「本行業務演習 15 「本行業務演習 15 「本行業務演習 15 「本程管理 15 ○ (集中) 下車 国語会話 I 「 15 「 15 「 15 「 15 「 15 「 15 「 15 「	•	•								_				2			0		
国内観光資源 15 (素中) 15 (表中) 15	•									_				2			0		
展開科目選択22以上旅行業務演習15 (集中)海外観光地理15 (集中)旅程管理15 (集中)東南アジアの言語と文化15 (事事)韓国語会話 I15 (事事)中国語会話 I15 (事事)中国語会話 I15 (事事)中国語会話 I15 (事事)フランス語会話15 (事事)英会話基礎15 (事事)英会話応用15 (事事)観光英語15 (事事)TOEIC演習15 (事事)おもてなし英語15 (事事)観光英語ガイド基礎15 (事事)	+					0				$\overline{}$	•			2	0	0	0		
海外観光地理 15 (集中) 東南アジアの言語と文化 15 (東南アジアの言語と文化 15 (東国語会話 I 15 (ローラー) 東国語会話 I 15 (ローラー) 東国語会話 I 15 (ローラー) 東会話 I 15 (ローラー) 東会話 基礎 (ローラー) 東会話応用 (ローラー) ローラー	•	•									Ť			1			0		
東南アジアの言語と文化 15 韓国語会話 I 15 ○ 韓国語会話 I 15 □ □ 韓国語会話 I 15 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						0					•	•		2			0	0	0
韓国語会話 I 15 0 中国語会話 I 15 フランス語会話 I 15 英会話基礎 I 15 0 英会話応用 I 15 0 可EIC演習 I 15 0 おもてなし英語 I 15 のおもてなし英語 I 15 のおもてなし英語 I 15 日 15		•			•									2	0		0		
韓国語会話 II 15						0			•			•		2			0		0
中国語会話 I 15 中国語会話 II 15 フランス語会話 15 英会話基礎 15 英会話応用 15 観光英語 15 TOE IC演習 15 おもてなし英語 15 観光英語ガイド基礎 15	•	•										\Box		1	0	0		0	0
中国語会話 II 15 フランス語会話 15 英会話基礎 15 〇 英会話応用 15 〇 哲光英語 15 〇 TOEIC演習 15 〇 おもてなし英語 15 観光英語ガイド基礎 15	1					0		_	•			\longrightarrow		1					0
フランス語会話 15 英会話基礎 15 ○ 英会話応用 15 ○ 英会話応用 15 ○ TOEIC演習 15 ○ おもてなし英語 15 世紀 表記 15 世紀 15	_					0		•	•	-		\dashv		1	0	0		0	0 0
英会話基礎 15 ○ 英会話応用 15 ○ 観光英語 15 ○ TOEIC演習 15 ○ おもてなし英語 15 観光英語ガイド基礎 15	+				-		0		•	\rightarrow		\dashv		1		0			0 0
英会話応用 15 ○ 日報光英語 15 ○ 日本 15 日本	•		•		\dashv			-	-	\rightarrow		\dashv		1				0	0
観光英語 15 ○ TOEIC演習 15 ○ おもてなし英語 15 包	+						\dashv			\dashv		\dashv		1		0	0		0
TOEIC演習15○おもてなし英語15観光英語ガイド基礎15	1	•			\dashv		\dashv		\dashv			\dashv		1		0	0	0	0
観光英語ガイド基礎 15	•	•					T					+		1	0			0	0
							0		•	•				2	0	0		0	0
						0			•			•		2				0	0
観光インターンシップ - 〇 (集中)	J	•	•]					\bot		1	0	0			
海外研修 - 〇(集中)	1	•	-	_	_				\perp			\dashv	4	1	0	0	0	0	0
基礎演習 基礎キャリア形成ゼミ 15 ○ まはキャリア形成ゼミ 15 ○	Ļ	•	•	•	•		-		\perp			\dashv	1	\dashv	0	0	0	0	0
必修3 美域イヤリア形成セミ 15 0	•	•	•	•			-		-	\rightarrow		\dashv	1		0	0	0	0	0 0
	•					0	0		•			_	-	1	J	J	U	<u> </u>	<u> </u>
分	•		•	•	•		0	•	•	•	•	•		1					
野 専門演省 網来ゼミナール ○ 15 │ ○ │ ○	•	•	•	•	•		0	•	•	•	•	•		1	0	0	0	0	0
選択必修3以上 観光ゼミナールD 15 O O	•		•	•	•	0	0	•	•	•	•	•		1					
観光ゼミナールE 15 0 0	•		•	•	•	0	0	•	•	•	•	•		1					
総計(卒業要件62単位							_								62	62	62	62	62

観光ビジネス論

コミュニケーション論

国際観光論

東北学

法律入門

観光史と観光文化

歴史と文化

現代の社会

一礎科目

教養教育分野

観光概論

国内観光地理 日本語表現法

英語 I

情報処理

数理リテラシー

観光ビジネス学科 1年生 (2022年度入学生)

- 年間予定表
- シラバス

2022年度 観光ビジネス学科 年間予定表

前期

	i	B		月		火		水		木		金		±
											1		2	
	3		4		5		6	入学式	7	オリエンテーション	8	オリエン テーション	9	
4 月	10		11	1	12	健康診断	13	健康診断	14	1	15	1	16	
	17		18	2	19	1	20	1	21	2	22	2	23	
	24		25	3	26	2	27	2	28	3	29	昭和の日	30	
	1		2	4	3	憲法記念日	4	みどりの日	5	こどもの日	6	3	7	
	8		9	5	10	3	11	3	12	4	13	4	14	
5 月	15		16	6	17	4	18	4	19	5	20	5	21	
	22		23	7	24	5	25	5	26	6	27	6	28	
	29		30	8	31	6	1	6	2	7	3	7	4	
	5		6	9	7	7	8	7	9	8	10	8	11	
6 月	12		13	10	14	8	15	8	16	9	17	9	18	
月 	19		20	11)	21	9	22	9	23	10	24	10	25	
	26		27	12	28	10	29	10	30	11)	1	11)	2	
	3		4	13)	5	11)	6	11)	7	12	8	12	9	
7	10		11	14)	12	12	13	12	14	13)	15	13	16	
月	17		18	海の日	19	13)	20	13)	21	14)	22	14)	23	
	24		25	15)	26	14)	27	14)	28	15)	29	15)	30	
	31		1	予備日	2	15)	3	15)	4	定期試験	5	定期試験	6	
	7		8	定期試験	9	定期試験	10	追試験	11	山の日	12		13	
8 月	14		15		16		17		18		19	不合格発表	20	
	21		22		23		24		25		26		27	
	28		29		30		31		1		2		3	
	4		5		6		7		8		9		10	
9 月	11		12		13		14		15		16		17	
	18		19	敬老の日	20		21		22	後期オリエン テーション	23	秋分の日	24	

[※]振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

[※]追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

[※]再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2022年度 観光ビジネス学科 年間予定表

後期

	日		月		火		水		木		金		±
	25	26	1	27	1	28	1	29	1	30	1	1	
	2	3	2	4	2	5	2	6	2	7	2	8	
10 月	9	10	スポーツの日	11	3	12	3	13	3	14	3	15	
月	16	17	3	18	4	19	4	20	4	21	4	22	
	23	24	4	25	⑤	26	⑤	27	(5)	28	予備日	29	せいよう祭
	30	31	⑤	1	6	2	6	3	文化の日	4	⑤	5	
	6	7	6	8	7	9	7	10	6	11	6	12	
11 月	13	14	7	15	8	16	8	17	7	18	7	19	
月	20	21	8	22	9	23	勤労感謝の日	24	8	25	8	26	
	27	28	9	29	10	30	9	1	9	2	9	3	
	4	5	10	6	11)	7	10	8	10	9	10	10	
12 月	11	12	11)	13	12)	14	11)	15	11)	16	11)	17	
月	18	19	12	20	13)	21	12	22	12)	23	12	24	
	25	26		27		28		29		30		31	
	1	2		3		4		5	13)	6	13)	7	
	8	9	成人の日	10	14)	11	13)	12	14)	13	14)	14	
月	15	16	13)	17	15)	18	14)	19	(15)	20	15)	21	
	22	23	14)	24	予備日	25	15)	26	予備日	27	予備日	28	
	29	30	15)	31	定期試験	1	定期試験	2	定期試験	3	追試験	4	
	5	6		7		8	不合格発 表	9		10		11	建国記念の日
2 月	12	13		14		15		16		17		18	
月	19	20		21		22		23	天皇誕生日	24		25	
	26	27		28		1		2		3		4	
	5	6		7		8		9		10		11	
3 月	12	13		14		15		16		17		18	
月	19	20	卒業式	21	春分の日	22		23		24		25	
	26	27		28		29		30		31			

[※]振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

[※]追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

[※]再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

科目ナンバリング 2 3 4 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 CO-0-HCU-01 学修成果 単位 授業内課題 科目名 100 % 日本語表現法 徳田 幸雄 (チェックテスト) 認定者 1 単位 観光ビジネス学科 必修 1年 単位数 価 前期 開講時期 の 対象学科 方 30 時間 必修·選択 授業時間数 法 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である 言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用 の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相 授業の概要 手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えること で、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。 日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 ・日本語の特徴を理解するとともに,正しい敬語表現を身につける。 到達日標 ・目的に合わせた文章(文書)作成ができるようになる。 日本語を知ることは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自 学修者への らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。 期待等 授業計画 準備学修 ガイダンス 日本語と英語との相違を考えてみよう。(10分程度) 1 世界から見た日本語の特徴 2 日本語の歴史 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 3 ことばと表現①(熟語、語句) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) ことばと表現②(ことわざ、故事成語) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 4 5 敬語表現①(敬語の基本) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 敬語表現②(尊敬語と謙譲語) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 6 7 修飾語と被修飾語との関係 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 修飾語と被修飾語との関係(練習問題) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 8 9 句読点の打ち方(原則論) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 句読点の打ち方と文章要約(述語への着目) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 10 句読点の打ち方と文章要約(必要な点と不要な点) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 11 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 12 句読点の打ち方と文章要約(境界の点) 13 句読点の打ち方と文章要約(逆転の点) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 句読点の打ち方と文章要約(自由の点) 前回のチェック・テストの復習。(10分程度) 14 文章の構成 15 プリントを配布する。 教科書 『日本語の作文技術(朝日文庫)』本多勝一著(朝日新聞出版) 参考文献 『大学生のための日本語表現実践ノート』米田明美他著(風間書房)

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

講義はすべて遠隔(オンデマンド)で実施する。

科目ナンバリング 2 3 1 5 CO-0-HCU-02 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 学修成果 単位 科目名 英語 I 吉野 千乃 試験 (筆記) 60 % 認定者 単位 観光ビジネス学科 必修 1年 単位数 1 授業内課題 20 % 開講時期 前期 ၈ 対象学科 必修·選択 配当年次 方 授業時間数 30 時間 受講態度 20 % 法 授業形態 渖習 15 回 授業回数 日常会話で頻繁に用いられる基本表現を「話し」・「聞く」ことができる力を養い、基礎的な英語 コミュニケーション能力を修得する。また、当該専門職として必要となる語彙や基本表現も身につけ 授業の概要 私たちの日常でよく用られる英語表現を習得し、平易な英語で基本的なコミュニケーションが取れ るようになる。また、海外旅行や観光に関する英語表現についても学び、希望の進路を実現するため 到達目標 の力を身につける。 授業にはテキスト,辞書を持参すること。授業前には該当箇所の音声をダウンロードし,予習を行う 学修者への 期待等 各時に行うペア/グループでの会話練習やロールプレイに積極的な姿勢で臨むこと。 回 授業計画 進備学條 授業の進め方について/事前学修・事後学修の方法 シラバス記載の内容を確認しておく(概ね20分)。 1 Chapter 1のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 Chapter 1 Preparing for the Trip / 旅の準備をしよう 2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ 音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 Chapter 2 On the Airplane / 機内にて Chapter 2のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 3 『アワークによる発音練習とロールプレイ 音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 Chapter 3のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 Chapter 3 Arrival and Passport Control / 到着と入国審査 4 音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 ペアワークによる発音練習とロールプレイ Chapter 4 Banking and Leaving the Airport / 両替をしよ Chapter 4のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 5 音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 『アワークによる発音練習とロールプレイ Chapter 5 Checking Into the Hotel / ホテルにチェックイ Chapter 5のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 6 音声をダウンロードし,発音を確認する(概ね20分)。 ペアワークによる発音練習とロールプレイ Chapter 6 Hotel Facilities / ホテル内の施設を利用しよう Chapter 6のrm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 7 ペアワークによる発音練習とロールプレイ 音声をダウンロードし,発音を確認する(概ね20分)。 Chapter 7 Let's Eat / 食事をしよう Chapter 7のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 8 ペアワークによる発音練習とロールプレイ 音声をダウンロードし,発音を確認する。(概ね20分) Chapter 8 Sightseeing / 観光に行こう Chapter 8のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 9 ペアワークによる発音練習とロールプレイ 音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 Chapter 9のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30分)。 Chapter 9 Making Small Talk / 会話を楽しもう 10 音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 ペアワークによる発音練習とロールプレイ Chapter 10のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30 Chapter 10 Shopping / ショッピングをしよう 11 ペアワークによる発音練習とロールプレイ 分)。音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 Chapter 11 Feeling Sick / 体調を崩してしまったら Chapter 11のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30 12 ペアワークによる発音練習とロールプレイ 分)。音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 Chapter 12 Getting Around / 街を歩いてみよう Chapter 12のWarm-up, Vocabularyを予習する(概ね30 13 ペアワークによる発音練習とロールプレイ 分)。音声をダウンロードし、発音を確認する(概ね20分)。 自分の行ってみたい国や地域、見たいもの、体験したいことに Task 旅行の計画を立ててみよう①プランを作る 14 ついて考えておく(概ね50分)。 作成した旅行プランを発表するための準備を行う(概ね90 15 Task 旅行の計画を立ててみよう②プレゼンテーション 教科書 Diane H. Nagatomo, 村瀬文子(2016). Simply Traveling: Communication Anytime, Anywhere!. 金星堂 資料は随時LMSより配信する。 参考文献

※以下は該当者のみ記載する。

備者

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

履修者の状況によって進度や順番に変更が生じる場合がある。

 学修成果
 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

 ●
 ●
 ●
 日

	•		•															
科目名		コミ	ュニケー	ション論	ì	単位 認定者	朴 5	賢淑		試験	(筆記)	70	%					
11 22 346 7.1	観光ビジ	ネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の	受講	態度	30	%					
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30 時間	方法									
HU-1-V					授業形態	講義	授業回数	15 回										
授業の概要	ては, = ミュニク	コミュニク	ケーショ ンの基礎	ンの取り 的な理論	方が大きく aについて社	変化し, 会学的な	とめに重要なまた、複雑 また、複雑 は視点から考え 目的とする。	になってい 察し,対人	る。	本科目	目において	ては,	コ					
到達目標	ためのコ	コミュニ	ケーショ	ンスキル	について考	察し、沿	こうえで,現 5用できるよ 5徴を理解す	うにする。	関係	を円滑	骨に構築し	してい	<					
学修者への 期待等			コミュニ てほしい。		ンの理論や	スキルに	ルは日常生活において確認したり使用したりするなど 											
			授	業計画				Ž	隼備爿	学修								
1	コミュニク	ァーション	の基礎概	念			授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度)											
2	非言語コ 割:見た				語メッセーシ	の役	授業後には,振 (1時間程度)	り返りをとおし	ンて学,	んだ内気	容をまとめて	ておくこ	と。					
3	非言語コ	ミュニケー	ーション (2	2)-真実	を伝える体の	り動き	授業後には,振 (1時間程度)	り返りをとおし	ノて学,	んだ内タ	容をまとめて	ておくこ	と。					
4					としての言語		授業後には,振 (1時間程度)	り返りをとおし	ノて学,	んだ内タ	容をまとめて	ておくこ	と。					
5	言語コミ: ン	ュニケーミ	ンョン (2)・	一言語に	よるコミュニク	ケーショ	授業後には,振 (1時間程度)	り返りをとおし	ノて学,	んだ内タ	容をまとめて	ておくこ	と。					
6	会話のダ	「イナミック	ウス				授業後には,振 (1時間程度)	り返りをとおし	ンて学,	んだ内気	容をまとめて	ておくこ	と。					
7	『聞く』『耶	徳く『訊く	.]				授業後には,振 (1時間程度)	り返りをとおし	ノて学,	んだ内気	容をまとめて	ておくこ	と。					
8	『文字』の)コミュニ/	ケーション	/			授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度)											
9	「自己」と	コミュニケ	ケーション				授業後には,振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度)											
10	親密性の)コミュニ/	ケーション	/			授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度)											
11	さまざまた	<i>なタイプの</i>	人の話を	と聞く			授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度)											
12	バーチャ	ル空間の)コミュニク	ケーション	/		授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度)											
13	コミュニク	ァーション	のツール	としてメラ	ディア		授業後には,振 (1時間程度)											
14	異文化コ	ミュニケー	ーション (ク	ゲストスピ	ーカーの講	話)	「異文化とは何 度)	か」について	調べて	ておいて	てください。	(1時間	程					
15	コミュニケ						授業後には,振 (1時間程度)	り返りをとおし	ノて学,	んだ内気	容をまとめて	ておくこ	と。					
教科書	•使用した	ない。 適宜 	冝,レジュフ	べを配布す 	トる。													
参考文献							かむ』有斐閣 †団法人 放設		振興:	会 201	9 _°							
備考	講義で	随時配る		アイルして	ておくこと。)置き方を	と変えることが	ある。										

※以下は該当者のみ記載する。

	1	2	3	4	5						科目ナンバ	パリング				
学修成果	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						CO-0-HS	C-01				
	•	•														
科目名		ļ.	情報処	理	ļ	単位 認定者	氏家	留美	子	≑ æ	試験(筆記)	50 %				
사色쓰전	観光ビジ	ジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1	単位	評価の	授業内課題	20 %				
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30	時間		受講態度	30 %				
101190					授業形態	演習	授業回数 15 回									
授業の概要	理など情	青報伝達	• 発信方	法の基礎	を学ぶ。加	位置を占めるパソコンを用いて,文書作成やデータ処パソコンをコミュニケーションツール,ビジネストを使う者のマナー,情報保護の意識等も学修する。										
到達目標	パソコンの基本操作を修得し、業務内でWord・Excel・PowerPointが効率的に使用出来ることを目標とする。 ◆Word:書式設定や印刷設定を適切に使える。表・図形・写真を取り入れた表現力のある文書を作成できる。 ◆Excel:書式設定をして表を整えることができる。適切な計算式や関数を使える。グラフを作成できる。 ◆PowerPoint:プレゼンテーションについて理解し、訴求力のあるスライド作成とスライドショー実施ができる。															
学修者への期待等	パソコンの基本操作から行う。操作が苦手な者は、これを機に操作が出来るようにすること。 操作が出来る者であっても、自分にとって不足しているスキルはより向上するよう学修すること。 操作がわからない部分はそのままにせず、演習中に巡回をするので質問をして確認すること。 教材データを保存するために、USBメモリを授業2回目以降で使用する。授業1回目の時にUSBメモリについては詳しく説明するので、2回目の授業までに各自準備しておくこと。															
			為	準備学修												
1		: Windows 力方法・t														
2	Word:文	書の書式語														
3	Word:表	を取り入れ	いた文書の	作成				. •								
4		落の網かりみ・ヘッタ			レビ・囲い文章	字・傍		入力			できるようにし 手な場合は、タ					
5	Word:イ	ラスト・写	写真・ワー	ドアート	• 図形描画		の練習をして (30分程度)	て技術								
6				,,, , ,,,	率的な機能 こ関しての知詞	能										
7		nt:スラィ ショーの舅			ーションの設定	宦		は, 1	はじめ		遊内容から入り					
8	PowerPoin 作成	nt:図解表	長現の手法	・指示する	るテーマを元に	こ課題の	と身につけ,	次の	授業^	- 臨む), 各回の内容を さと。 は物は, 次回まで					
9				式や関数(保存・印刷	SUM・AVERAGE 副設定)・書式	ておくこと。		. M ⁴⁴ 2 /	-1 H///	物は、外国より	こで元以し				
10	Excel: 柞	目対参照と	絶対参照の	り使い分け	をした数式		各人で異なる	5ため	, 自分	分の明	パソコンスキル l在のスキルを排	巴握し,学				
11	Excel : 基	基本的な関	数 (MAX·	MIN • COUN	T · COUNTA)		修したパソコン操作が身についていないと感じる場合 は、授業で作成したものを繰り返し操作して復習する									
12	Excel : ク	ブラフ作成					こと。 (各自のス ³	キルに	より30	0分~	1時間程度)					
13	Excel : ラ	データベー	スの操作	(並べ替え	・フィルター	.)										
14	Excel:条	条件を指定	する関数	(IF • COUN	TIF・SUMIF関	数など)										
15		一覧表から 女のまとめ		曷数(VLOO	KUP関数など)											
教科書	『30時間	アカデミッ	ック Offic	e2019』	杉本くみ子/	/大澤栄子	- 実教出版									
参考文献	進行に応	じてプリン	/トを配付	する。												
備考	「試験」 「課題」 情報処理 援システ	は,Word・ は,指示し 室で授業を	・Excel・P った作成フ と実施する ssesMng)を	owerPoint ァイルをう 場合は,ノ を利用する	データ形式で抗 パソコンの操作	関する筆	記試験を行う。 後日,添削を				〜返却する。 りパソコン画面へ	映す授業支				

	1 2	3	4	5						科目ナンバ	リンク	†
学修成果	基礎力 実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						TB-0-HS		
	• •											
科目名	数	理リテラ	ラシー		単位 認定者	本田	俊夫	ŧ		試験 (筆記)	70	%
	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1	単位	1144	受講態度	30	%
対象学科 必修・選択						授業時間数	30	時間	の方法			
配当年次				授業形態	講義	授業回数	15	口	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			
授業の概要	職業生活にお 観的に物事を考 役立つ計算力や キャリア形成	えること データ,	ができる 表やグ	ることを目的 ラフなどを記	的とし, 読み取る	ビジネスだ! 力を身につ!	けでは	なく,		では、筋道を生活のあらゆる		
到達目標		基本を身	′に付け,	数式・表	・グラフ	等の活用を達	通し	て数学	的処	理の"良さ"	を知る	5.2
学修者への 期待等		う計算, 考え方を	算数・数・習得し	数学的な考え ておいてくえ	え方を習 ださい。	得するための	の科	目です		業前に準備学付 をし、考え方や		
回		授	業計画						集備 学			<i>6-6</i> \
1	分数や小数の計	算・四則計	 算			を事前に終れ	り らも	とておく	こと。	や小数の計算・☑ (1時間程度)		
2	割合・比の計算					テキストのテ らせておくこ				・比の計算)を事	がに	終わ
3	和と差、割合に関する問題 適時指示をします。											
4	速さ①~速さ・時	間•距離,	旅人算(相対速度の	利用)	テキストのテ に終わらせて				間·距離,旅人算 引程度)	草)を事	前
5	速さ②~流水算					テキストのテ と。(1時間程		19(流z	 (算)	を事前に終わら	せてお	さくこ
6	速さ③~通過算					テキストのテ と。(1時間程		20(通道	過算)	を事前に終わら	せてお	さくこ
7	割合と百分率①~	~仕事算				と。(1時間程	昆度)			を事前に終わら		
8	割合と百分率②~	~損益算				テキストのテ と。(1時間程		16(損益	益算)	を事前に終わら	せてお	さくこ
9	割合と百分率③~	~濃度算				テキストのテ と。(1時間程		23(濃月	度算)	を事前に終わら	せてお	さくこ
10	連立方程式とつる	かめ算,	1次関数							呈式とつるかめ算 こと。(1時間程度		.関
11	集合(ベン図の活	·用)				テキストのテ わらせておく				ン図の活用))を 隻)	事前	こ終
12	平面図形(角度・	面積)				適時指示をは	します	•				
13	立体図形(表面積	責•体積)				適時指示をし	します	•				
14	場合の数と順列・	組み合わ	せ			テキストのテ 前に終わらt				汝,順列・組み合 時間程度)	わせ)	を事
15	確率の考え方と基	上本演算				テキストのテ と。(1時間程		28(確≅	を)を	事前に終わらせ	ておく	
教科書	『基礎から学ぶ	SPIベー	シック間	題集』 就	職情報研	开究会編 実		有出版	反			
参考文献	特になし											
	us at miles in the											

備考 当科目は2クラスに分けて実施する。

	1	2	3	4	5
坐板	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果	•			•	

字慘灰果	•			•											
科目名			経営学力	八門	<u> </u>	単位 認定者	丸藤	准二	<u>.</u>		試験	(筆記)	70	%	
	観光ビジ	ジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2	単位	limi	受講	態度	30	%	
対象学科 必修・選択 配当年次						-	授業時間数	30	時間	の方法					
配当千久					授業形態	講義	授業回数	15	□	"-					
授業の概要	ぶ。具体 企業が被	本的には,	経営学 に与える	の基本的 影響を知	りな専門用記 いることに。	吾や概念!	ついて理解を こついて理解 業活動の本質	ĽĹ,	説明で	できる	るよう	にする。	そして	₹,	
到達目標					本系と構造を で説明できる		解すること。 すること。	さら	に各担	受業に	こおけ	る重要な	基本的	内知	
学修者への 期待等	す。さら	っに社会は	における	企業活動	めのあり方を	と捉える。	動の基本原則 ことができま きにも興味を	す。	授業は	こしっ	っかり	取り組む			
回			授	業計画						隼備 勻					
1	「経営	学」とは何	何か				復習として, うい。 (1時間程		学の体系	(につ)	いて整	理をしてお	いてく	ださ	
2	企業の構	幾能と制力	度				復習として, ださい。 (1時			:制度	につい	て整理をし	/ておい	いてく	
3	経営学の	の歴史					復習として, i ください。 (この概!	略につ	いて整理を	してお	ういて	
4	組織						復習として, ; さい。 (1時間			本に	ついて	整理をして	おいて	こくだ	
5	人的資源	原管理					復習として, てください。				管理に	ついて整理	!をして	こおい	
6	経営戦闘	各一 1 (経営戦略	の概要	・策定プロイ	マス)	復習として, ; さい。 (1時間			本に	ついて	整理をして	おいて	こくだ	
7	経営戦闘	各一 2 (清	経営環境	分析・	事業戦略)		復習として,経営戦略の方法について整理をしておいてく さい。(1時間程度)								
8	生産管理	里					復習として, : さい。 (1時間			本に	ついて	整理をして	おいて	こくだ	
9	マーケラ	ティング					復習として, いてください。				は何か	について整	理をし	てお	
10	営業管理	里/モチへ	ミーショ ン	/理論			復習として, しておいてく					ン理論につ	いて整	を理を	
11	経営情報	银/SCM					復習として, ; いてください。				は何かに	こついて整	埋をし	てお	
12	意思決定	定/リータ	ーシップ	プ論			復習として、ご理をしておい						につい	いて整	
13	会計						復習として, 1 い。(1時間程		の基本に	こつい	て整理	をしておい	ってくた	ごさ	
14	財務管理	里					復習として, 」 さい。 (1時間			本に	ついて	整理をして	おいて	こくだ	
15	企業のな	あり方					復習として, 3 い。(1時間程		⇒csrvz-	ついて	整理を	としておい	てくだ	さ	
教科書	北中英明	囲著『プ	レステッ	プ経営	学<第2版>	』弘文堂	弘文堂								
参考文献	井原久分	と編著 『 <i>清</i>	経営学入	門キーニ	コンセプト』	ミネル	ミネルヴァ書房								
備考	・受講者	者の理解!	度等によ	り,講	髪順序や重点	気の置き	方を変更する	こと	:がある	5.					

	1	2	3	4	5
坐板井田	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果	•				•

科目名		マ	ーケティ	・ング		単位 認定者	丸藤	准二		試験(筆記)	70	%				
11 de 312 de 1	観光ビジ	ジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の	受講態度	30	%				
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30 時間	方法							
此当十久					授業形態	講義	授業回数	15 回								
授業の概要	グ・ミュ	ックスのネ	きえ方や	, ビジネ	スの環境変	で化に対応		マーケティ	・ング	としたマーケラ の方法を学ぶ。 心に学ぶ。						
到達目標					イングの概 説明できる			さらにマー	-ケテ	ィング活動のP	羽容・	方				
学修者への 期待等	商品やな	サービスだ	ぶどのよ	うな販売		て市場に				日常生活においえ、理論と実施						
O			授	集計画					準備学	学修						
1	マーケラ	ティングと	とは何か				ておいてくた	ごさい。(1月	寺間程							
2	セグメン	ンテーショ	ョン/ター	ゲティ	ングSTP(1)					ョンとターゲティ ハ。(1時間程度)		こつ				
3	ポジショ	ョニングS	TP(2)				復習として, ください。		ングし	こついて整理をし	ておい	いて				
4	4P戦略	(1) Pro	duct 〈集	見出〉			復習として, (1時間程度)		て整理	里をしておいてく	ださい	١,				
5	4P戦略	(2) Pri	ce〈価格	\$ >			復習として, い。 (1時間)		ついつ	て整理をしておい	てくた	ごさ				
6	4P戦略	(3) Pla	ce〈流通	 チャネ/	ル〉		復習として, ださい。(1)		ルにつ	ついて整理をして	おいて	: <				
7	4P戦略	(4) Pro	motion	〈販売促活	進〉		復習として, い。(1時間)		ついて	て整理をしておい	てくた	ごさ				
8	具体例	で考える。	マーケテ	イング戦	路		復習として、STPと4Pについて整理をしておいてください。(1時間程度)									
9	競争戦闘	各								の力関係,業界内 ください。(1時						
10	消費者行	宁動					復習として, さい。 (1時)		につい	いて整理をしてお	いてく	、だ				
11	サービス	スマーケラ	ティング	/eコマー	-ス		て整理をして	こおいてくだ	さい。	ティングとeコマ [、] (1時間程度)						
12	ソーシュ	ャルマーク	テティン	グ			復習として, しておいてく			ケティングについ 程度)	て整理	里を				
13	法律と呼	対策の関 点	j							などについてと法 (1時間程度)	:律につ	ントハ				
14	観光マー	ーケティン	ノグ(1))(概略	らち法)		復習として, ておいてくた			ティングについて 度)	整理を	さし				
15	観光マー	ーケティン	ノ グ(2))(事例	研究)		復習として, 理をしておい	観光業のマ いてください	ーケラ 。(1	ティングの事例に 時間程度)	.ついて	〔整				
教科書	丸山正物	専著『プロ	ノステッ	プマーク	ティング<	新版>』	弘文堂									
参考文献	・和田ヲ	充夫・恩肅	蔵直人・	三浦俊彦	著『マーク	ティング	ブ戦略 第5点	反』有斐閣								
備考		者の理解原 目は2クラ				重点の置き	方を変える	ことがある								

1 2 3 4 5 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-1-FCO-03 学修成果 単位 科目名 成澤 広幸 試験 (筆記) 50 % 観光概論 認定者 必修 2 単位 授業内課題 観光ビジネス学科 1年 単位数 30 % 開護時期 前期 മ 対象学科 30 時間 必修 選択 方 授業時間数 受講態度 20 % 配当年次 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 観光は21世紀最大の産業であるといわれ、わが国でも観光立国政策に沿って内外の観光客の獲得競争 が始まっている。本科目では、観光活動を産業の立場から概観し、観光が多くの個別的な産業に支えら れて、最終的には豊かな国民生活に貢献していることを学ぶ。具体的には、観光活動を主な原因とする 授業の概要 経済規模のひろがりを、日本と世界のレベルで見てから、観光活動を構成する移動・宿泊・レジャーと いう三大要素と個別的な産業との関わりについて講義し、最後に観光活動の経済的効果についてまとめ る。 現代における観光現象を総合的に理解し、基本的・個別的な観光問題について、自分のことばで説明 到達目標 を行うことができるようになる。 観光を考える素材は日常生活の至る所にあります。観光は身近な存在なので、当然のことのようにそ 学修者への の意義を考えることが少ないと思われますが,身の回りにあふれる観光に関することに注意を向けてほ 期待等 しい。そうすれば観光の豊かな世界が見えてきます。 授業計画 準備学修 回 2022年現在の状況において、観光とは何だろうかということを考えて 「観光」の概念とコロナ禍の現代におけ おいてください。 1 る観光の意義 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光活動を盛んにする仕組みは何かを考えておいてください。 2 観光の諸制度 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光が個人や社会、環境にもたらすものをプラスとマイナスの両面で 3 観光の効果と影響 考えておいてください。準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光がミクロとマクロの双方でどのような影響をもたらすかについ 4 観光と経済 考えておいてください。 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光情報の発信方法とメディアについて考えておいてください。 5 観光と情報 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光活動と環境保護の関係について考えておいてください。 観光と環境 6 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光が地域に何をもたらすのかを考えておいてください。 観光と地域社会 7 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光開発が持続するための工夫について考えておいてください。 8 観光開発 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 具体的に観光行動を起こすプロセスを自己に即してまとめておいてく 9 観光行動 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分 文化が観光商品となるとはどういうことかについて考えておいてくだ 10 観光と文化 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分 観光の教育的・福祉的役割について考えておいてください。 11 観光と教育・福祉 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分 観光における移動について考えておいてください。 観光と交通 12 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 旅行時の宿泊について、施設の種類やサービスなどを経験に即してま 観光と宿泊 とめておいてください 13 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 旅行会社の役割について考えておいてください。 14 観光と旅行業 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 観光客を受け入れる施設にはどのようなものがあるか,調べておいてく 観光施設 15 準備学修:概ね30分。復習:概ね20分。 教科書 特になし 前田勇『新現代観光総論』学文社。岡本伸之『観光学入門』有斐閣。大橋昭一その他『観光学ガイド 参考文献 ブック』ナカニシヤ出版。井口貢『観光学への扉』学芸出版社。その他は授業中に適宜紹介します。 原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

LMSなどで課題の提出を行う予定です。

科目ナンバリング 1 2 3 4 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-1-FCO-04 学修成果 単位 科目名 観光ビジネス論 成澤 広幸 試験 (筆記) 50 % 認定者 2 単位 授業内課題 観光ビジネス学科 心修 1年 単位数 30 % 価 開講時期 後期 ၈ 对象学科 必修 選択 30 時間 方 現代英語学科 選択 2年 受講熊度 20 % 授業時間数 配当年次 法 講義 授業形態 授業回数 15 回 観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、 個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目で は、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本で 授業の概要 ある移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかな るビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を 様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果た 到達目標 しているのかを説明できるようになる。 学修者への 観光ビジネスは個別的な観光活動が対象ですが,難しく考えないで,身近な観光キャンペーンや地 域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば,この授業はわかりやすくなります。 期待等 回 授業計画 準備学修 TDRのマネジメントのどこが優れているのかを考えて 観光ビジネスのマネジメント特性:TDRのマネジメ おいてください。 1 ント 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 旅行業における販売方法の進化について理解してお 2 観光ビジネスのイノベーション:楽天トラベル いてください。 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 H. I. S. の海外戦略について理解しておいてくださ 3 観光ビジネスのグローバル経営: H. I. S. い。予習:概ね20分。復習:概ね20分。 地域の観光マーケティングを事例に則して考えてお 観光のマーケティング:下関観光コンベンション いてください。 4 協会 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 エクスペディアのマーケティングの特徴を理解して 観光とWebビジネス:エクスペディア おいてください。 5 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 JTBの業務内容の変遷について調べておいてくだ 旅行業: JTB 6 さい。予習:概ね30分。復習:概ね20分 星野リゾートの方向性を調べておいてください。予 7 宿泊業:星野リゾート 習:概ね20分。復習:概ね20分。 レベニュー・マネジメントの例をANA以外でも調 べておいておいてください。 航空輸送業: ANA 8 予習:概ね30分。復習:概ね20分。 JR九州の活躍の理由を考えておいてください。 9 鉄道ビジネス:JR九州 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 なぜリピーターになるのかを考えておいてくださ 10 テーマパーク:ハウステンボス い。予習:概ね20分。復習:概ね20分。 グローバル時代の地域観光インフラ:統合型リ IRの必要性について考えておいてください。 11 ゾート(IR) 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 なぜ九州オルレが成功したか考えていてください。 地域のインバウンド事業: 九州オルレ 12 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 故郷で観光を軸とした地域おこしをするとすれば何 観光地の集客イベント事業:長崎さるく が必要かを考えておいてください。 13 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 事例を参考に故郷の地域ブランドは何かを考えてお いてください。 地域ブランドの構築: 宇都宮市 14 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 日本内外の観光行動についてのニュース、話題など 新しい旅行スタイル:進化する旅行者ニーズと観 に注意しておいてください。 15 光創造 予習:概ね20分。復習:概ね20分。 特になし 教科書 高橋一夫その他『1からの観光事業論』碩学社。高橋一夫その他『1からの観光』碩学社。北川宗 参考文献 忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房。長谷政弘『観光ビジネス論』同友館。 原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。 LMSなどで課題の提出を行う予定です。 備考

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

なお、本科目は2クラスに分けて実施します。

1 2 3 4 5 科目ナンバリング 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-1-FCO-05 基礎力 学修成果 単位 科目名 国内観光地理 林 春伽 試験 (筆記) 40 % 認定者 観光ビジネス学科 必修 1年 単位数 2 単位 授業内課題 % 価 30 開講時期 前期 の 対象学科 必修・選択 授業時間数 30 時間 方 受講態度 % 30 配当年次 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 本科目は、観光地の生成・機能・構造について、内外の著名な観光地を事例として取り上げて講義す る。具体的には、まず内外の観光地発達史を概説した後、観光地の分布、立地、観光資源、観光産業と の関わり、観光客の地域特性、観光圏・観光ルートの変遷、観光地の環境保全や世界遺産などに留意し 授業の概要 つつ,温泉,海浜,避寒・避暑,都市,田園,山岳などにおいて,いかに観光活動が自然地理的資源, 人文地理的資源を利用して誕生・発展し、観光地が開発されてきたかを学ぶ。 日本には多くの観光地が存在する。現在に至るまでの観光地の歴史を理解できるようになる。また、 到達目標 テキストの内容に留まらず,興味を持った観光地を自ら調べ,説明することができるようになる。 限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも,1回ごとの授業を大切にし,講義内容の復習 学修者への や問題演習を積極的に行ってほしい。また,授業内で小テストを実施する予定のため,復習を各自で 期待等 行ってほしい。 授業計画 準備学修 回 教科書等で北海道を読んでおくと効果的です。(1時 1 ガイダンス/北海道地方の地理 教科書等で青森・秋田・岩手を読んでおくと効果的 2 東北地方の地理(青森・秋田・岩手) です。(1時間程度) 教科書等で山形・宮城・福島を読んでおくと効果的 東北地方の地理(山形・宮城・福島) 3 です。(1時間程度) 教科書等で新潟・群馬・栃木・茨城を読んでおくと 4 関東地方の地理(新潟・群馬・栃木・茨城) 効果的です。(1時間程度) 教科書等で埼玉・千葉・東京・神奈川を読んでおく 関東地方の地理 5 と効果的です。(1時間程度) (埼玉・千葉・東京・神奈川) 関東地方・中部地方の地理 教科書等で山梨・長野・静岡を読んでおくと効果的 6 (山梨・長野・静岡) です。(1時間程度) 教科書等で愛知・岐阜・富山を読んでおくと効果的 中部地方の地理(愛知・岐阜・富山) 7 です。(1時間程度) 中部地方・関西地方の地理 8 (石川・福井・滋賀) です。(1時間程度) 教科書等で京都・奈良を読んでおくと効果的です。 関西地方の地理(京都・奈良) 9 (1時間程度) 教科書等で三重・和歌山・大阪・兵庫を読んでおく 10 関西地方の地理(三重・和歌山・大阪・兵庫) と効果的です。(1時間程度) 教科書等で鳥取・島根・岡山・広島・山口を読んで 中国地方の地理 11 おくと効果的です。(1時間程度) (鳥取・島根・岡山・広島・山口) 教科書等で香川・徳島・愛媛・高知について読んで 四国地方の地理(香川・徳島・愛媛・高知) 12 おくと効果的です。(1時間程度) 教科書等で福岡・佐賀・長崎・熊本を読んでおくと 13 九州地方の地理(福岡・佐賀・長崎・熊本) 効果的です。(1時間程度) 九州地方・沖縄の地理 教科書等で大分・宮崎・鹿児島・沖縄を読んでおく 14 (大分・宮崎・鹿児島・沖縄) と効果的です。(1時間程度) 前回までの授業を復習して臨んでください。(1時間 総まとめ 15 程度) 『国内観光地理サブノート』 株式会社JTB総合研究所 教科書 『国内観光資源 2022』 株式会社JTB総合研究所 参考文献 必要に応じて紹介する。 ・受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

・LMSにおいて毎回小テストを実施する。

	1 2 基礎力 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力					科目ナンバ TB-2-CC						
学修成果	•								,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
科目名		英語 🏻	[単位 認定者	吉野	千乃		試験 (筆記)	60	%				
	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時	期後期	単位数	1 単位	評価	授業内課題	20	%				
対象学科 必修・選択						授業時間数	30 時間	の方法	受講態度	20	%				
配当年次				授業形	態 演習	授業回数	15 回	1/4							
授業の概要	英語 I で学修 れ,総合的な英				「話す」	活動に加え、	· , 「読む」	• [書く」活動もB	取り入					
到達目標	世界遺産に関うになる。観光る。								り,書いたりで が使用できるよ						
学修者への 期待等	授業にはテキ 各時に行うペ					な姿勢で臨む	ことを期待	待する	3 .						
		授	集計画				ž	集備 学	学修						
1	授業の進め方に、ン・ペーパーの		習・復習	引の方法/!	リアクショ	シラバス記載	載の内容を	確認	しておく(概ね20	分)。					
2	Unit 1 Statue of テキスト内容理解					事前にUnit 答を英語で作		_	のGeneral Ques 間程度)	tions	の解				
3	Unit 1 Statue of 会話練習(ペアワー					授業後にロー く。(1時間程)		用いた	上表現や語彙をま	とめて:	お				
4	Unit 2 Forbidder テキスト内容理解,		nina-①			事前にUnit 2 解答を英語で			15のGeneral Qu 時間程度)	ıestioı	nsØ				
5	Unit 2 Forbidden 会話練習(ペアワー					授業後にロー く。(1時間程)		用いた	上表現や語彙をま	とめて:	お				
6	Unit 3 Bath, Eng テキスト内容理解,					事前にUnit 3に目を通し、p.22のGeneral Questionsの解答を英語で作成しておく。(1時間程度)									
7	Unit 3 Bath, Eng 会話練習(ペアワー					授業後にロールプレイで用いた表現や語彙をまとめてお く。(1時間程度)									
8	Unit 4 Canadian テキスト内容理解,	,	Canada	-①		解答を英語で	で作成してお	<。(1							
9	Unit 4 Canadian 会話練習(ペアワー	,		-2		授業後にローく。(1時間程		用いた	上表現や語彙をま	とめて:	お				
10	Unit 5 The Pyra テキスト内容理解と	ペア・ワー	-ク(会話約	陳習)		解答を英語で	で作成してお	<。(1							
11	Unit 5 The Pyra 会話練習(ペアワー	-ク),Quiz				く。(1時間程	度)		上表現や語彙をま						
12	Unit 6 Ayutthay テキスト内容理解,	Jスニング	-			解答を英語で	で作成してお	<。(1							
13	Unit 6 Ayutthay 会話練習(ペアワー	-ク),Quiz				く。(1時間程	度)		表現や語彙をま						
14	Unit 7 Edinburg テキスト内容理解,	Jスニング				解答を英語で	で作成してお	<。(1							
15	Unit 7 Edinburg 会話練習(ペアワー			1-(2)		授業後にローく。(1時間程)		申いた	上表現や語彙をま	とめて:	お 				
教科書	Someya, M. & Ferrasci, F.(2010). World Heritage on DVD. (『DVDで学ぶ世界遺産』). 南雲堂														
参考文献	資料は随時LMS	より配信	する。												
備考	履修者の状況によ	って進度な	や順番に変	変更が生じ	ごる場合がある	3.									

1 2 3 4 5 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-2-CCO-03 学修成果 単位 ビジネスマナー 加藤 雅子 試験 (筆記) 70 % 科目名 認定者 観光ビジネス学科 必修 1年 単位数 2 単位 授業熊度 20 % 価 開講時期 前期 മ 対象学科 方 授業内課題 30 時間 必修·選択 授業時間数 10 % 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 社会人として必要とされる基礎的なマナーを身につける。具体的には、敬語や接遇用語の使い方、電 話応対や接遇の仕方、ビジネス文書の作成など、職場において必要とされるビジネス能力の基本を身に 授業の概要 つける。また,学んだビジネスマナーを職場において実践できるよう,講義に加えロールプレイングな ども取り入れる。 マナーの意味・重要性を理解し、ビジネスパーソンとして必要とされる基本マナーを身につけ、実践 到達目標 できるようにする。 講義で学んだことは、日常生活でも意識して取り入れ、マナーカアップに繋げて欲しい。本講義の性 学修者への 質上,遅刻,学生証不携帯,忘れ物,不適切な受講態度等には厳しく対処するので,己を律して受講す 期待等 準備学修 授業計画 マナーとは何か(マナー・エチケット・礼儀・作 テキスト序章「マナーとは何か」を読んでおくこと。自分 1 のマナーについて考えておくこと。(概ね30分程度) 法・プロトコール) テキスト第1章「マナーの歴史と意味」を読んでおくこ 2 マナーの歴史と音味 と。(概ね45分程度) テキスト第2章4節-(1)「挨拶と紹介」を読み、自己紹介 国際人としてのプロトコール① (プロトコールの原 3 則、席次、コミュニケーション、挨拶と紹介) が出来るように準備しておくこと。(概ね45分程度) 国際人としてのプロトコール② (贈り物, 国旗の扱 テキスト第2章5節「外国人への贈り物」~8節「異文化 4 い,異文化コミュニケーション) コミュニケーション |を読んでおくこと。 (概ね45分程度) 社会人に必要なマナー① (好印象を与えるコミュニ テキスト第3章1節「好印象を与えるコミュニケーションと 5 は」を読んでおくこと。(概ね45分程度) ケーション) 社会人に必要なマナー②(立ち居振る舞い実践,表 第5回の講義で伝えた内容(立ち居振る舞い、表情)を 6 情トレーニング,丁寧な言葉遣い) 練習しておくこと。(概ね30分程度) 社会人に必用なマナー③(服装のマナー,喜ばれる テキスト第3章2節「服装のマナー」~4節「手紙のマ 7 贈答, 手紙のマナー) ナー」を読んでおくこと。(概ね45分程度) ビジネスシーンのマナー(1) (ビジネスマナーの必要 テキスト第4章1節「ビジネスマナーの必要性」~3節 8 性, 社会人としての心構え, 名刺の扱い方) 「名刺の扱い方」を読んでおくこと。(概ね45分程度) テキスト第4章4節「電話応対」を読んでおくこと。(概ね45 ビジネスシーンのマナー②(電話応対,実践練習) 9 テキスト第4章5節「トラブル対応」,6節「来客応対」を読 10 対,来客応対ロールプレイング) んでおくこと。(概ね45分程度) 電話応対, 訪問来客について既習内容を確認し, 練 電話・訪問・来客総合練習 (ロールプレイング) 11 習しておくこと。(概ね45分程度) テキスト第4章7節「ビジネス文書」を読んでおくこと。(概ね ビジネスシーンのマナー④ (ビジネス文書) 12 45分程度) テキスト第5章「食事のマナー」を読んでおくこと。(概 食事のマナー 13 ね45分程度) テキスト第7章「冠のしきたり」,第10章「祭りのしきたり」 日本の通過儀礼・年中行事 14 を読んでおくこと。(概ね45分程度) これまでの講義全体を振り返り, 内容を確認しておくこ 総復習・重点項目の確認 15 と。(概ね1時間程度) 『マナー&プロトコールの基礎知識』NPO法人日本マナー・プロトコール協会 教科書 参考文献 必要に応じて講義中に適宜指示する。 ・受講者の理解度により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 備考

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

実務経験概要:元,大手国内航空会社国際線CA及びCA教官。現,民間企業・自治体人材育成担当者。 実務経験と授業科目の関連性:実務経験からのより具体的かつポイントを押さえた内容で講義を実施し、知識とマナー力を身 に付けさせる。

・本科目の内容は「ビジネス実務マナー検定」や「マナー・プロトコール検定」に繋がる。

科目ナンバリング 1 2 3 4 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-2-CCO-02 学修成果 単位 氏家 留美子 試験 (筆記) 50 % 科日名 情報機器演習 認定者 観光ビジネス学科 心修 1年 単位数 1 単位 授業内課題 % 20 開講時期 後期 対象学科 σ 必修·選択 授業時間数 30 時間 方 受講熊度 % 30 配当年次 法 授業形態 演習 授業回数 15 回 OS(基本ソフト)の基本的な操作ができ、Word(文書作成能力) Excel(情報加工技術) Point (情報の視覚的表現) の一般的な操作を修得したものがWord及びExcelの応用的な使用方法を修得 し、日常業務で必要とされる機能を学ぶ。 授業の概要 さらに、それぞれのソフトウェアの持っている特有の機能を効率的に使用し、Word・Excel・Power Pointを連携して操作をする手法を学ぶ。具体的には,Excelを使用してデータ分析を行い,グラフや表を 作成し, WordやPower Pointをリンクして使用できるスキルを修得することで, 情報機器を使用した効率 的な業務遂行力を育成する。 Word・Excelの認定試験3級の合格レベルに達し、学修した技術をもとにPowerPointでの活用方法も修得 到達目標 する。社会人としてパソコンを業務で使用できるスキルを身に付ける。 授業では試験問題の解答方法・出題傾向を確認しながら、問題を通して各機能が業務でどのように使わ れるかも含めた内容となる。操作の丸暗記ではなく各機能の活用方法を理解し,使用する環境が変わっ、 学修者への も応用できる力を身に付けてほしい。授業で取り上げた問題を理解後は,より多くの問題に積極的に挑戦 期待等 しパソコンスキルを向上してほしい。 各自が作成したデータを保存するためのUSBメモリを準備すること。 回 授業計画 準備学修 認定試験の実施概要と出題範囲の確認 Word:認定試験問題を使用した操作1 1 印刷設定・ヘッダーフッター・文字書式段落書式の違い Word:認定試験問題を使用した操作2 2 表の挿入と編集・画像挿入と編集・タブとリーダー Word:認定試験問題を使用した操作3 3 ページ設定・書式設定・表編集・画像編集・ワードアートの活用 Word:認定試験問題を使用した操作4 4 ヘッダーフッターの編集・段落罫線や網かけ・ワードアート Word:認定試験問題を使用した操作5 5 ヘッダーフッター・均等割り付け・テキストボックス・図形描画 【復習について】 Word:認定試験問題を使用した操作6 6 授業で学んだ操作内容を復習し、次回までに確実に操作で 受験プログラムの使い方・試験本番をふまえた練習 きるようにすること。 Word:認定試験問題を使用した操作7 また、授業時間内に完成しなかった部分は、次回の授業ま 7 操作のまとめ でに完成させておくこと。 Word:認定試験問題を使用した操作8 8 問題集には多くの問題が収録されている。 サンプル問題で試験本番をふまえた練習 操作に慣れてきたら、授業で取り上げない問題にも挑戦 し, 常に認定試験合格レベルを目指すこと。 PowerPoint:サンプル問題 9 プレースホルダー・他ソフトのデータ取込み・動作設定ボタン 復習時間は30分~1時間程度。 Excel:認定試験問題を使用した操作1 10 列幅・罫線・書式設定・関数・並べ巷え・フィルター・グラフ Excel:認定試験問題を使用した操作2 11 書式設定・関数・テーブル・グラフ作成・印刷設定 Excel:認定試験問題を使用した操作3 12 関数の使い分け・グラフ作成・印刷設定・ヘッダーフッター Excel:認定試験問題を使用した操作4 13 関数・グラフ作成・並べ替えとフィルター・印刷設定 Excel:認定試験問題を使用した操作5 14 受験プログラムを使い試験本番をふまえた練習 Excel:認定試験問題を使用した操作6 15 操作のまとめ 『Word®文書処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)』サーティファイ 教科書 『Excel®表計算処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)』 サーティファイ 参考文献 進行に応じてプリントを配付する。 授業は情報処理室で実施する。授業中にパソコンの操作手順を示す場合は,講師の操作画面を各学生のパソコン画面へ 映す授業支援システム(SkyClassesMng)を利用する。 授業内容は、クラス全体の操作の進捗により前後する場合もある。 備考 「試験」は、Word・Excelの使用方法に関する筆記試験を行う。 「授業内課題」は、指示した作成ファイルをデータ形式で提出する。後日、添削をした上で返却する。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

なお、当科目は2クラスに分けて実施する。

科目ナンバリング 2 1 3 4 5 TB-3-FCO-02 基礎力 実践力 人間関係力 牛涯学習力 地域理解ナ 学修成果 単位 エアラインビジネス実務 試験 (筆記) % 科目名 加藤 雅子 70 認定者 観光ビジネス学科 强択 1年 単位数 2 単位 受講態度 20 % 開講時期 前期 മ 対象学科 方 必修·選択 授業時間数 30 時間 授業内課題 % 10 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 交通ビジネスは、科学技術の進歩とともに発展を遂げ、観光ビジネスと非常に密接な関係性を有する事 業である。 とりわけ航空産業は、幅広い分野が関連し、支えあっている。本科目では、航空ビジネスの基礎を学 授業の概要 び,空港における多様なビジネスについて理解する。また,現場で求められるスキルが何であるかを学習 し、そのスキルアップのための能力開発を行う。 航空業界の歴史と現況を把握した上で、サービス、幅広い職種及び業務内容について理解を深める。ま た、航空業界で求められる接遇マナーや国際的なマナー・プロトコールの基礎を座学と実践を通して修得 到達目標 し、職場生活や社会生活で活かせるようにする。 航空業界,及び関連業界(ホテル,旅行代理店,交通ビジネス,観光ビジネス等)に深い興味,関心を 学修者への 持ち、ニュースや新聞・雑誌等から積極的に情報を収集し、自分の考えや意見を具体的に述べられるよう 期待等 に準備してください。今、出来ることからしっかりと準備し、航空業界受験を目指しましょう。 回 予習(概ね30分):航空ビジネスをイメージする。 授業ガイダンスと航空産業への導入 1 航空ビジネスを学ぶ目的・意味を確認する。 予習(概ね30分): 「マナー&プロトコールの基礎知 2 マナー・プロトコールの歴史と意味 識」序章,第1章を読んでおく。 航空業界で求められる人材とスキル 予習(概ね30分): 航空業界で求められる人材はど 3 航空会社の接客・接遇マナー のような人材かを考えておく。 4 敬語と言葉遣い, 接客用語 予習 (概ね30分):配布資料を読んでおく。 コミュニケーションの重要性 予習(概ね30分):配布資料を読み内容を理解してお 5 タイプ別コミュニケーション (エニアグラム) 予習(概ね30分): 航空・サービス業界に関する情報 航空業界・サービス業界のニュース (新聞ワーク) 6 を新聞・ニュース等から収集し、理解しておく。 各航空会社の取り組みと戦略:航空同盟・LCC・マ 予習 (概ね30分):国内・LCC・外資系の各エアラ 7 イレージサービス・コードシェア インの特徴について調べておく。 航空ビジネスの多様性と働き方① 予習 (概ね30分): 興味のある航空会社について調べ 8 ~業界・職種・企業研究~ ておく。 航空ビジネスの多様性と働き方② ~航空機に携わ 予習(概ね30分):配布資料を読み内容を理解してお 9 る仕事、旅客・グラウンドハンドリング~ 航空業界用語 予習 (概ね30分): 航空業界用語の意味を調べて確認 10 CA/GSのアナウンス練習(声・表情トレーニング) しておく。アナウンスの練習をしておく。 空港コード・エアラインコード・時差計算 予習(概ね30分): 配布資料を読んでおくこと。 11 機内サービス:機内食・プライオリティゲストサー 予習 (概ね30分):配布資料を読んで理解しておく。 12 航空会社のタイムテーブルに目を通しておく。 ビス・各宗教に対応したサービス 予習(概ね30分): サービスとホスピタリティ, CS 航空業界のサービスとホスピタリティー 13 CSとES(顧客満足と従業員満足) とESについて調べておく。 食事・お洒・席次・服装のマナー 14 -ルの基礎知識」第5章・第6章を読んでおく。 これまでの講義全体を振返り、内容を明確にしてお 全体の復習及び重点項目の確認 15 授業ごとに資料配布 教科書 ①各航空会社 時刻表 ②吉田力 著『航空業界の動向とカラクリがよ~くわかる本』第2版 秀和システム ③『マナー&プロトコールの基礎知識』NPO法人日本マナー・プロトコール協会。 参考文献 ④『「さすが!」といわせる大人のマナー講座』NPO法人日本マナー・プロトコール協会 その他,授業時に適宜紹介。 本科目の内容は、航空業界受験、「マナー・プロトコール検定試験」の受験に繋がります。 備考 立ち居振舞いや言葉遣いに普段から意識して行動するよう心掛けましょう。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

実務経験の概要:元大手国内航空会社国際線CA及びCA教官。機内サービスCS推進部担当経験者。民間企業人材育成担当。 実務経験と授業科目の関連性:実務経験からのより具体的且つポイントを押さえた内容で演習を行い,航空業界に関する知識 とサービスマナー力を身に付けさせる。

科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-03 学修成果 単位認 科目名 エアラインサービス 未定 試験(レポート) % 定者 単位 観光ビジネス学科 選択 2 授業内課題 % 1年 単位数 価 40 開講時期 通年 対象学科 ၈ 必修·選択 授業時間数 30 時間 方 受講態度 20 % 配当年次 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 様々な空港業務のうち、主にグランドスタッフに必要とされる空港サービスの基本知識、接遇スキル、 授業の概要 ビジネスマナー、コミュニケーション力などを学び、空港におけるサービスマインドを身につける。 ◇社会人にふさわしい行動を理解し,自ら考え行動することができる。 (言葉遣い/立ち居振舞い/電話応対など) ◇社会人としての基本的な規律を順守できる。 ◇「接遇」の大切さを考え,日常生活でも接遇を発揮することができる。 到達目標 ◇自己理解を深め、自信を持って自己PRをすることができる。 ◇客室乗務員, グランドスタッフの仕事を理解し, 職種研究を深めることができる。 ◇積極的な授業への参加 学修者への ◇学修内容を各自で咀嚼して、自己理解を深める。◇不明点について曖昧にせず、質問を通じて明確にする。 期待等 授業計画 準備学修 回 1 2 3 4 5 6 7 8 未定 (開講が決まり次第、別途通知します) 9 10 11 12 13 14 15 教科書 未定 未定 参考文献

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

新型コロナウイルスの感染状況により、開講しないことがあります。

	1	2	3	4	5							科目ナンバ	リング	,
学修成果	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力							TB-3-EC	0-04	
		•			•									
科目名		鉄 i	首ビジネ	ス実務	. '	単位 認定者	紺野	純一			試験	(レポート)	100	%
11 22 316 4.1	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2	単位	評価の				
対象学科 必修•選択 配当年次							授業時間数	30	時間	方法				
					授業形態	講義	授業回数	15	回					
授業の概要	事業であ 本科目	っる。 目では, いて学び,	主に鉄道 現状の	ビジネフ	くに焦点を当	áて,鉄i	遂げ,観光ヒ 道の発達の歴 て考察する。	を史, し	ビジネ	スモ	デル	- 及び観光	とのほ	関係
到達目標		幾関の発 目標とす		における	5関係,観光	6全般に	及ぶ概要を修	修得し,	将来	その職	業選	選択に役立	てるこ	こと
学修者への期待等	にも多力 齢化社会	な貢献	をする, において	国の一大交流人口	に成長産業 と	: なりつ ⁻ 也域活性(達など社会経 つある。観光 比に重要であ	とが経?	斉の発	経展に	繋カ	ぶることと	,少于	子高
0				業計画					準	基備学	修			
1	観光交通 歩的概念		概要 I :	交通機関	目の発展や額	見光の初								
2	観光交通観光との			近年の新	斤幹線網や船	九空機,								
3	観光の気	三義と観	光発達の	歴史			観光発達の (1時間程度		こつい	て調	べて	きてくだる	ź Λ ν°	
4	観光関係	系制度な	ど				観光関係の (1時間程度		こつい	て調	べて	きてくだる	źΛ.°	
5	観光の現	見状(イ	ンバウン	ドの現場	(†)									
6					ノロジー)									
7	賃など)				重ダイヤ・ 制	側度・運								
8	観光と鋭	株道事業 ノト車両	について ・特別企	Ⅱ 画乗車券	*・旅行商品	品など)								
9	観光と舠	亢空機・	バスなど	の現状										
10	観光と宿	音泊施設!	について											
11	旅行エー	-ジェン	トと観光	の現状										
12	観光関連	車施設と	ビジネス	システム	4									
13	観光に関	∮するブ	ランド戦	略・マー	ーケティンク	Ť								
14	地方創生	と観光	・交通機	関の役害	ij									
15	鉄道交通	ー <u>ー</u> 通ビジネ	ス実務全	体のまと	<u></u> め									
教科書	山下 晋	司編著[『観光学》	トーワー	ド』有斐閣	双書								
参考文献	特になし	_												
備考														

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

国鉄・JR職員(仙台駅長等)の経歴を経て、現東北観光推進機構専務理事。 観光業界における実務経験から、鉄道交通ビジネスについて分かりやすく解説し、実践的な授業を展開することがで きる。

科目ナンバリング 1 2 3 4 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-05 学修成果 単位 科目名 宿泊ビジネス実務 紺野 純一 試験(レポート) 100 % 認定者 観光ビジネス学科 選択 1年 単位数 2 単位 価 開講時期 前期 の 対象学科 方 必修 選択 授業時間数 30 時間 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 「ホテルの仕組」、「ホテル経営」、「ホテルと社会関係」等について実務的なケースも含めて学習 し、「ホテルビジネス実務」の人材育成の基礎を身につける。ビジネス需要だけでなく、観光客の需要 授業の概要 拡大がホテル経営に密接な関係を持っていることから、観光業についても学ぶ。 ホテルの歴史は、社会経済の変化に伴い、ハード・ソフト面でも発展進化してきたので、社会背景や 到達目標 一般常識を修得し、将来の職業選択の一助にする。 学修者への 「サービス業」のやりがいと厳しさを授業の中で学ぶとともに社会的な使命についても習得する。 期待等 授業計画 準備学修 回 イントロダクション:ホテル業について ホテル業界が利用者に対し提供しているサービス 1 インバウンドとアウトバウンド を調べてくる。(20分程度) 2 ホテルの誕生と発展,欧米・日本のホテル 3 ホテル産業の現状と展望 ホテル業界の概況を調べておく。(20分程度) ホテル関係商法と語源(経営形態による分類) 4 5 ホテル組織 ホテル経営 ホテルの仕事(宿泊部門) 6 ホテル経営 ホテルの仕事 7 (1)料飲部門宴会 ホテル経営 ホテルの仕事 8 (2) 料飲部門ブライダル・レストラン ホテル経営 ホテルの仕事(総括) 9 ホテル管理運営 10 ホテルマーケティングと販売促進 I 11 (ホテルマーケティングと宣伝媒体) ホテルマーケティングと販売促進Ⅱ 12 (ホテルマーケティングと販路拡大) 新しい時代におけるホテル経営 13 14 ホテルの地域における役割とホスピタリティー 観光・旅行業全般とホテルの関連 15 ホテルビジネス実務と観光需要開発 特になし 教科書 |鈴木 博/ 大庭 祺一郎著『基本ホテル経営教本』柴田書店 参考文献

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

元国鉄・JR職員,仙台ターミナルビル(株)専務取締役総支配人等の経歴を経て,現東北観光推進機構専務理事。 ホテル・観光業界における実務経験から,ホテル経営についての歴史や業務について解説し,各部門での具体的事例 を交えた実践的な授業を展開することができる。

科目ナンバリング 1 2 3 5 基礎力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-06 実践力 学修成果 単位 林 春伽 ※詳細は「備考」欄を参照す 科目名 ホテル・ブライダルサービス 小野寺 理恵 認定者 評 観光ビジネス学科 選択 単位数 単位 価 1年 後期 開護時期 の 対象学科 方 必修·選択 授業時間数 30 時間 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 П 15 2010年代に入って急増しているインバウンド需要の主要な受け手として現在急拡大を続けているホテル業界 ついて、本講義では特に「おもてなし」の精神を実際の行動として体現するサービス業務について学ぶ。具 授業の概要 体的にはホテルビジネスおよびブライダルビジネスにおけるサービスについて、必要とされるマインドとスキ ルを講義しつつ、ロールプレイなど演習的な要素も入れながら理解を深める。 実際にホテルの現場第一線で豊富な経験を積んだプロフェッショナルによるホテリエに必要な知識と技術を 学修する。様々な部門に分かれるホテルサービスを授業を通して体験することで,より具体的にホテルサービ 到達目標 スを理解できるようにする。 限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にし、講義内容の復習を積極的 学修者への に行ってほしい。今後の日本の観光産業を見据え,東北に訪れた観光客に対するホテル・ブライダルサービス 期待等 を自ら主体的に学ぶ姿勢を期待する。 授業計画 準備学修 担当教員 回 ガイダンス・ホテルサービスの概要 (JR東日本グループ メトロ,メッツ) 林 春伽 1 - ノ渡 守 ホテルサービスにおける宴会、飲食部門 ①料飲宴会部門業務 林 春伽 について各自あらかじめ調べておくこと 2 ②料飲接遇技法 齋藤 康紀 (30分程度) ホテルサービスにおける宿泊,ブライダ 林 春伽 ①宿泊部門業務 ル部門について各自あらかじめ調べてお 3 ①武内 裕文 ②ブライダル部門業務 くこと (30分程度) ②白井 宏幸 ホテルサービスにおけるレストラン部門 レストランサービス実習 vol.1 ※ホテル開催 林 春伽 について各自あらかじめ調べておくこと 4 (レストランサービス) 山岸 浩太郎 (30分程度) ホテルサービスにおけるソムリエ,バー ~プロフェッショナル講義~ 林 春伽 テンダーの仕事について各自あらかじめ 5 ①ソムリエ ②バーテンダー 伊藤 太一 ※ホテル開催 調べておくこと (30分程度) ホテルサービスにおける宴会場での仕事 レストランサービス実習 vol.2 ※ホテル開催 林 春伽 について各自あらかじめ調べておくこと 6 (宴会場でのサービス) 照井 大介 (30分程度) 日本のインバウンド観光について各自あ 林 春伽 7 インバウンド概論 らかじめ調べておくこと (30分程度) 菅原 禎 ホテルサービスにおけるバリスタ、利き 林 春伽 ~プロフェッショナル講義~ 酒師の仕事について各自あらかじめ調べ ① 荒川 季絵 8 ①バリスタ ②利き酒師 ※ホテル開催 ておくこと (30分程度) ②阿部 直人 グループディスカッション 「お客様の期待以上に応 前回までの授業の内容を復習しておくこ 林 春伽 9 (1時間程度) 齋藤 智久 えるホテルのサービスとは」※ホテル開催 ____ 前回の授業の内容を復習し,プレゼン 林 春伽 10 プレゼンテーション ※ホテル開催 テーション資料を各自準備しておくこと 齋藤 智久 (1時間程度) ____ ウエディングプランナーの仕事について各自あ DVD視聴·検定説明 小野寺 理恵 11 らかじめ調べておくこと(30分程度) 前回までの授業内容を復習しておくこと(30分 (過去問解説)ブライダル基礎 小野寺 理恵 検定対策 12 程度) 前回までの授業内容を復習しておくこと(30分 13 プランナーの会話(グループワーク) 小野寺 理恵 程度) 検定対策 (過去問解説) ブライダル基礎とプラン 前回までの授業内容を復習しておくこと(30分 小野寺 理恵 14 ナーについて 程度) 席次表作成 (グループワーク), ブライダル基礎知 前回までの授業内容を復習しておくこと(30分 小野寺 理恵 15 程度) 『ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード』公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 教科書 『ホテルビジネス基礎編』一般財団法人日本ホテル教育センター 『新ホテル総論』一般財団法人日本ホテル教育センタ 参考文献 『ブライダル総論』一般財団法人日本ホテル教育センター 『ブライダルプロデュース』一般財団法人日本ホテル教育センター

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

現役のホテリエ(ホテルメトロポリタン仙台スタッフ)とブライダルコーディネーター(小野寺理恵)として実務経験を有する。 各実務家の具体例のある講義やロールプレイを通じて,ホテリエに求められているマインドやスキル,サービスについての授業を行うことができる。

林春伽:第1回〜10回 - 試験(レポート):40%,受講態度:30%,プレゼンテーション内容:30% 小野寺理恵:第11回〜15回 - 試験(レポート):60%,受講態度:30%,授業内課題:10%

	•	•										
科目名	ウェディ	ングブラ	イダル演	習	単位 認定者	林	春伽		レポート		50	%
11 m 11 m	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の	受講態度		30	%
対象学科 必修・選択 配当年次						授業時間数	30 時間	方法	授業内課	題	20	%
				授業形態	演習	授業回数	15 回					
授業の概要	本科目はブライ 験・理解し, 挙式 業形式は演習とし	に関係する	る知識や技	支術を学ぶこ	とで, つ	ブライダル事業	業への理解を					
到達目標	模擬挙式を通し ションを取りなが	てブライ	ダル業界・ 解決する	への理解と知 力をつける。	□識を深め	うる。積極的に	こ授業に参加	『し,チ	ームでコ	ミュニ	ケー	
学修者への 期待等	限られた時間の を積極的に行って ループワークが基	ほしい。	実際に模様	疑挙式を行う	ことによ	こりブライダル	レ業界への知	し,講印識と理	義内容の復 単解を深め	習や!! てほし	問題演い。	复習 グ
		授美	画信美				準備学修	F		į	旦当	
1	ウェディングブライタ	ルの概論				ウェディングン 考文献等で訓				林梅宮	春伽三郎	
2	式場見学・現役ウェングブライダルの基 @ソラノワ・アトリエナ	礎知識			ウェディ	実際に見学す おく(30分程度	隻)				・梅宮 gw I	
3	模擬挙式の役割を分(グループワーク)	和る・役割	分担をする	5		挙式に必要な 擬挙式で自分 く(30分程度)	うが担当したい			林梅宮	春伽三郎	
4	挙式コンセプトの決	め方を学え	25,			挙式コンセプ をもとにあらか				林梅宮	春烟三季	
5	模擬挙式の制作物	を決める・	予算を立て	てる		準備にかかる おく(30分程度		あらかじ	め調べて	林梅宮	春烟三季	加 景子
6	模擬挙式の進行内 (実施したい演出内					インターネット 進行をあらか				林梅宮	春伽三郎	
7	模擬挙式の進行内 (発表準備と発表と		プレゼン			プレゼン資料 (1時間程度)		表練習	をしておく	林梅宮	春伽三郎	
8	模擬挙式の進行内室 (振り返りの意見を参			おす)		グループごと 復習し,模擬 しておく(1時	挙式の進行に			林梅宮	春伽三郎	加景子
9	役割分担ごとのトレ・	ーニング①)基礎			自分が担当し (30分程度)	ている役割に	こついて	復習する	林梅宮	春伽三郎	加景子
10	役割分担ごとのトレ・	ーニング②	実践			前回までの授 る内容や課題				林梅宮	春伽三郎	加景子
11	リハリハ(リハーサル	に向けての	のリハ)			前回までの授 ておく(30分程		習につい	て復習し	林梅宮	春伽三野	加 景子
12	リハリハを終えての記	果題抽出と	解消への	取り組み		グループで模 再度検討して			について	林梅宮	春伽三郎	加景子
13	模擬挙式準備と最終	冬リハ				前回までの授な準備を行っ			向け必要	林梅宮	春伽三郎	加景子
14	模擬挙式 本番					本番に向けて (30分程度)	「小道具等の	最終確	認をする	林梅宮	春伽三郎	加景子
15	模擬挙式の振り返り					前回までの授 おく(30分程度		っかじめ	整理して	林梅宮	春伽三郎	加 景子
教科書	なし(使用資料・	ツールは	都度配布	等アナウンス	します)							
参考文献	『ブライダルコー 『ブライダル総論』 『ブライダルプロ	』一般財[団法人日	本ホテル教育	センター	_	.日本ブライ:	ダル文ク	化振興協会	÷		
備考												

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

この授業では、ウェディングプランナー、店舗責任者、エリア統括、採用担当の経験者を招聘した授業を実施する。 実務家による講義を通じて、ブライダル業界における実務的業務を学び、体験することができる。
 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

TB-3-ECO-09

学修成果		•	•												
科目名			秘書実	<u> </u>		単位 認定者	細川	久美·	子		試験(筆記)	70	%		
	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開護時期	切 後期	単位数	2	単位	ijui	授業内課題等	20	%		
対象学科 必修・選択					_		授業時間数	30	時間	の方法	受講態度	10	%		
配当年次					授業形態	據 講義	授業回数	15	□						
授業の概要	書作成や	やファイ	リング,	スケジュ	ュール管理	里など,秘	書の職務を遂	対行っ	上るたと	めに	交際業務, ビ 必要な技能を取 力を身につける	り上			
到達目標	①組織 ②人間	戦人とし`	て求めら わきまえ	れる資質 た立ち属	質と基本的 呂振る舞り	りな仕事の	oいて修得す 処理の仕方を ,相手の立場	理角	解する。)	する。 や感じの良い印	象を	与え		
学修者への 期待等	受講に	際し,諱	‡義の妨!	ずになる	遅刻,忘	れ物,言重	かなどには十	分注	意して	臨ん	でください。				
回			授:	業計画			準備学修 【事後】授業の進め方を聞き,明確な目標設定と目標達成								
1		≜め方・評 ≦義と必要			資質		【事後】授業のするための計					:目標	達成		
2	秘書の職	機務につい		してどのように影響な(60分程度)	響する	5E									
3		て必要な									企業と経営組織, まとめる(60分程)		·労		
4		レて必要な アティンク			T		【事後】新聞%に関する記事				マーケティング, <i>会</i> る(60分程度)	計・月	財務		
5		て必要な :経営法務		畿につい	T		【事後】新聞や や情報をまと				金融や法務に関す	ける記	事		
6	(人間関	接遇につ	達遣い)				して臨む(60)	分程	度)		ついて大切なこと				
7	(受付・	接遇にて取次、来	(客対応)				【事後】受付・取次,来客対応についての課題に取り組む(60分程度)								
8	マナーと(電話応	:接遇に~ ぶ対)	ついて							- "	関に取り組む(60				
9	(慶弔業	接遇にて終務、贈答	7)				程度)				ての課題に取り組				
10	(会議,	けておく^ ビジネフ	(文書)				【事後】会議, (60分程度)	ビジ	ネス文	書に~	ついての課題に取	り組む	<u>t</u> e		
11	(社内文	けておく^ て書と社タ	卜文書)								題に取り組む(60				
12	(郵便・	けておくへ 秘文書の)取り扱い	1)			収集しまとめ	る(60	分程度)	どのようなものがま				
13	(ファイ	けておく^ 'リング,	名刺や資	資料の整理	理)		取り組む(60%	分程	度)		料整理についての				
14	(オフィ	けておく^ ・ス環境の		こついて			【事後】オフィ 組む(60分程		環境整	備,絲	総合問題演習の課	題に	取り		
15	学修のま実務へ向						【事後】まとめ	の課	題を提	出(60	0分程度)				
教科書	「秘書検定合格教本2.3級」 新星出版社 秘書検定実問題集 3級 実務技能検定協会編 早稲田教育出版														
参考文献	秘書検되	定実問題 定実問題 定実問題	集 2級	実務技	能検定協 能検定協 支能検定協	会編 早和	百番育出版 百日教育出版 稲田教育出版	₹							
備考		者の理解! 目は秘書				P重点の置	き方を変える	らこと	こがある	る。					

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 2 3 TB-3-ECO-14 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 基礎力 学修成果 単位 科目名 旅行業法 堤 博史 試験 (筆記) 70 % 認定者 観光ビジネス学科 選択 1年 単位数 2 単位 受講熊度 30 % 前期 開講時期 対象学科 മ 必修·選択 授業時間数 30 時間 方 配当年次 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 本科目では、旅行業に関する法制度についての基礎を理解することを目的とする。旅行業務に関わる取 引の公正の維持,旅行の安全確保,旅行者の利便増進を目的として制定された旅行業法について,それら の目的を達成するために設けられた様々な制度について学修する。 授業の概要 旅行業法の目的、登録・営業保証金制度、旅行業務取扱管理者制度、旅行取引に関する諸規則、旅行業 協会制度など、旅行業法を系列的に学ぶ。 旅行業に関する法制度について具体的に触れることにより、法律と実務の関連性について理解できるよ 到達目標 うになる。 学修者への 限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にしてほしい。また、授 業時間外においても講義内容の復習や問題演習も積極的に行ってほしい。 期待等 授業計画 準備学修 事前に教科書の総則の箇所を読んで授業に臨んでください。(1 1 総則 時間程度) 事前に教科書の登録制度の箇所を読んで授業に臨んでくださ 2 **登録制度** い。(1時間程度) 事前に教科書の営業保証金の箇所を読んで授業に臨んでくださ 3 営業保証金制度 い。(1時間程度) 旅行業務取扱管理者 事前に教科書の旅行業務取扱管理者、旅行業務取扱料金の箇所 4 旅行業務取扱料金 を読んで授業に臨んでください。(1時間程度) 事前に教科書の旅行業約款の箇所を読んで授業に臨んでくださ 旅行業約款 5 い。(1時間程度) 事前に教科書の標識の箇所を読んで授業に臨んでください。(1 6 標識 時間程度) 事前に教科書の取引条件の説明と契約書面の交付の箇所を読ん 取引条件の説明と契約書面の交付 7 で授業に臨んでください。(1時間程度) 外務員 事前に教科書の外務員、広告表示等誇大広告の禁止の箇所を読 8 んで授業に臨んでください。(1時間程度) 広告表示等誇大広告の禁止 事前に教科書の旅程管理の箇所を読んで授業に臨んでくださ 旅程管理 9 い。(1時間程度) 事前に教科書の受託契約の箇所を読んで授業に臨んでくださ 10 受託契約 い。(1時間程度) 旅行業者代理業 事前に教科書の旅行業者代理業者、禁止行為・登録の取り消し 11 禁止行為・登録の取消し等 等の箇所を読んで授業に臨んでください。(1時間程度) 事前に教科書の旅行サービス手配業の箇所を読んで授業に臨ん 12 旅行サービス手配業 でください。(1時間程度) 事前に教科書の旅行業協会の箇所を読んで授業に臨んでくださ 旅行業協会 13 (1時間程度) 第1回~第13回までに行った授業内容を復習し、授業に臨んで 問題演習(第1回~第13回分) 14 ください。(1時間程度) <u>事前に旅行のパンフレッ</u>トに目を通して授業に臨んでくださ 募集型企画旅行の広告 15 (30分程度) 資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著『2022年対策 旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト 2 旅 行業法・約款』大原出版 教科書 資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著『2022年対策 旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問 題集2 旅行業法・約款』 大原出版 参考文献 必要に応じて指示する。 本科目は国内旅行業務取扱管理者試験,地域限定旅行業務取扱管理者試験の受験科目の1つである「旅行 業法」についても対応する。 1. 「地域限定旅行業務取扱管理者試験」「国内旅行業務取扱管理者試験」の受験予定者は「旅行業約 備考 款」「国内運賃・旅費計算」を併せて受講するとよい。 2. 受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

総合旅行業務取扱管理者、観光庁登録の旅程管理講習資格を有する。

海外勤務を含め旅行業界に40年近く従事した経験から、旅行全般についてポイントや課題等を分かりやすく説明することができる。

	1	2	3	4	5]							斗目ナンバ TB-3-EC		•
学修成果	基礎力	実践力	人间舆係刀	生涯学習力	地球埋解刀	1							10-3-50	0-15	
자 그 수			167- NV	(+(単位		1#.4			⇒ b ##A	/ <i>feeter</i> → □)	7.0	0/
科目名			旅行業約	习款			8定者		博史		評		(筆記)		%
対象学科	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開講時	期	前期	単位数	2	単位	価の	受講	態度	30	%
必修·選択 配当年次					1m) 4% m2	. 4 15	***	授業時間数	30	時間	方法				
					授業形	ルタ	講義	授業回数	15	口					
授業の概要		よどの旅行						いて学修す ∃約款などを							
到達目標		業界や運済になる。		の約款に	ついて具	具体的	に触れ	ることによ	b ,	約款と	実務	の関連	性につい	て理角	解で
学修者への 期待等								も,1回ご めに行って			大切に	こしてに	ましい。言	また,	授
0			授業計画	Ī						準備					
1	総則					事前度)	に教科	・書の総則を	読ん	で授業	に臨ん	んでく	ださい。	(1時間	月程
2	契約の原	戊立					に教科 程度)	・書の契約の	成立	を読ん	で授	業に臨	んでくだ	さい。	(1
3	契約の変	変更					に教科 程度)	·書の契約の	変更	を読ん	で授	業に臨	んでくだ	さい。	(1
4	旅行者の	の解除権					に教科 (1時間	·書の旅行者 程度)	の解	除権を	読ん	で授業	に臨んで	くださ	ž
5	旅行業者		雀				に教科 (1時間	·書の旅行業 程度)	者の	解除権	を読ん	んで授	業に臨ん	でくた	ごさ
6	団体・ク旅程管理	ゲループ 里						·書の団体・ 。(1時間程		ープ,	旅程	管理を	読んで授	業に臨	富ん
7	責任 旅行相詞	炎契約				事前	に教科	・書の責任, 間程度)		相談契	約を記	読んで	授業に臨	んでく	、だ
8	旅程保証	Œ				事前に教科書の旅程保証を読んで授業に臨んでください 間程度)									1時
9	特別補低	賞規程					に教科 間程度	·書の特別補)	償規	程を読	んで	受業に	.臨んでく	ださい	١,٥
10	問題演習	図(第1回]~第9回	分)				回までに行 (1時間程度)	った	授業内	容を行	复習し	,授業に	臨んて	ごく
11	モデルを	 富泊約款					に教科 (1時間	·書のモデル 程度)	宿泊	約款を	読ん	で授業	に臨んで	くださ	2
12	JR旅客管	営業規則					に教科 (1時間	·書のJR旅客 程度)	営業	規則を	読ん	で授業	に臨んで	くださ	2
13	貸切バス	ス約款					に教科 間程度	·書の貸切バ)	ス約	款を読	んで	受業に	.臨んでく	ださい	,°
14	フェリー	-標準運	送約款				に教科 (1時間	·書のフェリ 程度)	一標	準約款	を読ん	んで授	業に臨ん	でくた	ごさ
15	問題演習	図(第11[回~第14	回分)				14回までに (1時間程』		た授業	内容	を復習	し,授業	に臨ん	レで
教科書	行業法資格のプ	大原 旅? • 約款』 大原 旅? 旅行業法	大原出版 行業務取		·講座 編			対策 旅行							
参考文献	必要に原	芯じて指え	示する。												
備考	業約款」 1. 「b 「国内」	につい 地域限定 重賃・旅	ても対応 旅行業務 費計算」	する。 取扱管理 を併せて	者試験」 受講する	「国 るとよ	内旅行 い。	「業務取扱管 「業務取扱管 「を変更する	:理者	試験」	の受				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

総合旅行業務取扱管理者,観光庁登録の旅程管理講習資格を有する。 海外勤務を含め旅行業界に40年近く従事した経験から,旅行全般についてポイントや課題等を分かりやすく説明すること ができる。

科目ナンバリング 2 3 TB-3-ECO-16 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 学修成果 単位 科目名 国内運賃 · 旅費計算 佐藤 美輪 試験 (筆記) 70 % 認定者 観光ビジネス学科 選択 1年 2 単位 受講態度 30 % 単位数 価 開講時期 前期 മ 対象学科 必修・選択 授業時間数 30 時間 方 配当年次 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 旅行実務の中心となる運賃計算・旅費について学ぶ。具体的にはJRの運賃料金計算を主とし、他に も宿泊料金や貸切バス、フェリーの運賃・料金の構成等を理解し、旅行業務に関する実務能力を修得 授業の概要 旅行実務で使われるJR,フェリー会社,貸切バス等の運賃料金計算の仕組みが理解できるようにな 到達目標 限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にしてほしい。ま 学修者への た、授業時間外においても講義内容の復習や問題演習も積極的に行ってほしい。 期待等 授業計画 準備学修 回 旅客営業規則 事前に教科書の旅客営業規則を読んで授業に臨んで 旅客の年齢区分 1 ください。(1時間程度) JR運賃計算① 運賃計算の基礎 IR運賃計算② 事前に教科書の通過連絡運輸の取り扱い、連続運賃 通過連絡運輸の取扱い・連続運賃計算・運賃計算 計算、運賃計算の特例を読んで授業に臨んでくださ 2 の特例 い。(1時間程度) 事前に教科書の割引運賃を読んで授業に臨んでくだ 3 JR運賃計算③ 割引運賃 さい。(1時間程度) 事前に教科書の料金計算の基礎, グリーン料金, 寝 JR料金計算① 台料金を読んで授業に臨んでください。(1時間程 4 料金計算の基礎・グリーン料金・寝台料金 JR料金計算② サンライズ瀬戸号 事前に教科書のサンライズ瀬戸号, 新幹線との乗継 5 割引を読んで授業に臨んでください。(1時間程度) 新幹線との乗継割引 事前に教科書の北海道特急との乗継割引、新幹線・ 北海道特急との乗継割引 JR料金計算③ 6 在来線通し計算を読んで授業に臨んでください。(1 新幹線・在来線通し計算 時間程度) 事前に教科書の東海道・山陽・九州新幹線を読んで JR料金計算④ 7 東海道・山陽・九州新幹線 授業に臨んでください。(1時間程度) 事前に教科書の東北・北陸・北海道新幹線を読んで JR料金計算⑤ 東北・北陸・北海道新幹線 8 授業に臨んでください。(1時間程度) 第1回~第8回までに行った授業内容を復習し、授 9 問題演習(第1回~第8回分) 業に臨んでください。(1時間程度) 事前に教科書のJRその他を読んで授業に臨んでくだ JRその他 10 さい。(1時間程度) 事前に教科書の宿泊料金計算を読んで授業に臨んで 宿泊料金計算 11 ください。(1時間程度) 事前に教科書の貸切バス運賃・料金計算を読んで授 貸切バス運賃・料金計算 12 業に臨んでください。(1時間程度) 事前に教科書のフェリー運賃・料金計算を読んで授 フェリー運賃・料金計算 13 業に臨んでください。(1時間程度) 第10回~第13回までに行った授業内容を復習し、授 14 問題演習(第10回~第13回分) 業に臨んでください。 (1時間程度) JRを利用した旅行プラン作成 15 資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著『2022年対策 旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト3 国内旅行実務』大原出版 教科書 資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著『2022年対策 旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニン グ問題集3 国内旅行実務』 大原出版 必要に応じて指示する。 参考文献 本科目は国内旅行業務取扱管理者試験,地域限定旅行業務取扱管理者試験の受験科目の1つであ「国 内旅行実務」についても対応する。 「地域限定旅行業務取扱管理者試験」「国内旅行業務取扱管理者試験」の受験予定者は「旅行業 1. 備考 「旅行業約款」を併せて受講するとよい。 法工 2. 受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

3. LMSにおいて毎回小テストを実施する。

	1	2	3	4	5							斗目ナンバ	ベリング	
学修成果	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力							TB-3-EC	O-20	
	•	•												
科目名		, j	L 旅行業務	L 演習	I	単位 認定者	堤	博史			試験	(筆記)	70	%
	観光ビジ	ジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	1	単位	-	受講!	態度	30	%
対象学科 必修・選択					INIOMIS. S S V S	134794	授業時間数	30	時間:	の ├ 方 ├				
配当年次					授業形態	演習	授業回数	15		法				
授業の概要	を深める	る。特に	法令への	抵抗感	を下げるため	め,具体的	 を基盤とし かな事例や問 でも兼ねてい	題に参						
到達目標	授業 [*] るように		「旅行業	法」「カ	旅行業約款」	「国内領	実務」と具体	的な事	事例を約	古び、	つけ	関連性を	理解で	き
学修者への期待等	業時間外	外に講義	内容の後	習や問題	9万万円 国演習の反復	复を積極的	こも,1回ごと りに行ってほ 意志をもって	しい。					はなく,	,授
0			授	業計画					準	備学	修			
1	旅行業法 総則・登		• 営業保訓	正金制度	・標識									
2	旅行業活 旅行業務		里者・旅行	亍業務取	扱料金・旅程	呈管理	【事後】問題する。(3時間			った	箇所	(旅行業法	去) を行	复習
3		中の説明。	と契約書	面の交付	・外務員・受	受託契約								
4	旅行業協 広告表示 業		広告の禁」	上・禁止	行為・旅行業	業者代理								
5	旅行業法 登録の耳		等・旅行	ナービス	手配業・旅行	亍業協会	【事後】問題 業約款)を行						法・旅	:行
6	+	契約の成立	立・契約の	の変更・	旅行者の解除	余権								
7	7011110 JIC E	音の解除	雀・団体	・グルー	プ・旅程管理	里	- 【事後】問題	距滨羽	で問治	った	當正	(協行業	約季)	た
8		目談契約	• 旅程保記	正・特別	補償規程		復習する。 (3時間程度)		く同歴	710	回刀	(MI) R	W 3 494)	ح.
9		皆泊約款	・JR営業	見則										
10	旅行業組貸切バス		フェリー	票準運送	約款		-【事後】問題	軍油羽	で問責	へた	笛示	(旅行業	約卦•	囯
11	国内旅行	f実務:J	R運賃計算	章			内旅行実務)	を復			四//	())(1)*	/\ J /Jy\	
12	国内旅行	f実務:J	R料金											
13	国内旅行	丁実務:7	宙泊料金 詞	計算			- 【事後】問題	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	で間違	った	笛所	(国内旅	行宝務	£)
14	国内旅行	「実務:∫	貸切バスi	重賃・料	金計算		を復習する。 (3時間程度)		110Œ	- /	리기	(H1 1/1)	, , , , , , , , ,	,
15			フェリーi											
教科書	行業法 資格のプ	約款』	行業務取 大原出版 行業務取 原出版			_	下対策 旅行業 下対策 旅行業							
参考文献	必要に加	芯じて紹	介する。											
備考	いる。 1. 「国 行業約款	国内旅行美	業務取扱 ^行 内運賃・力	管理者試 依費計算		艮定旅行業 受講すると								

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

総合旅行業務取扱管理者, 観光庁登録の旅程管理講習資格を有する。 海外勤務を含め旅行業界に40年近く従事した経験から, 旅行全般についてポイントや課題等を分かりやすく説明することが できる。

2 3 4 科目ナンバリング 1 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-23 学修成果 単位 科目名 旅程管理 堤 博史 試験 (筆記) 70 % 認定者 観光ビジネス学科 選択 1年 単位数 2 単位 価 受講熊度 30 % 诵年 開講時期 の 対象学科 必修・選択 授業時間数 30 時間 方 配当年次 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 本科目では旅程管理者(ツアーコンダクター)の業務について座学と実習により理解を深める。旅程 管理は旅行商品の最終段階として捉えられ、旅程管理者のみならず消費者(旅行者)にとっても非常に 重要である。具体的には国内旅行に関する旅程管理業務の概説、および当該業務の実施に関して必要不 授業の概要 可欠な各種サービス提供契約と関係法令等についての概説、さらには実際の添乗実習などを中心に行 い、当該業務への理解を深め、円滑にツアーを実施できる能力を養う。 旅程管理者(ツアーコンダクター)の業務について理解を深め、円滑なツアーを実施できるようにな 到達目標 る。国内旅程管理主任者の公的資格を取得する。 限られた講義時間の中で全員の国内旅程管理者(公的資格)の修了を目指す。集中して受講してほし 学修者への 期待等 い。修了した者には、添乗実習を実施する。 授業計画 準備学修 日本の旅行業界の現状と将来性 1 2 旅行業法 (概要, 総則他) 3 旅行業法 (旅行業等) 標準旅行業約款(約款とは) 4 標準旅行業約款 (総則他) 5 標準旅行業約款(契約,旅程管理,責任他) 6 本科目は集中講義のため、以下のように準備し 7 標準旅行業約款 (旅程保証他) てくること。 関係機関約款(国内旅客運送,一般貸切旅客自動車 ①国内旅行(訪日外国人旅行も含む)と海外旅 8 運送,フェリー標準運送,モデル宿泊) 行の現状について調べておくこと ②講義前に教科書の該当するページを読んでお 9 国内旅行実務について くこと 添乗員の役割と心構え(添乗員とは、添乗員の役 10 割,添乗員の基本的要件) 添乗員実務(各種書式等) 11 添乗員実務(日帰りバスツアー、航空機利用ツ 12 添乗員実務 (JR利用ツアー, 宿泊) 13 14 関係機関の基礎知識 観光地理 15 教科書 『旅程管理主任者資格取得講座テキスト(基礎・国内)』アクトレップ株式会社 参考文献 必要に応じて指示する。 本科目は5日間の集中講義である。旅行業法と旅行業約款および旅行実務の講義後に修了テストを実施 備考 本試験は、観光庁長官旅程管理登録研修機関第20号(アクトレップ株式会社)の協力を得て実施する。受

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

験諸費用・修了証書・実習費用が,別途,必要となる。

総合旅行業務取扱管理者、観光庁登録の旅程管理講習資格を有する。

海外勤務を含め旅行業界に40年近く従事した経験から、旅行全般についてポイントや課題等を分かりやすく説明することができる。

 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

 ●
 ●
 ●
 日
 日
 日

11970	•	•											
科目名		草	韓国語会	話 I		単位 認定者	朴!	賢淑			試験(筆記)	80	%
사용 쓰다	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1	単位	評価の	受講態度等	20	%
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30	時間	方法			
101 190					授業形態	演習	授業回数	15	口				
授業の概要	言語にケーショ	ついて, ョンを行い	基本的な いうる程	会話能力 度の基礎	りの向上を 性的な言語	目指す。 ⁻ 軍用能力を	すなわち日常 を養う。その	的なため	状況で に必要	*基本 を な 語	国要な隣国であ 本的な双方向の 日彙・文法・背 り獲得・向上を	コミュ 景とな	ュニ
到達目標					vの読み方, ぶできる。	書き方	ができる。	基礎	的な韓	国語	の能力(文法	,発音	音)
学修者への 期待等					*復習してお とが望まし		。本講では	参加	型授業	を目	指しているた	め, 和	債極
0			授業計	画					準備的	学修			
1		言語と文作ショップ									とておいてくださ		
2		文字と発 音字 /		音字		(1時間程 必ず質問	度)。理解で すること。	きな	かった	内容に	ついては必ず復 ² こついては, 次回]の授業	
3	韓国語の・濃音	文字と発	許			度)。理すること	解できなかっ 。	た内	容につい	ハてに	夏習すること(1時 は,次回の授業で	必ず質	
4		文字と発 音字/終声		٦)		習するこ					チム) 』につい [、] いいては,次回の		, ,,,,
5	韓国語の・発音の	文字と発 ⁻ ルール	立 自				。理解できな				ては必ず復習する いては, 次回の授		
6		: です, ではあり				授業で学習するこ	 たんだ『助詞, 吳) 。	理解で		と体言』につい いった内容につい		
7	③縮約型	が, の 詞:これ, !:これ, ⁻ と陰母音				ず復習す		程度)。理	解でき	f, 陰母音』につ なかった内容に		
8	①代名詞 ②疑問詞 ③月·日					こと(1時		解で			については必ず 7容については,		
9		~ます <i>/-</i> に, ~を,		~ます/	か (文語体)		解できなかっ	_			「復習すること(! は, 次回の授業で		_
10		~まで 字「1つ, 言い方		3つ・・	•]	時間程度					いては必ず復習 oいては,次回の		
11		, ありま [*] 言い方,③			りません 表すことば		2解できなかっ				*復習すること(1 は,次回の授業で		
12		~ます/´ ´ㅂ(ビウ			か(口語体)	授業で学	なだ『日変則 関解できなかっ				*復習すること(1 は, 次回の授業で		
13	①□変則 ②으変則							ず復	習する。	こと。	(1時間程度)		
14	②方法や	手段を表	す表現(~	~で)	こ, ~から)	授業で学	たんだ内容は必	ず復	習する。	こと。	(1時間程度)		
15		尊敬語 (ㅂ 요/ 해요		l다)	※作文	授業で学	たんだ内容は必	ず復	習する	こと。	(1時間程度)		
教科書			• • • •		ッスン初級』		10, スリーエ			ーク			
参考文献	金東漢著	下韓国語	・レッスン	√初級 I 🏻	問題集』200	2005. 3, スリーエーネットワーク							
備考	講義で・学期途	参考資料。 中で遠隔	として配る 受業に切り	資料はフ り替わった	ァイルしてお 上場合,授業計	くこと。 †画につい	ては別途指示	きする	0	.,	誌なども活用する 授業は合同で行		

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 2 3 4 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-24 学修成果 単位 科目名 韓国語会話 [朴 仙子 試験(筆記) 80 % 認定者 % **細光**ビジネス学科 選択 1年 単位数 1 単位 受講熊度等 20 価 開講時期 後期 മ 対象学科 方 必修 選択 授業時間数 30 時間 法 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 本科目は、インバウンドにおいてもアウトバウンドにおいても日本にとって重要な隣国である韓国の 言語について、基本的な会話能力の向上を目指す。すなわち日常的な状況で基本的な双方向のコミュニ 授業の概要 ケーションを行いうる程度の基礎的な言語運用能力を養う。そのために必要な語彙・文法・背景となる 文化などの講義を交えながら,東アジア圏の有力言語である韓国語の会話能力の獲得・向上を目指す。 韓国語の文字であるハングルの読み方、書き方ができる。基礎的な韓国語の能力(文法、発音) 到達目標 を身につけ、簡単な日常会話ができる。 毎回の学修内容について必ず復習しておくこと。本講では参加型授業を目指しているため,積極 学修者への 期待等 的に授業に参加し、発言することが望ましい。 授業計画 準備学修 ・韓国の言語と文化 「韓国語会話 I」を受講する理由を考えておいてください。 1 ・ワークショップ (レベルテスト) 授業で学んだ『母音字』『子音字』については必ず復習すること(1 韓国語の文字と発音 2 時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質 • 基本子音字 問すること 授業で学んだ『濃音』については必ず復習すること(1時間程度)。理 韓国語の文字と発音 3 解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること 濃音 授業で学んだ『合成母音字/終声(パッチム)』については必ず復習 韓国語の文字と発音 すること。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問 4 ・合成母音字/終声 (パッチム) オスニレ 授業で学んだ『発音のルール』については必ず復習すること(1時間程 韓国語の文字と発音 5 度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問する 発音のルール ①助詞:は,も 授業で学んだ『助詞, 疑問形, 否定, 用言と体言』については必ず復習 ②疑問形:です,ですか すること(1時間程度) 。理解できなかった内容については,次回の授 6 ③否定:ではありません 業で必ず質問すること。 ④用言と体言 ①助詞:が,の 授業で学んだ『形式名詞,縮約型,陽母音,陰母音』については必ず復 ②形式名詞:これ,それ,あれ 7 習すること(1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の ③縮約型:これ,それ,あれ 授業で必ず質問すること。 ④陽母音と陰母音 授業で学んだ『代名詞,疑問詞/漢数詞』については必ず復習すること ①代名詞 ②疑問詞/漢数詞 (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず 8 ③月・日の言い方 質問すること 授業で学んだ『丁寧語』については必ず復習すること(1時間程度) ~です,~ます/~ですか,~ますか(文語体) 9 理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。 ~^, ~に, ~を, ~と 授業で学んだ『固有数字,否定形』については必ず復習すること(1時 ①~から~まで ②固有数字「1つ,2つ,3つ・・・」 10 間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問 ③時刻の言い方 /否定形 すること。 ①います, あります/いません, ありません 授業で学んだ『助数詞』については必ず復習すること(1時間程度)。 ②年齢の言い方, ③助数詞, ④位置を表すことば 11 理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること ~です,~ます/~ですか,~ますか(口語体) 授業で学んだ『日変則』については必ず復習すること(1時間程度)。 12 ~で / ㅂ (ビウップ)変則 理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。 ① □ 変則 授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程度) 13 ②으変則 ①名詞・代名詞の後に付く助詞(~に,~から) 授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程度) 14 ②方法や手段を表す表現(~で) 現在形, 尊敬語 (ロ니다, 습니다) 授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程度) 15 아요/어요/ 해요

・教科書を中心に授業を行うが、韓国語の理解を深めるために上記の教材以外にも新聞、雑誌なども活用する。

2018.10, スリーエーネットワーク

金東漢・張銀英著『新・韓国語レッスン初級』

・講義で参考資料として配る資料はファイルしておくこと。・学期途中で遠隔授業に切り替わった場合,授業計画については別途指示する。

金東漢著『韓国語レッスン初級Ⅰ問題集』2005.3,スリーエーネットワーク

・「韓国語会話 I」は習熟度別にクラスを編成し、朴賢淑と朴仙子が担当する。なお,第1回の授業は合同で行う。

※以下は該当者のみ記載する。

教科書

参考文献

備考

1 2 3 4 5 科目ナンバリング TB-3-ECO-32 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 学修成果 単位 50 % 科目名 英会話基礎 吉野 千乃 試験(筆記) 認定者 評 30 % 選択 1年 1 単位 観光ビジネス学科 単位数 授業内課題 価 開講時期 前期 മ 対象学科 方 30 時間 受講熊度 20 % 必修·選択 授業時間数 法 配当年次 演習 授業形態 授業回数 15 回 本科目では、日常生活の基本的でごく簡単な英語のやりとりができるようになることを目標に実践的な英会 話を行う。ネイティブスピーカーの使用する表現や便利な会話表現などを中心に学修する。英語を話すこと々 授業の概要 の抵抗感を下げるため、ゲーム等を取り入れながら実施する。また、オンライン英会話を利用した英語話者と の英会話も取り入れる。 大学生として身近な「自分のこと」が英語で話せるようになる。 授業とオンライン英会話レッスンの実践を通じ、基本的な文法と表現を身につけ、英語でのコミュニケーショ 到達目標 ンに積極的に取り組めるようになる。 実践を伴う授業であるため、ペア、グループで行う活動への積極的な姿勢を期待する。 オンライン英会話は各 学修者への 自でレッスンを予約して行うため、スケジュール管理を怠らないこと。 期待等 授業計画 準備学修 授業ガイダンス/ 1 オンライン英会話レッスンの予約方法について テキスト Unit 1 Speaking About Yourself Unit 1 Practice 2:Questions and Answersに回答しておく 2 ペア・ワーク (Small Talk) (概ね50分) テキスト Unit 2-1 What Do You Do? Unit 2 Practice 2:Questions and Answersに回答しておく 3 オンライン英会話の事前学修 (概ね50分) オンライン英会話① オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 4 スト:新出表現の確認(概ね30分) テキスト Unit 2-1 What Do You Do? オンライン英会話② オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 5 スト:新出表現の確認(概ね30分)。 テキスト Unit 3-1 What Does He Look Like? オンライン英会話③ オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 6 テキスト Unit 3-1 What Does He Look Like? スト:新出表現の確認(概ね30分)。 オンライン英会話④ オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 7 テキスト Unit 4-1 Where Are You From? スト:新出表現の確認(概ね30分)。 オンライン英会話(5) オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 8 スト:新出表現の確認(概ね30分)。 テキスト Unit 4-2 Where Are You From? オンライン英会話⑥ オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 9 スト:新出表現の確認(概ね30分)。 テキスト Unit 5-1 Likes and Dislikes オンライン英会話(7) オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 10 テキスト Unit 5-2 Likes and Dislikes スト:新出表現の確認(概ね30分)。 オンライン英会話⑧ オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 11 スト:新出表現の確認(概ね30分)。 テキスト Unit 6-1 What's She Like? オンライン英会話⑨ オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 12 スト:新出表現の確認(概ね30分)。 テキスト Unit 6-2 What's She Like? オンライン英会話⑩ オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキ 13 スト:新出表現の確認(概ね30分)。 テキスト Unit 7-1 Tell Me About Your Family 14 学修した表現を用いて、グループで会話スクリプトを作 テキスト Unit 7-2 Tell Me About Your Family 成する(概ね60分)。 会話スクリプト作成(グループワーク) テキスト Unit 1-7 Review グループで作成した会話スクリプトの練習をして、発表 15

※以下は該当者のみ記載する。

教科書

参考文献

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

て臨むこと。履修状況により,進度や順番が変更になる場合がある。

会話スクリプト発表(グループワーク)

資料は随時LMSより配信する。

授業にはテキスト,辞書(紙・電子辞書どちらでも可) , オンライン英会話テキスト保存用ファイル, 記録用ノートを準備し

Vincent, P., Nakazato, N. & Meadows, A. (2020). Speaking of People. Nan'un-Do.

の準備を行う(概ね60分)。

	1	2	3	4	5
举权 录用	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果					

科目名		英会話応用					吉野	千八	ל		試験(筆記)	50	%
	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1	単位	評価の	授業内課題等	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30	時間	方法	受講態度	20	%
101 190					授業形態	演習	授業回数	15	口				

授業の概要 本科目では、これまでに学修した英語の知識を活用し、趣味などの身近な話題や、様々な社会問題について、自分の意見をわかりやすい英語で伝える力を身につけることを目的とする。また、オンライン英会話を利用した英語話者との会話を通じ、英語での思考力や表現力を高め、自分の考えをためらうことなく伝えられるようになることを目指す。

到達目標 様々なトピックについて英語で自分の意見をまとめて、相手に伝えられるようになる。 オンライン英会話を通して、実践的コミュニケーション能力を向上させる。

学修者への期待等

実践を伴う授業であるため、受け身ではない積極的な姿勢を期待する。

オンライン英会話は予約制のため、日時・時間の変更はできない。また受講者の都合による欠席・遅刻のないように自己管理を怠らないこと。

	授業計画	準備学修
1	授業ガイダンス/ポートフォリオ作成について オンライン英会話のアカウント作成と予約方法	T WO I P
2	テキスト Unit 8-1 Communication	Unit 8 Practice 2:Questions and Answersに回答しておく(概ね50分)
3	テキスト Unit 8-2 Communication	テキスト指定箇所の予習(概ね50分)。
4	オンライン英会話① テキスト Unit 9-1 How Are You Feeling?	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
5	オンライン英会話② テキスト Unit 9-2 How Are You Feeling?	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
6	オンライン英会話③ テキスト Unit 10-1 Memories	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
7	オンライン英会話④ テキスト Unit 10-2 Memories	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
8	オンライン英会話⑤ テキスト Unit11-1 Talking About Health	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
9	オンライン英会話⑥ テキスト Unit 11-2 Talking About Health	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
10	オンライン英会話⑦ テキスト Unit 12-1 Mindset	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
11	オンライン英会話® テキスト Unit 12-2 Mindset	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
12	オンライン英会話⑨ テキスト Unit 11 Talking About Health	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
13	オンライン英会話⑩ テキスト Unit 12 Mindset	オンライン英会話:学修の記録をつける(概ね20分)/テキスト:新出表現の確認(概ね30分)。
14	テキスト Review Unit 8-10 グループワーク	テキスト指定箇所の予習(概ね50分)。
15	テキスト Review Unit 11-12 グループワーク	テキスト指定箇所の予習(概ね50分)。
教科書	Vincent,P.,Nakazato,N. & Meadows,A. (2020). Sp	reaking of People. Nan'un-Do.
参考文献	資料は随時LMSより配信する。	
備考	授業にはテキスト,辞書(紙・電子辞書どちらでも 録用ノートを準備して臨むこと。履修状況により,	可), オンライン英会話テキスト保存用ファイル, 記 進度や順番が変更になる場合がある。

※以下は該当者のみ記載する。

 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

TB-3-ECO-40

学修成果	基锭刀	美歧刀	スラスス	工涯于日乃	地與理解刀						18-3-600	J 4 0		
丁砂 灰木		•												
科目名		I	観光英	語	<u> </u>	単位 認定者	吉野	千刀	Ъ		試験(筆記)	60	%	
11 A 24 Tu	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	1	単位		授業内課題等	20	%	
対象学科 必修·選択 配当年次							授業時間数	30	時間	の方法	受講態度	20	%	
能当千久					授業形態	旗 演習	授業回数	15	П	Į				
授業の概要	向上と観	光現場で	必要となる	カ 用語・表	現等の修行		空港やホテル				科目では,日常英語接する会話場面			
到達目標	観光分	野に関す	る様々な記	吾彙,表現	を身につい	けて,基本的な	な応対が英語で	ででき	きるように	こなる	0			
学修者への 期待等	事前に	指定箇所	の予習を行	行い授業は	こ臨むこと	,授業外でも	積極的に英語	学修	に取り組	まむこ	とを期待する。			
			授	集計画					4	捧備 与	学修			
1	授業の進	生め方につ	いて/Un	it 1 Tra	avel									
2		Jobs and らの名称を					Unit 2 Vocab 辞書等で確認				ておく。不明な語 分程度)	彙は必	ふず	
3		Getting 茶乗時の表					Unit 3 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必辞書等で確認しておく。(40分程度)							
4		Immigra 野理と税関			ns ≿学修する		Unit 4 Vocab 辞書等で確認				ておく。不明な語 分程度)	彙は必	ふず	
5		At the A		れているネ	表現を学修	ぎする	Unit 5 Vocab 辞書等で確認				ておく。不明な語 分程度)	彙は必	公ず	
6		Hotel (Ac 予約,チェ			表現を学	多する	Unit 6 Vocab 辞書等で確認				ておく。不明な語 分程度)	彙は必	公ず	
7		Restaura ・やファスト		で使用する	る表現を学	修する	Unit 7 Vocab 辞書等で確認				ておく。不明な語 分程度)	彙は必	公ず	
8		Sightseei どで使用す		学修する			Unit 8 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必辞書等で確認しておく。(40分程度)						必ず	
9		Shopping グで使用	する表現	を学修する	5		Unit 9 Vocab 辞書等で確認				ておく。不明な語 分程度)	彙は必	公ず	
10		Transpo 種機関で使		現を学修	する		Unit 10 Voca ず辞書等で確				ておく。不明な記 0分程度)	吾彙は	必	
11		Problems こじたときの					Unit 11 Voca ず辞書等で確				せておく。不明な 0分程度)	語彙は	比必	
12		nal Unit: 旅館への												
13		nal Unit:)食事,おみ			an 2									
14	観光英語 施分を予	F検定3級 →定)	問題演	習① 過	去問題(第	第42 回実								
15	観光英語 施分を予	₽検定3級 →定)	問題演	習② 過	去問題(第	第43 回実								
教科書	観光英樹	食センター	一編著(2014) [゚゚ベーシッ	ク観光英語	吾』三修社							
参考文献		MSより												
備考		はテキス D状況に。				生じる場合	がある。							

※以下は該当者のみ記載する。

	1	2	3	4	5
尚佐 武田	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果					

	•	•													
科目名			TOEIC演	習		単位 認定者	尾形	まゆみ		試験 (筆記)	60	%			
사용뿐다	観光ビジネ	ス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の	授業内課題等	30	%			
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30 時間		受講態度	10	%			
104 104					授業形態	演習	授業回数	15 回							
授業の概要	スニング, 話等で学(トテイキ)	,リーラ 修したP ングのフ	ディング 内容を復 方法も指	力の向」 習し,定 導し,緩	ニを図る。' E着させる 東習する。	roeic®は「 ことにも~	ビジネス場面 つながる。ま	iを題材と ミた,TOEI	してい C®をき	題を利用しなかいるため, ビジ 受験する際に有	ネスタ	英会テス			
到達目標					問題を通し 5躍できる			テストス	キルを	身につけ, TOE	ICの)	スコ			
学修者への 期待等	強の成果を	を確認! 使うた&	してくだ かには1年 公要不可	さい。 Fの後期 欠です。	(試験の2ヶ	-月前に締	め切りにな	るので,i 必要があり	計画的	, 自分で申し込 に受験するよう 。特にエアライ	に)	就			
			授	集計画			> - N- 2		準備等		==== /===	· —			
1	オリエン	テーショ	ョン, Pr	e-Test			法などについ	ハて十分に	理解	極旨,授業内容, しておく。(1時間) 「おいます」。)				
2	Unit1: Er	ntertai	nment (Listeni	ng)		映画や音楽などの娯楽に関する単語・リスニングセクションの予習(1時間) グラマー・映画や音楽などの娯楽に関するリーディング								
3	Unit1: Er	ntertai	nment (Reading)		グラマー・映 セクションの			娯楽に関するリー	ーディ	ング			
4	Unit2 :Pe	ersonne	l (List	ening)			求人広告や ンの予習(1		こ関す	る単語・リスニン	グセク	フショ			
5	Unit2 :Pe	ersonne	l (Read	ing)			グラマー・求 セクションの			、事に関するリー	ディン	<i>'</i> グ			
6	Unit3: Of	ffice W	ork & S	upplies	(Listenia	ng)	ンの予習(1	時間)		が単語・リスニング					
7	Unit3: Of	ffice W	ork & S	upplies	(Reading))	クションの予	習(1時間)	品に関するリーデ					
8	Unit4: Of	ffice M	lessages	(Liste	ning)		電話やEメールなどのオフィスメッセージに関する単語・リスニングセクションの予習(1時間)								
9	Unit4: Of	ffice M	lessages	(Readi	ng)		グラマー・電話やEメールなどのオフィスメッセージに 関するリーディングセクションの予習(1時間)								
10	Unit5: Ea	ating C	ut (Lis	tening)			グセクション	の予習(1	時間)	食に関する単語					
11	Unit5: Ea	ating C	ut (Rea	ding)			語・長文リー	ディングセ	クショ	-などの外食に関 ンの予習(1時間)	·			
12	Unit6: Te	echnolo	gy (Lis	tening)			グセクション	の予習(1	時間)	術に関する単語					
13	Unit6: Te	echnolo	gy (Rea	ding)			グラマー・コン ディングセク			の科学技術に関 時間)	する	リー			
14	Unit7: Re (Listenir		& Merc	handise	Developm	ent	調査研究や ンの予習(1		こ関す	る単語・リスニン	グセク	フショ			
15	(Reading))			Developm		セクションの	予習(1時	間)	発に関するリー					
教科書	成美堂 S 演習)	SUCCESS	FUL STE	PS FOR	THE TOEIC	L&R TEST	`-New Edit	ion- (テ	ーマを	引TOEIC L&R TE	ST 総	:合			
参考文献	必要に応し	ごて講義	中に適宜	指示しる	ます。										
備考	いないとり	見なされ ダウンロ	1, 授業 コードし	態度評価 た音声を	fiに影響し	ます。毎[習してお	回授業の初め	うに前Unit	のリン	えられないと予 スニング復習テ 学生の熟達度,	ストる	を行			

※以下は該当者のみ記載する。

	1	2	3	4	5
***	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果					
		•	•		

科目ナンバリング TB-3-ECO-33

科目名		観光~	インター	ンシッフ	۶	単位 認定者		賢淑 春伽		受講態度	30	%
	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の	報告書	25	%
対象学科 必修·選択 配当年次							授業時間数	45 時間		受入先の評価	25	%
					授業形態	実習	授業回数	集中		発表	20	%
極業の極声	旅行・ホテル・航空・ブライダルなど、観光ビジネスに関する機関において、おおむね1週間の基本的実務に関する実習を行う。											

授業の概要

それぞれの機関における特徴を理解し、観光ビジネスに関する業務を行うために必要な知識と実務 能力を身につける。

学修者への 期待等

①インターンシップ科目の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。

②自ら積極的に情報を収集し、インターンシップ先を開拓する努力をすること。 ③インターンシップ先では、勤務時間などの諸規則をしっかりと守り、青葉生として恥ずかしくない 振る舞いをすること。

授業計画

1. 実習期間

受入先企業により異なる。

- 2. 実習計画
 - (1) 事前研修(集中講義)

第1回 インターンシップの概要と目的,成績評価の方法

第2回 観光ビジネスに関わる業種・職種・企業について

第3回 自分に合ったインターンシップ選び方, 応募の仕方

第4回 インターンシップ選考について

第5回 インターンシップに参加した後取り組むこと

(2) インターンシップ (職場実習)

原則として、以下の全てを満たすことを条件とする。

- ①実習時間数が概ね「35時間以上」であること。
- ②当該年度内に実施されるインターンシップであること
- ③インターンシップ先から以下の評価協力について承諾を得られること
 - ・「インターンシップ活動報告書」にサインまたは押印
 - ・「インターンシップ評価表」にインターンシップ中の評価を記入
 - (注1) 以上の書類は実習前に学生および受入先企業に配布
 - (注2) 海外のインターンシップ先を個人で開拓した場合は、日本語で上記書類を作成してもらうこと
 - (注3) 旅行会社の海外インターンシップツアーを利用した場合は、旅行会社指定の書類や成果物を 提出すること
- ④「学生教育研究災害傷害保険」に加入していること
- (3) 「インターンシップ活動報告書」および「インターンシップ評価表」の提出
- (4) インターンシップ報告会での発表
- 3. 実習目標

就職活動前にインターンシップを経験することで、組織活動の仕組みを知り、社会人としての責任を自覚 し、観光ビジネス業界で働くことの意義について考え、進路選択の幅を広げることができるようになる。

【注意事項】

- ①「事前研修」や「インターンシップ報告会」の日程については、LMSで連絡する。
- ②「事前研修」と事後の「インターンシップ報告会」で20%を超えて欠席した場合、単位認定は行わない。
- ③インターンシップ中に個人的な事由により欠勤し実習時間が35時間に満たなかった場合、単位認定を行わな (忌引き等やむを得ない事情については、担当教員が本学の公認欠席規程に準じて判断する)
- ④その他,受入先が実習継続困難と判断し,中止に至った場合,単位認定を行わない。
- ⑤企業から直接短大にインターンシップ受入の案内があった場合は掲示等で連絡するが、年度により、 職種や受入人数にばらつきがあるので、早めに自己開拓の努力をすること。
- ⑥他科目の集中講座の日程と実施時期が重なることもあるので、インターンシップ先を選ぶ際には注意するこ

適宜, レジュメを配布する。 教科書 参考文献 必要に応じて指示 備考

※以下は該当者のみ記載する。

	1	1 2	3	4	5
** ** ** ** **	基礎力	礎力 実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果					

科目名	海外研修					単位		賢淑		授業内課題	60 %
THE	観光ビジネス	ス学科	選択	1年	88 全集 n土 46	認定者	吉野 単位数	1 単位	評価	受講態度(事前,事後)	20 %
対象学科 必修・選択					開講時期	通年	授業時間数	30 時間	6	報告書,発表会	20 %
配当年次					授業形態	演習	授業回数	集中	<i>,</i> <u>,</u>		
授業の概要	実感し、今 ミュニケー	·後のタ ·ション	外国語学 ンについ	習のモラ	ゲベーショ と深める。	ンとする。	とともに、海 観光」と「外	外の多様だ	な文化	。 ける外国語の とに触れ、文化 現和性の高い要	間のコ

して自己のスキルアップにつながる基本的な知見を獲得する。

学修者への 期待等

- ①海外研修の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。
- ②渡航の準備は各自で責任を持って進めること。 ③事前学修・事後学修も研修の要件となることを理解し、欠席をしないこと。
- ④短い研修期間を有意義に過ごすため、日本での準備をしっかりと行うこと。
- ⑤現地での学修・生活の記録をつけ、実りある研修生活を送ることを期待する。

授業計画

1. 研修先・研修期間

4月ガイダンス時に説明する。

※詳細については、別紙で配布する。

2. 授業計画

現地校での外国語学修と観光事情についての学びを中心とする。

(1) 事前学修(学内)

第1回 海外研修の目的

第2回 海外研修のための具体的な準備

第3回 海外研修の自己目標設定とグループ内発表

- (2) 海外研修 (現地にて)
 - ①『観光』を専門に学んでいる海外の学生との学術交流
 - ②現地の観光事情について、視察内容をまとめ、学びを深める。
 - ③ (ホームステイの場合) ホストファミリーと交流し、異文化理解やコミュニケーション力の 向上に努める。
- (3) 事後学修(学内)

第4回 自己目標に対する研修の振り返り 報告書作成について

第5回 海外研修報告会

- 3. 目標
 - ①アジア圏での生活と学修により、自身の外国語コミュニケーション力を体験的に理解し、 今後の学修に活かす。
 - ②アジア圏での人々との交流により、異文化コミュニケーションの楽しさを知る。
 - ③アジア圏での観光視察により、「観光」への知見を広め、グローバル時代の観光について考察する。

【注意事項】

- ① 学内実施の「事前学修」,「事後学修」の日程は,LMSで連絡する。
- ② 現地での研修期間中に個人的な事由により現地授業や視察に出席できなかった場合, 原則として単位認定を行わない。
- ③ 渡航前に現地研修が何らかの事情により中止に至った場合、事前学修が行われていても、 単位認定を行わない。

教科書	適宜、レジュメを配布する。
参考文献	必要に応じて指示
備考	

※以下は該当者のみ記載する。

 修成果
 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

 ●
 ●
 ●
 ●

本能力	天成刀	入间舆怵刀	工匠子自刀	-B-W-E/J+73						<u> </u>						
•	•	•	•	•												
	基礎等	キャリア	形成ゼミ		単位 認定者	朴 5	賢淑			試験(レ	/ポート)	70	%			
観光ビジネ	ネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1	単位	評価の	受講態	度	30	%			
						授業時間数	30	時間	方							
				授業形態	演習	授業回数	15	□	,_,							
いくのか いて考え	を考えら , 自らの	られるよ の将来を	うにする イメージ	。また, 長 できるよ	長近の社会 うにするな	や職業の動 と、職業意	向に 識を	ついて 涵養し	理解 てい	を深め, く。さ	働く	意味に	つ			
②社会人 ③ライフ	として値 ステー?	動く意味 ジに沿っ	や将来就 たキャリ	きたい職業 アプラン?	を具体的 と立てるこ]にイメージ ことができる。	でき	るよう								
グループ							_									
		授	業計画					ž	隼備勻	学修						
ガイダン	ス,大学	生活とキ	ニャリア			グループワーク	をとこ	おしたブ	レイン	ストーミン	⁄グを行い	はす。				
「大人に	なる」こ	ことの意	味			ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしておくこと。(1時間程度)										
就職活動	と大学で	で学ぶこ	ح							間題に関	関するトヒ	ピックに	目をと			
働き方の	変化 ~	~若者労	働~							助問題に 関	関するトヒ	『ックに	目をと			
キャリア	プランの	の発表・	デザイン	,						制問題に関	関するトヒ	<i>゚゚</i> ックに	目をと			
求職と求	人									動問題に 関	関するトヒ	ピックに	目をと			
賃金格差	~若君	者の貧困	問題~							間題に関	関するトヒ	^ピ ックに	目をと			
昇進と昇	格									動問題に 関	関するトヒ	ピックに	目をと			
労働時間	と休暇									助問題に 関	関するトヒ	『ックに	目をと			
福利厚生										制問題に関	関するトヒ	² ックに	目をと			
ダイバー	シティ〜	〜ワーク	ライフバ	ランス視点	ミから~					動問題に 関	関するトヒ	ピックに	目をと			
若者の離	職と転取	哉 ∼就	活うつ~	,						助問題に関	関するトヒ	ピックに	目をと			
企業統治	と従業員	員~変化	する会社	:との関係~	~					動問題に 関	関するトヒ	ニックに	目をと			
さまざま	なキャリ	リア								問題に関	関するトヒ	 ピックに	目をと			
キャリア	形成と	求められ	る基礎能	 a 力						助問題に関	関するトヒ	ニックに	目をと			
					ちし,重要な	な文献につい	ては・	その都見	度紹ク	介する。						
												_				
必要に応	じて適宜	紹介する) ₀													
	いい身 ①②③ T グま ガ 「 就 働 キ 求 賃 昇 労 福 ダ 若 企 さ キ ・ 自くてが 将社ラ T アルナ イ 大 職 き ャ 職 金 進 働 利 イ 者 業 ま ャ 特のかえメ や人フ プ ン に 動 の ア 求 差 昇 間 生 一 離 治 ま ア ル	● 基礎 親光 ピジネス 学科 自くてが将社ラ 実のかえメや人フ に 別 のかえメや人フ に 別 のかえメや人フ に プ グ よ が 「 大 職 き ヤ 散 金 時 厚 バ の かえメ を よ き ヤ ト な と 時 厚 エ が な ま ア 川 ル な な ま ア 川 ル な な ま ア 川 ル な な ま ア 川 ル な い ま で ま ヤ に ま ま ヤ に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま ま で に ま か な い な に ま で に ま ま で に ま か な い は か な い は か な い は か な い は ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に ま で に	● 基礎キャリア 基礎キャリア 観光ビジネス学科 必修 のおくてがいます。 で味ったして一生をわれていまでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点にもでは、一点には、一点には、一点には、一点には、一点には、一点には、一点には、一点に	● 基礎キャリア形成ゼミ 観光ビジネス学科 必修 1年	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ■ ■ 基礎キャリア形成ゼミ 観光ビジネス学科 必修 1年 開講時期 授業形態 自身のキャリアを形成することの意味を引いて考え、自らの将来を分よくのできることを見極める。またようのの将来を対した将来の姿に到達するために ① 科会会人として働く高いを考えがらいます。	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	#位	基礎キャリア形成ゼミ 現食者 計	銀光ビジネス学科 必修 1年	#位	基礎キャリア形成ゼミ 単位数 1 単位	#位	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 2 ર 1 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-4-SEM-02 学修成果 単位 試験(レポート) % 科目名 実践キャリア形成ゼミ 朴 賢淑 70 認定者 観光ビジネス学科 必修 1年 単位数 単位 受講熊度 30 % 1 価 開講時期 後期 の 対象学科 方 30 時間 必修·選択 授業時間数 法 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 「基礎キャリア形成ゼミ」で学んだ基礎知識を踏まえ、様々な職種や業種について理解する。 自分自身を客観的に分析できるようになるとともに、履歴書・自己紹介文・エントリーシートなどの書き方、イン 授業の概要 ターネットを活用した情報収集の方法などを広く学ぶ。 ①将来やりたいこと,できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 到達目標 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる 充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループ 学修者への 期待等 ワークや実践家を招いたフリートークをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待します。 授業計画 準備学修 「基礎キャリア形成ゼミ」の振り返りをとおして学んだ内容を確認しておくこ 就活への準備と心得 1 と。(30分程度) ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしてお 人生のロールモデルを探す 2 くこと。また,授業後には,振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度) ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしてお 3 キャリアパスってなあに? こと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこ ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしてお 社会で必要となるコミュニケーションスキル くこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 4 -自分の意見を論理的にまとめる-(1時間程度) ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしてお こと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 世界をみすえたキャリアづくりとは 5 (1時間程度) 就職ガイダンス […就職活動キックオフガイダンス,支援セ 6 ンターの利用方法,求職票の作成 7 文化観光 8 就職ガイダンスⅡ…就職活動の進め方,求人票の見方,履 9 歴書の書き方 ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしてお 10 社会人から学ぶ「社会で必要な力」 、こと。また,授業後には,振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこ (1時間程度) 就活マナー講座…第一印象の大切さ,社会人としてマナー 11 リクルートスーツの着こなし方 就職体験報告会…2年生から実際の就職活動体験を話し 12 てもらう 面接セミナー…面接の種類,面接のポイント,面接練習 13 ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしてお リーダーシップトレーニング 14 くこと。また,授業後には,振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 (1時間程度) ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をとおしてお くこと。また,授業後には,振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。 講座のまとめと総括:社会人とキャリア形成 15 適宜、レジュメを配布する。 教科書 参考文献 必要に応じて、授業において紹介する。 受講者の理解度等により,講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 備考

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 2 3 4 5 1 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-4-SEM-04 学修成果 成澤 広幸 朴 賢淑 単位 % 試験(レポート) 科目名 初年次ゼミ 70 認定者 吉野 千乃 林 春伽 価 観光ビジネス学科 必修 1年 単位数 単位 受講態度 % 30 開識時期 前期 の 対象学科 方 必修·選択 配当年次 授業時間数 30 時間 法 授業形態 演習 授業回数 15 回 初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義 なものとするための基礎的なスキルを身につけ,大学生活の様々な場面で活用できるようになることを 目的とする。 授業の概要 また、グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて、コミュニケーションスキルの向上 を目指す。 大学新入生が、授業を中心とした大学生活において身につけておくべきさまざまなスキルを修得し、 到達目標 大学生活のいろいろなシーンで活用できるようになる。 学修内容により、1年生全員が合同で受講する場合とゼミ別に受講する場合がある。事前にLMS等で連 学修者への 絡するので、欠席や遅刻をせず、どちらにも積極的に参加すること。また、各ゼミの演習では、担当教 期待等 員の指示に従うこと。 回 授業計画 準備学修 学生便覧とシラバスを持参してください。 ガイダンス,グループワークの進め方 1 自己紹介の内容を考えてきてください。(30分程度) 大学で学ぶことの意味 2 スタディースキル① 図書館の活用方法,情報検索の仕 3 スタディースキル② 観光ビジネス学科での学びを考え なぜ観光ビジネス学科を選んだのかについて,具体的 4 に話が出来るようにしてきてください。(1時間程度) 「ホスピタリティ」という言葉の広義の意味について考え スタディースキル③ ホスピタリティについて考える 5 てきてください。(1時間程度) 6 学外研修について調べておいてください。(1時間程 学外研修 度) 7 フィールドワーク① 課題設定と調査方法 8 フィールドワーク② 現地調査 9 フィールドワーク③ プレゼン資料の作成 プレゼン資料を完成させてください。(1時間程度) 10 フィールドワーク④ ゼミ内発表 発表の練習をしてきてください。(1時間程度) 11 フィールドワーク⑤ 4ゼミ合同発表, まとめ 12 事前にLMSにアップロードする授業資料を読んで、理 13 レポート作成の技術 解しておいてください(30分程度) 新聞セミナー① 情報リテラシー力をつけよう 14 新聞セミナー② 記事の構成,文章の作り方 15 特に指定しないが、参考資料を適宜配布する 教科書 参考文献 授業中に各教員から指示する。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

・授業の順番や進行は、受講者の理解度等によって変更することがある。

・1年合同開講:第3回,第6回~第7回,第12回,第14回~第15回,それ以外の授業回はゼミ別で実施する。

3 5 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-5-SEM-01 学修成里 単位 科目名 観光ゼミナールA 成澤 広幸 試験(レポート) 40 % 認定者 単位 % 観光ビジネス学科 選択 1年 単位数 1 授業内課題等 30 前期 価 開講時期 後期 対象学科 方法 必修·選択 観光ビジネス学科 選択 2年 授業時間数 30 時間 受講態度 30 % 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と、課題を発見し解決する能力の 育成を目的とする。 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修 授業の概要 得した専門的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身 我が国のアウトバウンドとインバウンドという国際観光の大きな流れについて、その沿革を概観す ることができ、乗り越えてきた諸問題について理解を深め、現在直面する課題とその解決の方向につ 到達目標 いて、自分なりの考えを自分の言葉で表現することができる。 国際観光の理解には旺盛な好奇心が必要です。好奇心による疑問を一つ一つ解いていくことで、観 学修者への 光現象はそれまでとは全く違った姿を呈してきます。好奇心を貪欲なくらい持って、観光の世界を眺 期待等 めてください。 授業計画 準備学修 ガイダンス: ゼミの進め方, ゼミ長などの選出, ゼミ予定の 検討。調査するアウトバウンドテーマの選定。 1 日本のアウトバウンド概略(1):バブル期まで(講義&ディ スカッション) 日本のアウトバウンド概略(2):「失われた30年のアウトバ 日本人の海外旅行の歴史、および「ハワイ」が日本人の 2 ウンド」(講義&ディスカッション)。 海外旅行の中で占める位置について、概略を調べてく アウトバウンド事例研究:ハワイ。 ださい(概ね1時間) 自分が選定したテーマの組み立てを考えておいてくだ アウトバウンドテーマの調査 3 さい(概ね30分)。 4 アウトバウンドテーマの調査結果のプレゼンテーション 5分ほどで発表をまとめるように準備してください。 5 フィールドワークの事前調査:定義山西方寺 定義山西方寺について調べてください(概ね30分)。 6 県内観光地フィールドワーク(1)仙台にとって馴染み深 宗教施設が広義の観光地となった理由を考えておいて い宗教観光地を尋ねる:定義山西方寺 ください。(概ね1時間) 7 日本のインバウンド概略(講義&ディスカッション)。イン 訪日外国人旅行者の観光活動について概略を調べて 8 バウンドテーマの選定。 ください(概ね1時間) インバウンドと経済:「安いニッポン」(講義&ディスカッ 「安いニッポン」について調べてください(概ね20分) 9 ション)。 自分が選定したテーマの組み立てを考えておいてくだ 10 インバウンドテーマの調査 さい(概ね30分)。 11 インバウンドテーマの調査結果のプレゼンテーション 5分ほどで発表をまとめるように準備してください。 宮城蔵王キツネ村の概略について調べてください(概 フィールドワークの事前調査:宮城蔵王キツネ村 12 ね30分) 13 県内観光地フィールドワーク(2) 宮城県のインバウンド 宮城蔵王キツネ村がなぜインバウンド観光の対象と の「聖地」を訪ねる:宮城蔵王キツネ村 なっているのか、調べてください(概ね30分) 14 アウトバウンドとインバウンドのバランス(講義&ディスカッ 日本にふさわしいアウトバウンドとインバインドの姿を考 15 えておいてください(概ね30分) 教科書 特に使用しません。必要な資料を随時配布します。 参考文献 授業中に紹介します。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

この科目は前期と後期でそれぞれで開講する。

科目ナンバリング 2 3 1 5 TB-5-SEM-02 基礎力 実践力 人問関係力 牛涯学習力 地域理解力 学修成果 単位 科目名 観光ゼミナールB 朴 賢淑 試験(レポート) 70 % 認定者 観光ビジネス学科 単位数 1 単位 授業態度 選択 1年 前期 30 % 開講時期 後期 മ 対象学科 必修・選択 配当年次 方 観光ビジネス学科 選択 2年 授業時間数 30 時間 法 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と、課題を発見し解決する能力の育成を目的と する。 授業の概要 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修得した専門 的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身につける。 ①「観光」がまちづくりに果たす役割について理解できる。 到達目標 ②グループワークやフィールドワークをとおして第三者に自分の意見を伝える力を身に付ける。 学修者への まちづくり活動における「共同学習の意味」を受け身としての学習ではなく、参加する立場からの学習として考察 期待等 することにより、 自らの学習を主体的に決めていく習慣を習得することを期待する。 準備学修 授業計画 回 ガイダンス:「観光」による地域活性化とは? 1 観光関連の記事に目をとおしておいてください。 観光まちづくりとは? (1時間程度) 内発的観光まちづくりの仕掛けづくり一人材育成の視点 復習として振り返りノートを作成してください。 3 (1時間程度) 復習として振り返りノートを作成してください。 中山間地域における観光まちづくり 4 (1時間程度) <u>ヘルスツーリズムについて調べておいてください。</u> 5 ヘルスツーリズムによる地方創生 (1時間程度) 東北の中山間地域における観光資源について調べて コロナ禍における地域の『観光』 おいてください。自治体のホームページなどを参照。 6 (ゲストスピーカーによる講話) (1時間程度) 復習として振り返りノートを作成してください。 7 東北における「観光まちづくり」への取り組み (1時間程度) 蔵王町について調べておいてください。 グループワーク:蔵王町について 8 (30分程度) フィールドワーク①「観光政策」の視点から ※蔵王町 9 フィールドワーク②「観光資源」の視点から 10 ※蔵王町 女川町について調べておいてください。 グループワーク:女川町について 11 (30分程度) フィールドワーク①「観光政策」の視点から ※女川町 12 フィールドワーク② 「観光資源」の視点から ※女川町 13 PPT資料を準備しておいてください。(1時間程度) 観光まちづくりのための提言 (報告会) 14 復習として振り返りノートを作成してください。 観光まちづくりのための「人財」づくりの可能性 15 (30分程度) 教科書 使用しない。 『観光まちづくり」再考-内発的観光の展開へ向けて一』安福恵美子,古金書院,2016。 参考文献 ・受講者数受講者の理解度などによりフィールドワーク先および授業の順序を変更する場合がある。 備考 ・インタビュー調査を行う予定なので、個人情報に触れる際には倫理的配慮に心掛けなければならない。 ・この科目は前期と後期でそれぞれ開講する

-47-

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 2 3 4 5 1 人間関係力 基礎力 実践力 生涯学習力 地域理解力 TB-5-SEM-03 学修成果 単位 科目名 観光ゼミナールC 吉野 千乃 試験(レポート) 50 % 認定者 観光ビジネス学科 選択 1年 単位数 1 単位 授業内課題等 30 % 前期 価 開護時期 後期 മ 対象学科 方 観光ビジネス学科 選択 2年 授業時間数 30 時間 受講熊度 % 必修·選択 20 法 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と、課題を発見し解決する能力の育成を目的と する。 授業の概要 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修得した専門 的知識をさらに深化させ,将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身につける。 1. 私たちに身近な観光地(Local Attractions)や文化を調査し,その魅力を世界の人たちに英語で発信できるよう になる。 到達目標 2. 観光地や市街地での外国語使用実態について調査し、その現状や改善すべき点についての考えを明確に伝 えられるようになる。 広い意味での日本文化や,異文化理解に関心を持つ者,英語を用いて情報収集と発信を行うことに意欲のある 学修者への 期待等 者の履修を期待する。グループワークには各自が責任感を持ち,積極的な姿勢で臨んでほしい。 回 授業計画 準備学修 自己紹介で話す内容として,自分が関心を持つ日本 ガイダンス:自己紹介,演習の進め方,「文化」につ 1 いて 文化について考えて来てください(40分程度)。 事前に配布する英語文献を通読しておいてくださ 2 Cool Japan:新たな日本文化の魅力について い(1時間程度)。 指定したテーマについて,日本語と英語で調べた内 Local Attractions(1):身近な伝統文化鑑賞に向け 3 ての準備 容をまとめておいてください(50分程度)。 4 私たちの身近なところにある伝統文化を体験しま フィールドワーク①:身近な伝統文化の鑑賞 (状況によってはオンラインに変更して実 施) 5 体験した内容を分かりやすくまとめるにはどうし フィールドワーク①のまとめ 6 たら良いか考えて来てください(30分程度)。 体験した内容が発表できるよう、プレゼンテーショ 7 フィールドワーク①の発表 ンの準備をしてきてください(1時間程度)。 多くの人に紹介したい宮城県内のスポットを考え Local Attractions(2):身近な現代文化調査に向け 8 ての準備 て来てください(30分程度)。 調査場所について,これまでどのような情報が英語 フィールドワーク②の計画 で発信されているかを調べて来てください。(1時 9 間程度) 10 それぞれが紹介したい場所の取材・調査を行う準 備をしておいてください(グループワーク:1時間 フィールドワーク②:宮城県内の新たな魅力を探す 程度) 11 調査した事項をまとめておいてください(1時間程 12 フィールドワーク②のまとめ:原稿作成 度)。 英語表現の参考になるようなSNSアカウント,記事 等をインターネットで調査しておいてください(1 フィールドワーク②のまとめ:英語表現推敲 13 時間程度) 調査した内容を分かりやすくまとめられるよう準 フィールドワーク②:発信方法の検討とその実行 14 備をしてきてください(1時間程度)。

※以下は該当者のみ記載する。

随時紹介する。

15

教科書

参考文献

備考

フィールドワーク②の発表

使用しない。資料を適宜配布する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

この科目は前期と後期でそれぞれ開講する。状況によって, 内容や進度に変更が生じる場合がある。

調査した内容が発表できるよう,プレゼンテーショ

ンの準備をしてきてください(1時間程度)。

	1	2	3	4	5						科目ナンバ		•		
学修成果	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						TB-5-SEM	/ 1−04			
	•	•	•	•	•										
科目名		観力	光ゼミナ	ールD		単位 認定者	佐藤	美輔	<u>\</u>		試験(レポート)	50	%		
	観光ビジ	ネス学科	選択	1年	開講時	期 前期 後期	単位数	1	単位	評価の	授業内課題等	30	%		
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジ	ネス学科	選択	2年			授業時間数	30	時間	方法	受講態度	20	%		
					授業形	腹 演習	授業回数	15	回						
授業の概要	する。 観光現	場でのフ	7ィールド!	ワークをi	通じて,論理	型的に自分		:者に	伝える	能力	する能力の育成を と本学科で修得 身につける。				
到達目標															
学修者への 期待等															
			授:	業計画					Ž	集備 与	学修				
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8					今	年度は開請	ません。								
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
教科書															
参考文献															
備考															

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 2 3 4 5 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-5-SEM-05 基礎力 学修成果 単位 試験(レポー 観光ゼミナールE % 科目名 林 春伽 50 認定者 卜) 観光ビジネス学科 選択 単位数 1 単位 授業内課題等 % 1 年 30 前期 価 開識時期 後期 മ 対象学科 方 必修·選択 授業時間数 % 観光ビジネス学科 選択 2年 30 時間 受講態度 20 法 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と,課題を発見し解決する能力の育成 を目的とする。 授業の概要 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修得 した専門的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身につ 身近な観光地を実際に訪れ、実際に行き、具体的に観光の様子や情報を収集できるようになる。さら 到達日標 に,協調性やグループワークの力を身につけるとともに,発表を通じて情報伝達の能力を修得する。 学修者への 集団で課題に取り組み、積極的に自身の意見を発言する姿を期待する。フィールドワーク結果の発表 の際には聞き手に分かりやすく情報を伝える力を身につけてほしい。 期待等 授業計画 準備学修 1 ガイダンス(授業の流れや進め方について) 1人10分以内の自己紹介文を作成してきてくださ 自己紹介とゼミ長, 副ゼミ長の選出 2 い。(30分程度) 秋保成立の歴史について各自調べてきてください。 秋保成立の歴史 3 (30分程度) 秋保とその付近の文化遺産について各自調べてきて 4 秋保の文化遺産について ください。(30分程度) 秋保の温泉や旅館について各自調べてきてくださ 5 温泉地秋保の魅力について い。(30分程度) 秋保の観光スポットを各自調べてきてください。 6 秋保の観光スポットについて (30分程度) 効果的なフィールドワークを行うため着目する点な 7 フィールドワークの準備 どを考えてきてください。(40分程度) 8 フィールドワーク 9 フィールドワーク調査の振り返りと報告書作成の準 前回までの授業内容を復習してきてください。 (30 10 備 分程度) 前回までの授業内容を復習してきてください。 報告書と発表資料作成 11 分程度) 前回までの授業で作成した報告書を完成させてきて 12 報告書作成と発表準備 ください。 (30分程度) 分かりやすく発表するように各自スライドを作成し 13 報告書の発表、質疑応答、相互評価(1)全体発表 てきてください。(1時間程度) 報告書の発表,質疑応答,相互評価(2)発表改善 発表内容を振り返り改善案を考えてきてください。 14 ディスカッション (1時間程度) 15 全体の振り返り 教科書 特になし。必要に応じて適宜紹介する。

※以下は該当者のみ記載する。

参考文献

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

特になし。必要に応じて適宜紹介する。

新型コロナウイルス感染症拡大により予定変更が余儀なくされる場合がありますが臨機応変に対応してください。

この科目は前期と後期でそれぞれ開講します。状況によって,内容や進度に変更が生じる場合があります。

観光ビジネス学科 2年生 (2021 年度入学生)

- 年間予定表
- シラバス

2022年度 観光ビジネス学科 年間予定表

前期

		日		月		火		水		木		金		±
											1		2	
	3		4		5		6	入学式	7	オリエンテーション	8		9	
4 月	10		11	1	12	健康診断	13	健康診断	14	1	15	1	16	
	17		18	2	19	1	20	1	21	2	22	2	23	
	24		25	3	26	2	27	2	28	3	29	昭和の日	30	
	1		2	4	3	憲法記念日	4	みどりの日	5	こどもの日	6	3	7	
	8		9	5	10	3	11	3	12	4	13	4	14	
5 月	15		16	6	17	4	18	4	19	5	20	5	21	
	22		23	7	24	5	25	5	26	6	27	6	28	
	29		30	8	31	6	1	6	2	7	3	7	4	
	5		6	9	7	7	8	7	9	8	10	8	11	
6 月	12		13	10	14	8	15	8	16	9	17	9	18	
月	19		20	11)	21	9	22	9	23	10	24	10	25	
	26		27	12	28	10	29	10	30	11)	1	11)	2	
	3		4	13)	5	11)	6	11)	7	12	8	12	9	
7	10		11	14)	12	12	13	12	14	13)	15	13	16	
月	17		18	海の日	19	13)	20	13)	21	14)	22	14)	23	
	24		25	15)	26	14)	27	14)	28	15)	29	15)	30	
	31		1	予備日	2	15)	3	15)	4	定期試験	5	定期試験	6	
	7		8	定期試験	9	定期試験	10	追試験	11	山の日	12		13	
8 月	14		15		16		17		18		19	不合格発表	20	
	21		22		23		24		25		26		27	
	28		29		30		31		1		2		3	
	4		5		6		7		8		9		10	
9 月	11		12		13		14		15		16		17	
	18		19	敬老の日	20		21		22	後期オリエン テーション	23	秋分の日	24	

[※]振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

[※]追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

[※]再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2022年度 観光ビジネス学科 年間予定表

後期

	日		月		火		水		木		金		±
	25	26	1	27	1	28	1	29	1	30	1	1	
	2	3	2	4	2	5	2	6	2	7	2	8	
10 月	9	10	スポーツの日	11	3	12	3	13	3	14	3	15	
月	16	17	3	18	4	19	4	20	4	21	4	22	
	23	24	4	25	⑤	26	⑤	27	(5)	28	予備日	29	せいよう祭
	30	31	⑤	1	6	2	6	3	文化の日	4	⑤	5	
	6	7	6	8	7	9	7	10	6	11	6	12	
11 月	13	14	7	15	8	16	8	17	7	18	7	19	
月	20	21	8	22	9	23	勤労感謝の日	24	8	25	8	26	
	27	28	9	29	10	30	9	1	9	2	9	3	
	4	5	10	6	11)	7	10	8	10	9	10	10	
12 月	11	12	11)	13	12)	14	11)	15	11)	16	11)	17	
月	18	19	12	20	13)	21	12	22	12)	23	12	24	
	25	26		27		28		29		30		31	
	1	2		3		4		5	13)	6	13)	7	
	8	9	成人の日	10	14)	11	13)	12	14)	13	14)	14	
月	15	16	13)	17	15)	18	14)	19	(15)	20	15)	21	
	22	23	14)	24	予備日	25	15)	26	予備日	27	予備日	28	
	29	30	15)	31	定期試験	1	定期試験	2	定期試験	3	追試験	4	
	5	6		7		8	不合格発 表	9		10		11	建国記念の日
2 月	12	13		14		15		16		17		18	
月	19	20		21		22		23	天皇誕生日	24		25	
	26	27		28		1		2		3		4	
	5	6		7		8		9		10		11	
3 月	12	13		14		15		16		17		18	
月	19	20	卒業式	21	春分の日	22		23		24		25	
	26	27		28		29		30		31			

[※]振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

[※]追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

[※]再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2 3 4 5 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-0-HCU-02 学修成果 単位 榎森 ※詳細は「備考」欄を参照す 科目名 東北学 認定者 黒田 清志 観光ビジネス学科 必修 2年 単位数 単位 2 価 開護時期 前期 മ 対象学科 必修・選択 配当年次 30 時間 方 授業時間数 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 東北における観光ビジネスを学ぶうえで重要となる、東北の歴史・文化・社会・経済について 総合的に理解する (榎森) 東北地方の歴史的性格や、その歴史の上に受け継がれている伝統や年中行事、食や生活習慣、 授業の概要 言葉などを理解し、豊かな文化をもつ東北の歴史と文化について探求することを目的とする。 (黒田) 東北地方の社会・経済について理解し、地域社会を活性化するための企画の手法などについて (榎森) 東北地方の歴史と文化に関する知識を得, 当該問題について他人に説明出来るようになる。 到達目標 (黒田) ①東北の地域資源を知る。 ②地域資源を活かす方法を学ぶ。 (榎森) 事前に各回のテーマに関する参考文献を教室で指示しますので, 学修者への 各回ともその参考文献に目を通して受講して下さい。 期待等 (黒田) 自ら地域資源を調べ、それを活かす企画の方法・技術を身につける。 授業計画 担当 準備学修 東北地方の歴史や文化の諸相を多様な視点から考える 榎森 進 1 ことの大切さーグローバリズムとレジオナリズム エミシ・エゾ・アイヌー中央政権側の奥羽民衆に対す 2 榎森 進 る認識の変遷とその歴史的背景-奥州藤原氏3代の歴史的位置 榎森 淮 3 第2回目の講義との関わりで児島恭子 著『エミシ・エゾからアイヌへ (歴史 文化ライブラリー)』 (吉川弘文館) 4 17世紀には下北半島が盛岡藩の北の玄関だった 榎森 進 に目を通しておいて下さい。 (概ね1 淮 榎森 5 松前藩の経済を支えた出羽村山地方の年貢米 時間程度) その後も次回のテーマに関する参考文 奥羽大名の幕府への献上品から見た近世奥羽の特産物 献を提示しますので、各回とも参考文 榎森 進 6 献に目を通して受講すること(1時間 程度)。 幕末における奥羽諸藩の蝦夷地警備と経営 榎森 進 7 8 日本の食文化における東北地方の食文化の位置 榎森 進 9 戊辰戦争と奥羽の世界 榎森 進 英国婦人イサベラ・バードが見た明治初期の東北 榎森 進 10 ---提示した参考文献等をを読んでおく 東北学の概要 黒田 清志 11 東北を知る 同上 清志 12 黒田 地域のマーケティング 同上 黒田 清志 13 同上 地域活性化の方策 企画力 黒田 清志 14 地域活性化のキーワード 同上 黒田 清志 15 (榎森) 特に無し 教科書 (黒田) テキスト等は授業の都度配付 (榎森) 東北学院大学歴史学科編『大学で学ぶ東北の歴史』(吉川弘文館, 定価1, 900円+税。) 参考文献 (黒田) 参考文献等は授業の都度,提示します。 「評価の方法」について (榎森) 試験 (レポート) 80% 受講態度 20% 備考

※以下は該当者のみ記載する。

(黒田) 試験 (レポート)

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

フィードバックは毎回「履修レポート」に基づいて行う。

(里田清志)

H6年からH23年まで仙台市経済局,および仙台市観光コンベンション協会で,また,中小企業診断士として,地域の中小 企業、商店街、農業、観光の支援事業を担当。その後、山形県など各地の研修会等のセミナー講師、アドバイザーを務 める

70% 受講態度 30%

広範囲の業種の事業者の経営支援や東北の地域活性化事業に関わってきた経験から,特に経済や文化的側面について, 分かりやすく具体的な授業を行う。

2 3 科目ナンバリング 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-0-HCU-04 学修成果 単位 ※詳細は備考欄を参照 徳田 科目名 歴史と文化 認定者 丸藤 准_ すること 観光ビジネス学科 2年 2 単位 必修 単位数 価 開講時期 後期 ၈ 対象学科 方 必修 選択 授業時間数 30 時間 法 配当年次 授業形態 議義 授業回数 15 回 こんにちの世界を理解するためには、歴史、宗教、思想などの多様な側面の知識が必要となる。特に、 近現代を中心とした歴史や世界の諸宗教の理解は重要である。これらの基礎的知識を身に付け、また、世 授業の概要 界に大きな影響を与えた思想や書物などにも触れ、こんにちの世界に対する自己の見識を持てるようにな ることを目的とする。 (丸藤) 近現代世界の形成上、重要な歴史事象について、社会・経済・文化の観点から各回主題を設けて 講義する。主題に関する諸問題を学ぶことにより、近現代世界が成立する要因について理解を深め,歴史 到達目標 に対する関心と知識を身に付けることを目標とする。 (徳田) 人間のみが持ち得る、歴史や文化、宗教を学ぶことによって、社会人、そして家庭人としても有 用な、より深くて、豊かな人間の理解を身に付けることを目標とする。 授業を理解するために、毎回必ず出席してください。歴史的事象を理解するのみならず、その事象が現代 学修者への の世界にどのような影響を与えているかを考えるよう心がけてください。 期待等 授業計画 回 準備学修 担当 ユダヤ教について 授業時に配布するチェックテストの復習を 徳田 幸雄 1 宿題とする。(所要時間15~20分) - 律法の遵守-キリスト教について 授業時に配布するチェックテストの復習を 2 幸雄 徳田 宿題とする。 (所要時間15~20分) -罪からの救い-イスラームについて 授業時に配布するチェックテストの復習を 3 徳田 幸雄 宿題とする。(所要時間15~20分) -神への服従ー インドの宗教について 授業時に配布するチェックテストの復習を 4 幸雄 徳田 宿題とする。(所要時間15~20分) - 業と輪廻-仏教について 授業時に配布するチェックテストの復習を 5 徳田 幸雄 宿題とする。(所要時間15~20分) - 苦からの解脱ー グローバルエコノミーのはじまり レジュメを読み、今回の授業内容を理解し 6 丸藤 准二 -西欧の拡大により一体化する世界-て、復習をすること。(約1時間) 科学革命 レジュメを読み、今回の授業内容を理解し 7 准二 丸藤 て、復習をすること。(約1時間) -ルネサンス文化と科学の発展-啓蒙思想の広まり レジュメを読み、今回の授業内容を理解し 准二 8 丸藤 て、復習をすること。(約1時間) -新しい「知」の広まりと近代社会-産業革命 レジュメを読み、今回の授業内容を理解し 准二 9 丸藤 て、復習をすること。(約1時間) -人類史の「分水嶺」:工業化社会の成立-経済社会の成立 レジュメを読み、今回の授業内容を理解し 准二 10 丸藤 て、復習をすること。(約1時間) -ビジネスと企業経営の発展-レジュメを読み、今回の授業内容を理解して、復習をすること。(約1時間) 経済社会の発展 准二 丸藤 11 -工業化社会の発展と大衆消費社会-レジュメを読み、今回の授業内容を理解して、復習をすること。(約1時間) 12 医療の発展と近代社会 准二 丸藤 レジュメを読み、今回の授業内容を理解して、復習をすること。(約1時間) 教育の普及と近代社会 准二 13 丸藤 レジュメを読み、今回の授業内容を理解し 14 現代世界の成立 丸藤 准二 て、復習をすること。 (約1時間) グローバルヒストリー レジュメを読み、今回の授業内容を理解して、復習をすること。(約1時間) 准二 丸藤 15 ・「新しい歴史学」と現代世界― 教科書 教科書は使用せず,授業において適宜資料を配布します。 参考文献 授業において指示します。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

(評価方法)

(丸藤)

(徳田)

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

定期試験70% 授業態度30%

授業内課題(全5回)100%

	1	2	3	4	5						科目ナンバ	
学修成果	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						CO-0-HS	SO-04
	•			•		394 £L						
科目名			法律入	門		単位 認定者	山口	元気	•		講義内課題	100 %
	観光ビジ	ジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2	単位	評価の		
対象学科 必修·選択							授業時間数	30	時間	の方法		
配当年次					授業形態	講義	授業回数	15	回	/Д		
											l 社会生活・大学	
授業の概要	係の深いにつけて		問題を取	り上げて	、 問題点,	解決方法	法,回避方法	まなと	:,具位	本的7	な事例を通じて	理解し身
到達目標					よる法律の そするための			理解	¥し, i	説明~	できる。身近な	法律問題
学修者への							復習を中心に 問題は、重点				さい。 こと。その際,	結論だけ
期待等					しておくこ。 は、積極的に		ること。					
0				業計画					2	集備 等	学修	
1	法律の利	重類と法	律を学ぶ	意味								
2	憲法,目	民法,刑	法のそれ	ぞれ特徴	ぬと違い		(概ね30分)			ハについて考えて	
3		1)総論					ること。また	⊱,	「公共の	り福祉	の違いについ Ł」とはどのよ ごおくこと。(オ	うな状態を
4		2) 基本 的自由,		人権一								
5	憲法(:	3) 統治	幾構					る憲法	上の眼	寺事門	をについてなど, 問題について,)分)	
6	民法(:	1)総則										
7	民法(2	2)物権	担保物	権								
8	民法(:	3)債権	(保証,	契約)				と。ま	た, 「	契約	証人」の責任の違 にはどのような 時間)	
9	民法(4	4)債権	(債務不	履行,不	「法行為)							
10	民法(5)親族	相続				【事前】家族と。 (概ね)			を図り	こ書いて授業に	寺参するこ
11	消費者勢	契約法,	割賦販売	法								
12	特定商耳	取引法 (特定商取	引に関す	る法律)							
13	インター	ーネット	に関する	法律								
14	道路交通	通法										
15	まとめ	(総復習	小テス	ト)								
教科書	特に指定	ー <u>ーー</u> 定しない。	・必要に	ーー 応じてレ	/ジュメや]	資料を配	ー <u>ー</u> 付する。					
参考文献	(民法)		の招待	第5版」	人門 第 5 版 池田真朗著		E典他著,有 E理協会	要関フ	アルマ			
備考					で実施する。 る場合がある							

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

司法書士として,各種法律相談の相談員を経験。また,民事裁判,不動産登記,商業登記等に関する業務から,身近な具体例や専門用語を分かりやすく解説する。

科目ナンバリング 3 其磁力 宝雞力 人間関係力 生涯学習力 **抽域秤解力** CO-0-HSO-03 学修成果 単位 試験 科日名 現代の社会 吉田 理 60 % 認定者 (レポート) 観光ビジネス学科 必修 単位数 2 単位 授業内課題等 20 % 開講時期 後期 മ 対象学科 方 必修 選択 授業時間数 30 時間 受講熊度 20 % 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 現代の日本が世界の中でどのような立場にあるか、初めに日本及び主な国の文化・思想・宗教ならびに 近代の歴史を学ぶことから理解をする。そのうえで政治・経済の視点を軸にして現代の日本の様々な問題点について 掲載の概要 学修し、現代の社会を生きるために不可欠な基本知識を身につけ、社会生活において適切な選択や判断ができること を目指す。 取り上げるテーマは、いずれも社会人として当然備うるべき常識と考えられる事項である。社会生活自体はもちろん 到達目標 のこと就職活動における面接等でそれらについて問われた際に、概略と自身の考えを述べられるようになることを目 標とする。 「自立した大人」になるための下地を作ってほしいという観点から、各人の専攻に関わらず社会人として当然知って 学修者への 期待等 おくべき事項を取り上げる。一般的な知識を修得し、良き職業人を目指すという意欲をもって受講してほしい。 回 授業計画 準備学條 私たちを取り巻く現代社会について、その特徴を列挙し考察す 「現代の社会」導入(現代世界概観-文化と思想) 1 ること。当日配信する確認テストに備えること。(30分程度) 前回の講義内容(「現代の社会」導入)を復習し、当日配信する 2 現代社会の誕生(特に近現代日本と大衆社会) 確認テストに備えること。(1時間程度) 前回の講義内容(現代社会の誕生)を復習し、当日配信する確認 3 現代社会の特質(特に生命科学と情報技術) テストに備えること。(1時間程度) 前回の講義内容(現代社会の特質)を復習し、当日配信する確認 4 現代社会と人間の本質(特に自己形成) テストに備えること。(1時間程度) 前回の講義内容(現代社会と人間の本質)を復習し、当日配信す 5 日本国憲法の基本的性格(特に社会権・参政権) る確認テストに備えること。(1時間程度) 前回の講義内容(日本国憲法の基本的性格)を復習し、当日配信 6 日本の政治機構と政治参加(特に地方自治と政党政治) する確認テストに備えること。(1時間程度) 現代の経済社会(特に財政と金融) 前回の講義内容(日本の政治機構と政治参加)を復習し、当日配 7 附、レポート作成に当たって(説明) 信する確認テストに備えること。(1時間程度) 少子高齢化と国民の福祉(その原因と対策、社会保障 前回の講義内容(現代の経済社会)を復習し、当日配信する確認 8 テストに備えること。(1時間程度) の概要について) 消費者問題(消費者問題の歴史、消費者を保護するた 前回の講義内容(少子高齢化と国民の福祉)を復習し、当日配信 9 する確認テストに備えること。(1時間程度) めの制度について 労働問題(日本の労働事情や労働関係法規・制度、労 前回の講義内容(消費者問題)を復習し、当日配信する確認テス 10 働格差について) トに備えること。(1時間程度) 附、レポート作成に当たって(再度) 前回の講義内容(労働問題)を復習し、当日配信する確認テスト 11 現代社会の特質・補足(生命科学) に備えること。(1時間程度) 前回の講義内容(生命科学)を復習し、当日配信する確認テスト 12 日本の政治機構と政治参加・補足1(選挙制度と世論) に備えること。(1時間程度) 前回の講義内容(選挙制度と世論)を復習し、当日配信する確認 13 日本の政治機構と政治参加・補足2(裁判と司法権) テストに備えること。(1時間程度) 前回の講義内容(裁判と司法権)を復習し、当日配信する確認ラ 14 現代の経済社会・補足(日本の財政課題) ストに備えること。(1時間程度) 日本の社会保障制度と環境問題 前回の講義内容(日本の財政課題)を復習し、当日配信する確認 15 附、レポート作成に当たって(最終) テストに備えること。(1時間程度) 教科書 「2022小論文頻出テーマ解説集 現代を知るplus」第一学習社 「別冊NHK 100分de名著 読書の学校 特別授業 君たちはどう生きるか」池上彰著 (NHK出版(2017)) 参考文献 各項目について報道している日刊新聞(購読していない場合は各社のweb版でも可。ただし不特定者によるまとめ記事 はむしろ不可) 講義は全て遠隔(オンデマンド)で実施するが、板書を中心に進めるのでノートを準備すること 成績の主は試験の代わりとして課されるレポート作成であり、単位認定の必須事項となる(未提出は認定しない)。 確認テストのうち任意の回は授業内課題として成績に加える。(課題の解説は次回講義の際に講義内で行なう)。 受講態度は、確認テスト解答送信で判断する。

※以下は該当者のみ記載する。

2 3 4 科目ナンバリング 1 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解ナ TB-3-ECO-10 学修成果 単位 科目名 朴 賢淑 試験 (レポート) 国際観光論 70 % 認定者 観光ビジネス学科 必修 9年 2 単位 受講態度 % 単位数 30 価 開講時期 前期 മ 対象学科 必修 選択 方 授業時間数 30 時間 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 近代における観光活動の成立時からすでに国際的な規模を持っていた観光活動は、現代においては 規模がさらに拡大し,諸国民間の相互理解と交流を促進するようになった。その一方で,マス・ツー リズムとボーダーレス化の進展にともなって、地球規模で様々な問題を引き起こしている。本科目で 授業の概要 このように国境を越える観光活動によって引き起こされる政治的,経済的,社会的,文化的,地 域的,環境的など種々の影響・効果について理解を深め,国際観光のあり方について考える。 ①日本における国際観光の現状を理解するとともに、国際観光をめぐる諸問題を学際的な視点から説。 明できること。 到達目標 ②日本におけるインバウンド観光政策として、地域間格差を解消するためには、どのような視点が重 要か、提言ができること。 学修者への 観光の国際化が経済的、社会的、地域的にどのような影響を与えているのかを、新聞やテレビなどで 期待等 チェックしていてほしい。 授業計画 準備学修 コロナ禍のなかでの観光パターンがどのように変化したの 1 ガイダンス:コロナ禍の観光 かを調べておいてください。 観光の近代と現代ー観光というイデオロギーの生成と変 観光をめぐる社会的課題について調べてください。 2 (30分程度) 日本の観光政策がどのように変化したのか調べてくださ 日本の観光政策の現段階 3 い。(1時間程度) 日本人が好む海外の観光地を調べてください。 4 日本人の海外旅行パタ-ンの変容 (1時間程度) ツーリズムとは何か定義・概念について調べてください。 日本の国際観光の現状① ツーリズムを取り巻く環境 5 (30分程度) ツーリズムに関連する新聞記事やニュースを調べてくだ 日本の国際観光の現状② ツーリズムのイノベーション 6 さい。(30分程度) 学外研修 7 研修先について調べておいてください。(1時間程度) 8 学外研修 国際観光とビジネス① バルセロナ―都市計画を通した スペインの観光資源について調べてください。 9 (1時間程度) 観光活動適正化の試み ドイツの観光政策について調べてください。 国際観光とビジネス② ベルリン-DMOを軸に観光の質 10 を追求する (1時間程度) 国際観光とビジネス③ アムステルダム―住民生活の優 オランダの観光政策について調べてください。 11 先を明確化した網羅的な政策対応 (1時間程度) 国際観光とビジネス④ 東アジア国・地域の観光政策について調べてください。 12 東アジア国・地域:中国、韓国、台湾、香港 (1時間程度) _____ コンテンツツーリズムについて調べておいておください。 国際観光と『コンテンツツーリズム』 ※特別講義 13 (30分程度) 日本のインバウンド誘致が地域にもたらす影響について インバウンド誘致と地域振興 14 考えてください。(30分程度) コロナ禍の国際観光の在り方について考えておいてくだ

する。 ※以下は該当者のみ記載する。

今後の国際観光の展望

必要に応じて適宜紹介する。

・講義で随時配る資料はファイルしておくこと。

15

教科書

猫女务参

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。

・本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。

・受講者の理解を促すために,講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡

・早稲田インバウンド・ビジネス戦略研究会『インバウンドビジネス戦略』2019。

さい。(30分程度)

2 3 4 5 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-11 学修成果 単位 科目名 観光史と観光文化 成澤 広幸 試験 (レポート) 50 % 認定者 観光ビジネス学科 必修 単位数 2 単位 授業内課題 30 % 俪 開講時期 後期 対象学科 **ത** 30 時間 方 必修·選択 授業時間数 受講態度 20 % 配当年次 法 拇掌形能 講義 15 同 授業回数 本科目は、観光理解の基礎的部分である観光活動についての史的理解を深める。具体的には、日欧の 観光活動の歴史,及びそれらが生み出した観光文化について概観する。まず,近代観光発祥の地である 欧州地域で観光活動がいかに誕生・進展し、それがいかなる観光文化を生み出してきたかをグランド・ ツアーを起点に概説する。次いでわが国については、観光活動が本格的に成立した江戸時代を中心に概 授業の概要 説し,温泉・寺社参詣・物見遊山など,独特な観光文化について理解を深める。 現代のマス・ツーリズムにおいてポピュラーな観光形態として存在している海水浴,温泉,避暑,避 寒、登山、ウィンタースポーツ、文化観光、都市観光、田園観光などの起源と発展について、それらの 到達目標 誕生当時の社会状況を含めて自分の言葉で説明ができるようになる。 観光の誕生と発展には現代からは想像もできない事情が潜んでいます。いかに当時の状況を想像でき 学修者への るかによって、観光史と観光文化の理解は劇的に深まります。まずは想像力をたくましくして、観光の 期待等 様々な形態の誕生と発展につきあってください。 回 授業計画 準備学修 観光の定義, 観光史・観光文化についてのガイダンス 観光史とはどのようなジャンルなのか、および中世ヨー 近代観光誕生への助走(1):15世紀末の特殊性,ガイド 1 ロッパの巡礼について調べておいてください: 概ね40分 ブックの誕生 近代観光誕生への助走(2):古代ローマの優位, 風景と ルネサンスから古典主義時代にかけての政治思潮につ 2 旅の危険, 17世紀の宮廷の理想 いて調べておいてください:概ね30分 階級戦略から始まる近代観光(1):イギリス社会と観光の 17世紀のイギリス社会の階級対立について調べておい 3 創造 てください:概ね30分 階級戦略から始まる近代観光(2):グランドツアー 4 18世紀のランティエ観光:温泉療養,海水浴治療,気候 18世紀のランティエ観光の概略について調べておいて 5 療法, 山岳とスイスの発見, 田園滞在 ください:概ね20分 19世紀のランティエ観光:移動手段,ガイドブック,リゾー 19世紀のランティエ観光の概略について調べておいて 6 トの進化 ください:概ね20分 7 観光文化体験:文化観光 8 シーズンとリゾートの確立について調べておいてくださ 9 19世紀から20世紀へ(1):シーズンとリゾートの確立 い:概ね21分 19世紀から20世紀にかけてのランティエ観光における 10 19世紀から20世紀へ(2):ランティエ観光の進化 宿泊と移動について調べておいてください:概ね20分 トマス・クックの業績について調べておいてください:概 11 トマス・クック(1):マス・ツーリズムの萌芽 ね30分 トマス・クック(2):旅行の事業化 トマス・クック社の沿革について調べておいてください: 12 マス・ツーリズムの台頭(1):大戦間の変化、余暇の政治 概ね30分 利用と社会運動, マス・ツーリズムの台頭(2):青少年のバカンスからソー 20世紀前半のマス・ツーリスムの萌芽について調べてお シャル・ツーリズム〜 13 いてください:概ね30分 夏の地中海:観光モデルの交代 江戸時代中期からの日本の旅文化の概略について調 14 日本の観光史と観光文化(1):総合的な旅文化 べてください:概ね30分 信仰と温泉が観光と結びついた理由について調べてく 15 日本の観光史と観光文化(2):信仰と温泉、景勝と文化 ださい:概ね20分 教科書 特になし マルク・ボワイエ『観光のラビリンス』法政大学出版局。その他は授業中に適宜紹介します。 参考文献 原則として授業前にLMSに授業ファイルをアップロードするので, 事前学修及び復習をしてください。LMSなどで 備考

※以下は該当者のみ記載する。

課題の提出を行う予定です。

 全修成果
 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

 ●
 ●
 ●
 ●

学修成果	•	•										
科目名	観光	:ビジネン	マ英会話		単位 認定者	吉野	千刀	у		試験(筆記)	60	%
対象学科	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	期 前期	単位数	2	単位	評価の方	授業内課題等		%
必修•選択 配当年次				授業形態	以 演習	授業時間数 授業回数		時間回	法	受講態度	20	%
授業の概要	経済のグローバる。本科目では, できるようにするとで, 英語で会言す。	基本的だる。また, 舌するこ。	な観光ビ 観光ビ とへの抵	ジネスの5 ジネス上 <u>5</u> 抗感をな。	湯における 重要な英語 くす。楽し	英語表現を学 表現を反復 みながら活っ	学修し し,	⁄, 実際 靠義に加 見光ビシ	その観 ロネロ ジネス	光ビジネスシー ールプレイング 英語表現の修得	ンで? を行 を目:	活用 うこ 指
到達目標	を通じて適切に位	更うこと7	ができる	ようになる	る。					を学修し,ロー/		
学修者への 期待等	これまでに学(ルプレイ活動に和	責極的に	取り組む					は1人	1人か			
	松光 よ ノ ピン・コ		業計画					ž	集備 自	学修		
1	授業ガイダンス/ テキスト p.9			力伝								ļ
2	Unit 1 Recomm Dialogueの理解と			-ク)		【事前】音月 【事後】語彙				発音を確認する((約50分)。	約40分	٠)。
3	Unit 2 Taking : Dialogueの理解と			-ク)		【事前】音詞 【事後】語彙				発音を確認する(の(約50分)。	約40分	۰) 。
4	Unit 3 Escortin Dialogueの理解と		引(ペアワー	-ク)		【事前】音声 【事後】語彙				発音を確認する((約50分)。	約40分	۰) 。
5	Unit 4 Welcomi Dialogueの理解と	会話練習	引(ペアワー	-ク)		【事前】音声 【事後】語彙				発音を確認する((約50分)。	約40分	۰) 。
6	Unit 5 Taking a Dialogueの理解と	会話練習	引(ペアワー			【事前】音詞 【事後】語彙				発音を確認する((約50分)。	約40分	۰)。
7	Unit 6 Giving fl Dialogueの理解と	会話練習	引(ペアワー			【事前】音頁 【事後】語彙				発音を確認する((約50分)。	約40分	۰) 。
8	Unit 7 Helping Dialogueの理解と	会話練習	【ペアワー	-ク)		【事後】語彙	東や表	現を復習	習する	30,0		
9	Unit 8 Working Dialogueの理解と	会話練習	引(ペアワー	-ク)		【事後】語彙	東や表	現を復習	習する			
10	Unit 9 Offering Dialogueの理解と	会話練習	引(ペアワー			【事後】語彙	東や表	現を復習	習する			
11	Unit 10 Giving Dialogueの理解と	会話練習	引(ペアワー			【事後】語刻	東や表	現を復習	習する			
12	Unit 11 Taking Dialogueの理解と	会話練習	引(ペアワー			【事後】語彙	東や表	現を復習	習する			
13	Unit 12 Welcon Dialogueの理解と	会話練習		-ク)		【事後】語剪	東や表	現を復習	習する			
14	Unit 13 Helping Dialogueの理解と	会話練習				【事後】語彙	まやす	現を復習	習する			
15	Unit 14 Dealing Dialogueの理解と					【事前】音月				発音を確認する((約50分)。	約40分	,)。
教科書	Reiko Fujita (20			Tourism	Professio	nals. Natio	nal (Geogla	phic	Learning.		
参考文献	随時LMSを通じ			z 亦 声 ^^ /	上ドマロヘ	1) ナ フ						
備考	履修者の状況に。 なお、当科目は2	クラス編	せて順番 成で実施	に変更が多	±しる場合	かめる。						

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 1 2 3 4 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-01 学修成果 単位認 科目名 旅行ビジネス実務 林 春伽 試験 (筆記) 50 % 定者 観光ビジネス学科 2 単位 選択 2年 単位数 授業内課題 40 % 価 開講時期 前期 മ 対象学科 方 必修・選択 授業時間数 30 時間 受講態度 10 % 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 旅行ビジネス全般についての理解を深めるとともに、商品ごとの仕組みや商品流通について学ぶ。 旅行業界の歴史や業界をとりまく環境の変化・諸課題、旅行会社の業務内容全般、旅行業をとりま 授業の概要 く観光関連産業や多様な職種について学習する。また,旅行商品のプランニングの手法を理解する。 出入国法令、海外旅行実務、国際航空運賃の各項目の知識を習得することで、総合旅行に関する理 到達目標 解を深めることができるようになる。 遅刻・欠席等が極力生じないように注意すること。また、毎回の小テスト、復習テストをもとに、 学修者への 期待等 自身の学修状況を把握し、適宜復習すること。 授業計画 準備学修 1 ガイダンス (授業の進め方, 評価など) <u> 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ</u> 2 出入国法令①旅券法 と:概ね30分 <u> 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ</u> 出入国法令②外国人の出入国管理 3 と:概ね30分 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 4 出入国法令③日本の出入国手続き と:概ね30分 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 出入国法令④免税範囲と計算 5 と:概ね30分 出入国法令①から④を復習しておくこと:概ね1 6 出入国法令まとめ 海外旅行実務①2レターコード・3レターコード,ホ 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 7 テル・鉄道・クルーズ船の知識 と:概ね30分 海外旅行実務②海外保険,シュンゲン協定,査証手 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 8 続きの知識 と:概ね30分 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 9 海外旅行実務③時差計算, 所要時間の計算 と:概ね30分 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 海外旅行実務④空港の知識・航空時刻表 10 と:概ね30分 海外旅行実務①から④を復習しておくこと: 概ね 海外旅行実務まとめ 11 1時間 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 12 国際航空運賃①タリフの読み方、計算ルール と:概ね30分 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 国際航空運賃②往復旅行等の運賃計算 13 と:概ね30分 教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこ 国際航空運賃③運賃計算応用編 14 と:概ね30分 国際航空運賃①から③を復習しておくこと:概ね 15 国際航空運賃まとめ 1時間 『旅行業実務シリーズ⑤海外旅行実務 出入国法令と実務、旅行実務』 JTB総合研究所 教科書 『旅行業実務シリーズ⑥海外旅行実務 国際航空運賃、旅行業英語』 JTB総合研究所 参考文献 必要に応じて講義中に適宜指示する。

※以下は該当者のみ記載する。

として小テストを実施します。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

授業中はノートを積極的にとりつつ,自分のオリジナルノートを作成するつもりで臨んでください。 受講者の理解度により,講義順序や重点の置き方を変更することがあります。また,毎回授業内課題

 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

 ●
 ●
 ●
 ●

学修成果	基锭刀	夫战刀	八川太川八	生涯子百刀	地头生肝刀							10 (5-500	07	
		•			•										
科目名		1	ホテル経	圣 営			単位 認定者	林	春伽			試験 (レポー	ト)	50	%
·나은 쓰다	観光ビジ	ネス学科	選択	2年	開講時	期	前期	単位数	2	単位	評価の	授業内課	題	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次								授業時間数	30	時間	方法	受講態度		20	%
癿当牛次					授業形	態	講義	授業回数	15	□					
授業の概要	された目	民泊など	多様化す	る宿泊	業界にお	さいて	て,ホテ	,増加傾向の ルを中心と 動から見る	する	宿泊業	の経	営の実際	こつい	てい	
到達目標	れぞれの		培われた	最適な				,和風と洋りで現代におり							
学修者への 期待等								環境にあり, 奥深さを体り						た鶴	儿光
0			授業計画					準備	#学習				ŧ	旦当	
1	ガイダン	ノス/最終	終発表に~	ついての	アナウ			について教 調べておく					林	春仂	П
2	質問票~	づくり						関する質問 ね1時間	をあ	らかじ	め考	きえてお	林	春仂	П
3		党1 泉 テルにお						パークホテ			゙゙ネッ	・ト等で	泉ロイヤ	春伽 ルパー スタッ	ークホ
4	についっ		., •	, .	, h, h	請~	べておく	こと:概ね	30分	•			泉ロイヤ	春伽 ルパー スタッ	ークホ
5	旅行会社て	土が求め	るホテル	・旅館(こつい		庁会社と こと:概	宿泊施設の Eね30分	関係	につい	て調	引べてお	林旅行会	春仇 社ス フ	
6		究 2 ア 9 が与え						こついてネッ	ト等	で調べ	べてお	さくこ	アキウ		タッ
7	かて	リが子ん	0 W / W	/ 、 、 、 	音(こう	と	: 概ね30)分					林 アキウ	春仇 '舎ス	
8		第3 小						いてネット	等で	調べて	゙゚おく	こと:	林 好風導	春仂	
9	泉): [日本三景	のホテル	√経営に、	ついて	概才	ね30分						林 好風導	春仇 エスタ	
10	国の観分	光政策と	宿泊業の	現状に	ついて			おける宿泊 ること:概			, 観	光白書な	東北道光	部長	司観
11		年4 流			月(青			ついてネッ	ト等	で調べ	べてお	3くこ	林 観山聴	春伽	
12	根温泉)	: ホテ	ル経営に	こついて		と	: 概ね30)分					林観山聴	春伽 月スタ	
13		究 5 緑 バ与える						いてネット	等で	調べて	おく	こと:	緑水亭		ッフ
14	て					概才	ね30分						林 緑水弓	春仇 エスタ	
15	まとめ	: 「ホテ	ル経営」	を振り	返って	各担	受業の内	容を復習し	てお	くこと	:: 楒	それ30分	林	春仂	П
教科書	特になし														
参考文献	適宜紹介														
備考	本授業は	はオムニ	バス形式	で実施	される。										

※以下は該当者のみ記載する。

 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

**TB-3-ECO-08

		•	•										
科目名		ブライ	ダルビシ	ジネス実	簽	単位 認定者	小野寺	理	恵		試験 (レポート)	50	%
	観光ビジ	ネス学科	選択	2年	開講時其	期 前期	単位数	2	単位	評価	授業内課題	20	%
対象学科 必修·選択 配当年次							授業時間数	30	時間	の方法	受講態度	30	%
祀当十久					授業形態	講義	授業回数	15	口				
授業の概要	本科目で 種、歴史	ごはブライ やブライ	ダルビジ ダルサー	ネスに関 ビスに関	する基礎的する知識を	りな仕組みをま と習得するとと	里解することを もに、ブライダ	目的ル実	とする。 務能力	ブラ の基	イダルビジネス <i>の</i> 礎を身につける。	業態	や業
到達目標							「るニーズも高 ・ディネーター				ブライダルのど <i>の</i> 目指す。)業種	に就
学修者への 期待等	現在のフ	ブライダル	事情を理	解し,人	材の役割や	やスキルについ	っても知識を沒	ぞめて	ほしい。	>			
			授	業計画					绉	基備学	些修		
1	ブライダ	ルコーデ	ィネーター	基礎知	識と過去間	題解説	テキストP8~	P32赛	热読(1)	寺間和	呈度)		
2	(結婚とは	は?)ブラ	イダルビ	ジネス他			テキストP34~	~P47	熟読(1	時間	程度)		
3	(ブライタ	ブルの基础	楚)ブライ:	ダル集客	システム他	1_	テキストP48~	~P68	熟読(1	時間	程度)		
4	(ブライタ	ブルの基礎	楚)ブライ:	ダル準備	、キリスト教	女式他	テキストP69~	~P91	熟読(1	時間	程度)		
5	(コーデ	ィネーター	-業務)新	規業務と	:ブライダル	セールス他	テキストP94~	~P11	0熟読(1時間	引程度)		
6		ィネーター 約業務他		ランニン	グ、新規ア	フターフォ	テキストP111	~P1	21熟読	(1時	間程度)		
7	(打合せ	業務他)成約から	初回打倒	合せまで		テキストP124	,P125	5熟読(3	80分和	程度)		
8	(打合せ	業務他)中間~	最終打合	せ(当日) ह	まで	テキストP126	,127氪	熟読(30	分程	!度)		
9	(コンセフ 他) 空間	プトシート(デザイン、	こ基づい 、衣裳選	たブライタ 定、フラワ	ダルアイテ. ロアイテム	ムの選定 A他	テキストP130	~P1	53熟読	(1時	間程度)		
10		プトシート(、会場・テ			ダルアイテ、 ート他	ムの選定	テキストP154	~P1	87熟読	(1時	間程度)		
11	(ブライタ	ブルの基础	と手配美	美務) ぺー	ーパーアイラ	テム、美容他	テキストP188	~P1	94熟読	(1時	間程度)		
12	(ブライタ	ブルの基础	楚と手配業	美務) 挙式	·披露宴》	寅出手配他	テキストP195	~P2	04熟読	(1時	間程度)		
13		ブルの基礎 ビス業務			「表、テーフ	ブルセッティン	テキストP206	~P2	28熟読	(1時	間程度)		
14	復習(1~	~6回目の	復習)				過去問熟読						
15	復習(7~	~12回目の	の復習)				過去問熟読						
教科書	ブライダ	ルコーデ	ィネーター	ーテキスト	スタンダ・	ード							
参考文献	特になし	,											
備考	・毎回、	テキス	トや配布	プリント	を熟読し	てきてくださ	٧٧°						

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル経験(美容、司会、アテンド、プランナー等)を活かし、具体的事例を交え説明する。

3 4 5 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-12 学修成果 単位 科目名 旅と文学 成澤 広幸 試験 (レポート) 50 % 認定者 単位 % 観光ビジネス学科 强扣 2年 単位数 2 授業内課題 30 開講時期 前期 対象学科 必修·選択 授業時間数 時間 方 % 30 受講態度 20 配当年次 法 授業形態 講義 授業回数 15 回 本科目では旅と文学の接点に位置する紀行文学において、古代からいかに人々が未知の文化・文明・風土 に関心を持ち、ときに時代や社会を批判し、また自らの心情を著者の心情に重ねて旅を追体験してきたかを 学ぶ。また、どの紀行文もそれ自体独立して存在しうるものではなく、社会的、文化的、政治的、経済的、 授業の概要 文学的など様々な状況に重層的にからめとられながら成立してきたという経緯についても理解を深める。 日欧の旅の記録や表現の多様性について、および、旅に関わる文学の発展が観光の発展に及ぼした影響に 到達日標 ついて、時代状況や地域等をふまえて、自分の言葉で説明できるようになる。 旅のもたらす新鮮な驚き、感動は個人にとって人間的な成長に貴重な糧となる。些細なものでもかまわな いから、旅の喜び(そして苦しみ)を感じたことのある人なら、紀行文学からそういう感情を引き出し、共有することができるはずです。他人の旅の感情を共有して追体験し、違う世界を理解することはきっと自分 学修者への 期待等 の人生を豊かにします。そういう体験をしてもらいたいと思います。 準備学修 紀行文学の定義:旅によって生み出された文学とは 図書館、ネットなどで紀行文学について調べておいて 1 ください (1時間) どのようなものかを考える 図書館、ネットなどで紀行文学にはどのようなジャン 2 紀行文学のコーパスを考える ルが含まれるか調べておいてください(1時間) 事前の配布資料で日本の紀行文学史概略(古代から室 3 日本の紀行文学史の概観(1):古代から室町時代 町時代)を読んでおいて下さい(1時間) 事前の配布資料で日本の紀行文学史概略(江戸時代以 4 日本の紀行文学史の概観(2)江戸時代以降 降)を読んでおいて下さい(1時間) 日本の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(古代)を読んで ら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見など 5 おいてください(30分) ついて考える。 (1) : 古代 日本の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(中世)を読んで ら,時代性,著者,読者,移動性,他者の発見など 6 おいてください(30分) こついて考える。(2):中世 日本の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(近世)を読んで ら,時代性,著者,読者,移動性,他者の発見など 7 おいてください(30分) ついて考える。 (3):近世 西欧の紀行文学史の概観(1): 古代からルネサンス 事前の配布資料で西欧の紀行文学史概略(古代からル 8 まで ネサンス)を読んでおいて下さい(1時間) 事前の配布資料で西欧の紀行文学史概略(近代)を読 西欧の紀行文学史の概観(2):17世紀以降 9 んでおいて下さい(1時間) 西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(古代)を読んで ら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見など 10 おいてください (30分) ついて考える。(1):古代 西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(中世)を読んで ら,時代性,著者,読者,移動性,他者の発見など 11 おいてください(30分) (2):中世 について考える。 西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(ルネサンス)を ら, 時代性, 著者, 読者, 移動性, 他者の発見など 12 読んでおいてください (30分) ついて考える。(3):ルネサンス 西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(17世紀・18世 ら,時代性,著者,読者,移動性,他者の発見など について考える。 (4) :17・18世紀 13 紀)を読んでおいてください(30分) 西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みなが 配布されたアンソロジーの該当部分(19世紀から現 ら,時代性,著者,読者,移動性,他者の発見など 14 代)を読んでおいてください(30分) について考える。(5):19・20世紀 15 現代における紀行文学の意義 教科書 特に使用しない。アンソロジーについては授業中に配布予定。 授業中に指示する。 参考文献 |原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので,事前学修及び復習をしてください。LMSなど

※以下は該当者のみ記載する。

で課題の提出を行う予定です。

備考

	1	2	3	4	5					科目ナン		
学修成果	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					TB-3-	ECO-1:	3
		•			•						ı	
科目名		テーヤ	マパーク	ビジネス		単位認 定者	林	春伽		試験(レポート)	40) %
11 de 186 es.	観光ビジ	ネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の	授業内課題等	30) %
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30 時間		受講態度	30) %
					授業形態	講義	授業回数	15 回				
授業の概要	くがバフパークを	ブル後に	経営不振 げ,外的理	や休業, 環境と企	廃業に追い 業努力の点	い込まれた	た。本科目で めと失敗の要	ではケース <i>に</i> 要因を分析,	スタラ 理解	欠々と開園した ディとしていく する。また適宜 モデルを学ぶ。	つかの	テーマ
到達目標										を含めて多角的 けて理解を深め		f,理解
学修者への 期待等										ということを活 うにしてくださ		いように
0			授	集計画				準備学	修		ŧ	旦当
1	ガイダン	/ス:授	業の進め	方,評价	mなど						林	春伽
2	八木山~	ベニーラ	ンドの歴	史・沿草	車など					マインター :概ね30分	林	春伽
3			ンド講話 れるテー		ケ—					・てインター :概ね30分	ベニー	春伽 -ランド マッフ
4							11 + 11 - 3 -	= 1, 10)z				<u>・</u> 春伽
5	八木山~	ベニーラ	ンド現地	調査						マインター :概ね30分		ーランド マッフ
6	ご講話す	むびに現	地調査の	振り返り	発表資	料作成	と:概ね30	分		しておくこ	林	春伽
7	発表練習	3					発表資料を ね30分	各自完成さ	せて	おくこと:概	林	春伽
8	全体発表						発表練習と くこと: 概		の作	成を終えてお	林	春伽
9	スパリゾ	ートハワ	イアンズの	の歴史・浴	A革など		スパリゾート ネット等で訓			ついてインター [ね30分		春伽
10		ž 1.	ロノマ、		□ -k-		-			についてイン	ハワー	春伽 イアンズ タッフ
11	ハ リン	ノートハ	ワイアン	人現地記	问 住		ターネット 分	寺で調へし	わく	こと:概ね30	ハワ	春伽 イアンズ タッフ
12	現地調査	をの振り かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃりん しゅうしゃ しゃり しゃく	返り・発	表資料作	乍成		前回までの と:概ね30		復習	しておくこ	林	春伽
13	発表練習	3					発表資料を ね30分	各自完成さ	せて	おくこと:概	林	春伽
14	全体発表	長					発表練習と こと:概ね		作成	を終えておく	林	春伽
15	総まとめ	<i>b</i>					前回までの ね30分	内容を復習	して	おくこと:概	林	春伽
教科書	特になし						ı				I	
参考文献	清水群書』河出			マパーク	では朝から	ら風船を引	もっている <i>の</i>)か?テー~	マノペー	ークで学ぶビジ	ネスの	教科
備考	感染症の する予定	D拡大並 とである	びに緊急	事態宣言 IS等を確	言など状況 認しつつタ	の変化に	より現地調	査を中止す	る場	あるが,新型= 合もある。随時 構義に対応でき	宇アナウ	フンスを

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング TB-3-ECO-19

	1	2	3	4	5
举杯书用	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果				•	•
科目名			国内観光		

				•	•								
科目名		<u> </u>	国内観光	資源		単位 認定者	林	春伽			試験(筆記)	60	%
	観光ビジ	ネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2	単位	1	授業内課題	30	%
対象学科 必修・選択							授業時間数	30	時間	の方法	受講態度	10	%
配当年次					授業形態	講義	授業回数	15	□				
授業の概要	を自ら」	とてるこ	とで, 理	里解を深	める。更に	こ,郷土米	理や祭りな	ども	取り」	Ŀげ,	戦を活かし,旅 現在の観光地 講義の内容を構	が歴	史と
到達目標	光地を理	里解でき		こなる。	また, テコ						違いに注目しなった観光地を自		
学修者への 期待等	極力生し	ごないよ	うに注意 深めるよ	まするこ こうに努	,グルーフ と。また, 力してほし	足を運ん	等の実践演習 しだことが無	を計い地	地域ほど	ご , 討	るため,遅刻・ 構義以外の時間	欠席領でも	等が 自主
回	18 2 13.	·- (15		業計画	/== A A-5	24 Alm 64	A 12 a 22 A	Λ .		準備 与			2 20
1	ガイダン博物館	ノス(授	業の概要	となど)。	/記念館・	美術館·	め調べてお	<u>ک</u> ک	と(1時	宇間和			
2	庭園・ク	小京都·	あやかり	富士			全国の庭園かじめ調べ				やかり富士につ 特間程度)	いてる	あら
3	お祭り	(東日本)				東日本で行 ておくこと				こついてあらか	じめ記	調べ
4	お祭り	(西日本)				西日本で行 ておくこと				こついてあらか	じめ詞	調べ
5	滝・鍾郛	1洞					全国の滝・ こと(1時間			ついて	てあらかじめ調	べて	おく
6	郷土料理	里					全国の郷土 と(1時間程		につい	ヽてぉ	ららかじめ調べ	ており	くこ
7	民芸品						全国の民芸 (1時間程度		ついて	こあら	っかじめ調べて	おく	こと
8	世界遺產	崔 (東日	本)				東日本の世 こと(1時間	界遺 程度	産につ	ついて	てあらかじめ調	ベて	おく
9	世界遺產	奎 (西日	本)				西日本の世こと(1時間			ついて	てあらかじめ調	ベて	おく
10	国立公園	包					全国の国立 と(1時間程]につい	ヽてぁ	ららかじめ調べ	ており	くこ
11	温泉(『	東日本)					(1時間程度)			らかじめ調べて		
12	温泉(西	5日本)					(1時間程度)			らかじめ調べて		
13	寺社仏閣	閣(東日	本)				こと(1時間	程度	()		てあらかじめ調		
14	寺社仏閣	룋 (西日	本)				西日本の寺 こと(1時間			ついて	てあらかじめ調	ベて	おく
15	総まとる							授業	を復習	冒して	ておくこと(1時	間程	变)
教科書					株式会社J 旅行実務		究所 £資源』2021	棋	式会社	±JТВ	総合研究所		
参考文献	必要に原	芯じて紹	介する。	また必	要に応じて	で適宜プリ	ントを配布	する	0 0				
備考					順序や重点 実施する。	気の置き力	7を変更する	こと	:がある	5 。			

※以下は該当者のみ記載する。

 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

 ●
 ●
 ●

						•			ı		1		
科目名		Ä	每外観光	地理		単位 認定者	林	春伽			試験 (筆記)	60	%
	観光ビジ	ネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2	単位	評価の	授業内課題	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30	時間	Ť	受講態度	10	%
					授業形態	講義	授業回数	15	口				
授業の概要	と主要都 講義でに	都市の基礎 は触れる。	礎知識を , 国毎の	学ぶた& 観光イン	り、首都、面	ī積,人 対する事	口,言語,為	気候,	人種,	歴5	目的とする。国 史,宗教,通貨 を各自調べる	〔 ,時	差を
到達目標					੯地に目を向 ∵ついて理解~)いて	自主的	こ調・	べ,学びを深め、	ていく参	姿勢
学修者への 期待等		1た時間の 貧習を積				身るため!	こも, 1回こ	゛との	授業を	大切	にし、講義内	容の復	習
0			授	集計画					為	基備学	学修		
1	ガイダン	/ス/中国	(1)	主要都市			事前に教科 ください。				を読んで授業	に臨ん	ノで
2	中国(2	2) 自然	観光地				事前に教科 業に臨んて				観光地の部分 間程度)	読んで	ぎ授
3	韓国・台	台湾					事前に教科 ください。				を読んで授業	に臨ん	ノで
4	ベトナム	ム・タイ					事前に教科 んでくださ				タイを読んで :)	授業に	_臨
5	インド・	・インド	ネシア				事前に教科 業に臨んて				ンドネシアを 間程度)	読んで	ぎ授
6	アメリカ	カ合衆国	(1) 主	要都市							衆国の主要都 さい。(1時間		訴
7	アメリカ	カ合衆国	(2) 国	立公園							・衆国の国立公 `さい。(1時間:		訴
8	カナダ・	・ハワイ詞	諸島				事前に教科 に臨んでく				ワイ諸島を読 程度)	んで授	≹業
9	北欧(ラ フィンラ		ク・スウ	ェーデン	/・ノルウェ		事前に教科 い。(1時間			読ん	で授業に臨ん	でくた	<u>"</u> さ
10	イギリス	Z.					事前に教科 ださい。(スを	読んで授業に	臨んで	<u> </u>
11	フランス	Z.					事前に教科 ださい。(スを	読んで授業に	臨んで	<u> </u>
12	ドイツ						事前に教科 さい。(1時			を読	んで授業に臨	んでく	だだ
13	イタリフ	7					事前に教科 ださい。(アを	読んで授業に	臨んで	<u>\$</u>
14	スペイン	/・ポル	トガル				事前に教科 業に臨んて				ポルトガルを 問程度)	読んで	ぎ授
15	総まとぬ	5					前回までの さい。(1時			復習	して授業に臨	んでく	だ
教科書					レ』株式会社 株式会社JTB								
参考文献		広じて指え			_		_						
備考	受講者の 染症拡力	り理解度 (大の状況)	こより, こより遠	講義順月 隔授業を	字や重点の置 と実施する可	遣き方を 『能性も』	変更するこ ある。各自1	とがま LMSを	うる。 言 随時確	また, 認し	新型コロナウ , 授業に臨む	/イル: こと。	ス感

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング 2 3 1 4 5 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-36 学修成果 単位 東南アジアの言語と文化 朴 賢淑 試験(レポート) 70 % 科目名 認定者 観光ビジネス学科 選択 2年 単位数 単位 授業能度 % 2 30 価 開講時期 前期 の 对象学科 方 必修 選択 授業時間数 30 時間 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 観光立国が現代日本の成長の一つの柱として重視されているが,本科目は近年,訪日旅行者が増加傾向を 続けるアジア諸国,中でも東南アジアの国々について,どのような言語が話され,どのような文化が育まれているのかを概括的に学修する。そこから東南アジア諸国の言語・文化の多様性を理解し,それらの国か 授業の概要 らのインバウンド需要に応える基礎的素養を身につけることを目的とする。 文化的背景を含めた台湾語やタイ語の特徴を理解するとともに、簡単な会話ができること、また「異文 到達目標 化」という観点から東南アジア地域の社会・文化の基本的な知識の獲得を目指す。 学修者への 各回の授業で取り上げる基本概念について,事前に各自で調べておくことが求められる。また,授業内で配 布資料などとともに学んだ内容は復習してください。 期待等 担当 授業計画 準備学修 ガイダンス,『21世紀の東南アジア』 朴腎淑 1 台湾の民族と言語 「台湾語」と「中国語」は同じ言語かを調べておい 朴仙子 2 てください。(30分程度) ・ピンイン, 声調 台湾食文化とあいさつ 前の授業で勉強したピンイン、声調を復習してきて 朴仙子 3 ・台湾華語での自己紹介 ください。(30分程度) 台湾の観光地及び観光政策について調べてくき 4 台湾の観光戦略と観光資源開発 朴仙子 てださい。(30分程度) 台湾の外国人受け入れ政策について調べてきて 台湾の少子化問題と外国人労働者 朴仙子 5 ください。(30分程度) 台湾の教育課程について調べてきてください。 台湾の教育制度と学社連携 朴仙子 6 (30分程度) 台湾の年間行事について調べてきてください。 7 台湾の祭事と婚姻制度 朴仙子 (30分程度) ベトナムの文化について調べてきてください。(30 ベトナムの社会と文化 朴賢淑 8 分程度) タイはどんな国か次の資料を一覧してください。 https://www.thailandtravel.or.jp/ 9 タイの基本知識 青木アタヤ https://www.youtube.com/watch?v=wxy0GUUdPMg (30分程度) タイ経済について調べてください。また,タイの観光ビジ ネスについて次の資料を見ておいてください。 タイの経済と観光ビジネス 10 青木アタヤ https://plus.alc.co.jp/2018/05/thailand/ (30分程度) 「タイ王国の魅力2021」シリーズの内,少なくとも3話以上 を見て、タイの文化と生活様式について考えてください。 11 タイの文化と生活 https://www.youtube.com/watch?v=Kbv5kGsjrgY&list= 青木アタヤ PLlBPyPhIqV1Tb6LUg-n_L5pVAommYUJo7&index=1 (30分程度) タイの教育制度・学校について読んでおいてください。 https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/0212thailand. タイの教育 青木アタヤ 12 タイ語の発音を聞いてみましょう。 タイのことば・日タイ異文化コミュニケーション 青木アタヤ 13 https://sports.nhk.or.jp/dream/cheer/tha/ タイの今日の注目ニュースをネット検索をして,その中か タイの社会問題・ジェンダー 青木アタヤ 14 ら3つテーマをピックアップしてください。(30分程度) アフターコロナを見据えてインバウンドのあり方に 今後の東南アジアの展望 朴賢淑 15 ついて考えておいてください。(30分程度) 教科書 特になし ・講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。 参考文献 ・講義で随時配る資料はファイルしておくこと。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

・受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡す

2 3 4 科目ナンバリング 1 5 TB-3-FCO-37 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 基礎力 実践力 学修成果 単位 科目名 韓国語会話Ⅱ 朴 賢淑 試験(筆記) 70 % 認定者 観光ビジネス学科 単位 受講熊度 選択 2年 単位数 30 % 1 開講時期 前期 മ 対象学科 方 必修·選択 授業時間数 30 時間 法 配当年次 演習 授業形態 授業回数 15 回 本科目は、韓国語の基礎をすでに修得した学生を対象とし、口頭表現力、聴解力、読解力の向上を目指す。 す なわち「覚える韓国語から使う韓国語」を指向し、高度な文法的知識を身に付けると同時に現地で通用す 授業の概要 る会話運用能力を養う。そのために,韓国の文化,経済,価値観の理解も深め,ビジネスや文化交流の現場で 活躍できる人材育成を目指す。 韓国語の中級レベルの語彙及び文法を理解できる。ネティブスピーカーの話しを理解し、自分の専門につ 到達目標 いて韓国語でいえる。 ・初級で学んだ基礎文法をしっかり理解したうえで授業に臨んでほしい。また,現地で通用する語学力を 学修者への 高めるためには,単語力の強化を強く勧める。 期待等 ・韓国語能力検定試験(TOPIK)を受験する方は、各自申し込みをおこなってください。 回 準備学修 授業計画 ・ガイダンス,簡単な会話の練習,韓国語の読み方 1 • クラス分け ____ 授業で学んだ『過去形』については必ず復習するこ 2 過去形の作り方 と(1時間程度)。 ①尊敬形の作り方 授業で学んだ『尊敬語』については必ず復習するこ 3 ②特殊な尊敬語 / = 語幹 と(1時間程度)。 授業で学んだ『連体形』については必ず復習するこ ①連体形, ②形容詞の連体形, ③動詞の連体形 4 と(1時間程度) ①存在詞と指定詞の連体形 授業で学んだ『存在詞と指定詞の連体形』について 5 は必ず復習すること(1時間程度) ② * 変則の形容詞 ①고 (~で,~くて,~し) ②ㄴ데/는데/ 은데 (~が,~けれども,のに,の 授業で学んだ内容は必ず復習すること(1時間程 6 度)。 Ti) ①連用形 授業で学んだ『連用形』については必ず復習するこ 7 ②己 変則用言 と(1時間程度)。 理由,根拠,先行する動作 8 ~아서/~ 어서/~여서 /~ (이) 라서 は必ず復習すること(1時間程度) ①可能・不可能の表現 授業で学んだ『可能・不可能の表現』については必 9 ②ム 変則 ず復習すること(1時間程度)。 <u>□</u> するつもりです 授業で学んだ内容は必ず復習すること(1時間程 10 ②~すれば 度)。 ①~するつもりだ/~しなければならない 授業で学んだ内容は必ず復習すること(1時間程 11 ②~しても,~してもいい,~してはいけない 度) ①~してみる/~してしまう 授業で学んだ内容は必ず復習すること(1時間程 12 ②~している/~や~,~か~,~または~ 度) 授業で学んだ内容は必ず復習すること(1時間程 ~したことがある/~したことがない/~してから 13 度) 授業で学んだ『用言の連体形』については必ず復習 用言の連体形+것같다:推量・確実では断定の表現 14 すること(1時間程度)。 ①意思(~するから,~するつもりだから) 授業で学んだ『意思・推量』については必ず復習す 15 ②推量(~だろうから,~はずだから) ること(1時間程度)。 2020.3, スリーエーネットワーク 金東漢・張銀英著『新・韓国語レッスン 中級』 教科書 授業内で紹介する。 物学学 ・教科書を中心に授業を行うが,韓国語の理解を深めるために上記の教材以外にも新聞,雑誌なども活用する。 備考 ・学期途中で遠隔授業に切り替わった場合,授業計画については別途指示する。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

・「韓国語会話Ⅱ」は習熟度別にクラスを編成し、朴賢淑と朴仙子が担当する。なお,第1回の授業は合同で行う。

2 3 4 5 科目ナンバリング 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-3-ECO-37 基礎力 学修成果 単位 % 科目名 韓国語会話Ⅱ 試験(筆記) 朴 仙子 70 認定者 30 % 観光ビジネス学科 単位数 1 単位 受講態度 選択 2年 価 開講時期 前期 ၈ 対象学科 方 必修 選択 授業時間数 30 時間 法 配当年次 演習 授業形態 授業回数 15 回 本科目は,韓国語の基礎をすでに修得した学生を対象とし,口頭表現力,聴解力,読解力の向上を目指す。 すなわち「覚える韓国語から使う韓国語」を指向し,高度な文法的知識を身に付けると同時に現地で通 授業の概要 用する会話運用能力を養う。そのために,韓国の文化,経済,価値観の理解も深め,ビジネスや文化交流の 現場で活躍できる人材育成を目指す。 韓国語の中級レベルの語彙及び文法を理解できる。ネティブスピーカーの話しを理解し、自分の専門に 到達目標 ついて韓国語でいえる。 初級で学んだ基礎文法をしっかり理解したうえで授業に臨んでほしい。また, 現地で通用する語学力を 学修者への 高めるためには、単語力の強化を強く勧める。 期待等 ・韓国語能力検定試験(TOPIK)を受験する方は、各自申し込みをおこなってください。 授業計画 準備学修 回 ・ガイダンス,簡単な会話の練習,韓国語の読み方 1 • クラス分け 授業で学んだ『過去形』については必ず復習すること 2 過去形の作り方 (1時間程度) ①尊敬形の作り方 授業で学んだ『尊敬語』については必ず復習すること 3 ②特殊な尊敬語 / = 語幹 (1時間程度) 授業で学んだ『連体形』については必ず復習するこ ①連体形, ②形容詞の連体形, ③動詞の連体形 4 と。(1時間程度) ①存在詞と指定詞の連体形 授業で学んだ『存在詞と指定詞の連体形』については 5 必ず復習すること。(1時間程度) ② さ変則の形容詞 ① ユ (~で,~くて,~し) 授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程 6 ②니데/는데/ 은데 (~が, ~けれども, のに, ので) 度) ①連用形 授業で学んだ『連用形』については必ず復習するこ 7 ②己 変則用言 と。(1時間程度) 授業で学んだ『理由,根拠,先行する動作』については 理由,根拠,先行する動作 8 ~아서/~ 어서/~여서 /~ (이) 라서 必ず復習すること。(1時間程度) ①可能・不可能の表現 授業で学んだ『可能・不可能の表現』については必ず 9 ②ム 変則 復習すること。(1時間程度) ①~するつもりです 授業で学んだ内容は必ず復習すること(1時間程度) 10 ②~すれば ①~するつもりだ/~しなければならない 授業で学んだ内容は必ず復習すること(1時間程度) 11 ②~しても,~してもいい,~してはいけない <u>──</u> ①~してみる/~してしまう 授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程 12 ②~している/~や~,~か~,~または~ 度) 授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程 ~したことがある/~したことがない/~してから 13 (専 授業で学んだ『用言の連体形』については必ず復習す 用言の連体形+것같다:推量・確実では断定の表現 14 ること。(1時間程度) ①意思(~するから,~するつもりだから) 授業で学んだ『意思・推量』については必ず復習する 15 こと。(1時間程度) ②推量(~だろうから,~はずだから) 2020.3, スリーエーネットワーク 教科書 金東漢・張銀英著『新・韓国語レッスン 中級』 授業内で紹介する。 参考文献 ・教科書を中心に授業を行うが、韓国語の理解を深めるために上記の教材以外にも新聞、雑誌なども活用する。 ・学期途中で遠隔授業に切り替わった場合,授業計画については別途指示する。 備考

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

・「韓国語会話Ⅱ」は習熟度別にクラスを編成し、朴賢淑と朴仙子が担当する。なお,第1回の授業は合同で行う。

 学修成果
 1
 2
 3
 4
 5

 基礎力
 実践力
 人間関係力
 生涯学習力
 地域理解力

 ・ 下のでは、
 ・
 TB-3-ECO-25

学修成果	• •										
科目名	E	中国語会	話 I	<u> </u>	単位 認定者	程	艳春		試験 (筆記)	70	%
対象学科	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	一 の	受講態度	30	%
必修•選択 配当年次				授業形態	演習	授業時間数 授業回数	30 時間	万 法			
授業の概要	本科目では, 中 的とする。中国語は 目標とする。										
到達目標	中国語の基本的	な発音の	知識と文	て法を身につ	けて, 簡	単な読み書きと	:会話がで	きること	とを目標にしてい	ます。	
学修者への 期待等	毎回学修した内:ます。			すること, 授業	(中に積極	函的にコミュニク			参加することを期	持して	こい
		授業計画					準 作	学修			
1	中国語については	の豆知識									
2	中国語の発音1	(母音に~	ついて)			修した豆知識にの講義に臨むこ			やノートを読み返	して復 [·]	習
3	中国語の発音 2	(子音に	ついて)			修した母音につ 義に臨むこと			ノートを読み返し	て復習	l,
4	中国語の基礎文法	去1(是の	の文型)			修した子音につ 義に臨むこと			ノートを読み返し	て復習	l,
5	中国語の基礎文法	法2(有	の文型)			修した文法1ほ の講義に臨むこ			やノートを読み返	して復	習
6	会話1 誘う文装	型				修した文法 2 ほ の講義に臨むこ			やノートを読み返	して復	習
7	会話1のロールフ	°レイ				修した誘う文型 の講義に臨むこ			トやノートを読み	返して	復習
8	会話2 聞く文書	型				修した会話 1 の 次回の講義に関			キストやノートを !度)	読み返	して
9	会話2のロール	プレイ				修した会話2 し,次回の講義			テキストやノート 間程度)	・を読み	⊁返
10	会話3 祝う文芸	型				修した会話2の 次回の講義に闘			-ストやノートを訪 !度)	えみ返し	ノて
11	会話3のロール	プレイ				修した会話3 習し,次回の講			ハてテキストやノ L時間程度)	ートを	読み
12	会話4 お願い	する文型				修した会話3の 次回の講義に関			-ストやノートを訪 !度)	むしている。	ノて
13	会話4のロール	プレイ				修した会話4 て復習し,次回			こついてテキストや と (1時間程度)	シノート	、を
14	会話5 ほめ方の	文型				修した会話4の 次回の講義に臨			·ストやノートを読 !度)	ころ しょうしょう しょうしょう しょうしょ しょうしょ しょう しょう しょう し	て
15	会話5のロールフ	°レイ									
教科書	市瀬智紀/程艶	春著『ゼ	ロから言	舌せる中国語	吾』三修	社					
参考文献	特になし										
備考											

※以下は該当者のみ記載する。

A14 64 - It PP	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	生涯学習力	5 地域理解力
学修成果	•	•			

	•	•												
科目名	中国語会話Ⅱ					単位 認定者	程	艶春			試験(筆記)	60	%	
	観光ビジ	ネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	1	単位	評価	授業内課題等	20	%	
対象学科 必修・選択						-	授業時間数	30	時間	の方法	受講態度	20	%	
配当年次					授業形態	演習	授業回数	15	□					
授業の概要	に活用できることを目的とする。													
到達目標	学修した基本の文法を応用して、自分から言葉を組み立てて、書く、会話及び簡単な文章読解ができることを目標にしています。											る		
学修者への 期待等		学修した 寺してい		っ かり1	复習するこ	と,授業「	中に積極的に	コミ	ユニク	ケーミ	ンョン活動に参	加する	るこ	
0			準備学修											
1	今まで習	習する												
2	会話6		今まで習得した内容についてテキストやノートを読み返して復習 し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)											
3	会話6の		新しく学修した電話のかけ方についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)											
4	会話7 許可をもらう文型						新しく学修した会話6の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
5	会話7のロールプレイ						新しく学修した会話7許可をもらう文型についてテキストやノートを 読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
6	会話8 感情表現の文型						新しく学修した会話7の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
7	会話8のロールプレイ						新しく学修した感情表現についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
8	会話9 体調の表現の文型						新しく学修した会話8の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
9	会話9のロールプレイ						新しく学修した体調の表現の文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
10	会話10 使役の文型						新しく学修した会話9の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
11	会話10のロールプレイ						新しく学修した使役の文型についてテキストやノートを読み返して 復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
12	会話11 意思表現の文型						新しく学修した会話10の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
13	会話11のロールプレイ						新しく学修した意思表現の文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
14	小文章の解読						新しく学修した会話11の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと(1時間程度)							
15	まとめと復習													
教科書	市瀬智紀/程艶春著『ゼロから話せる中国語』三修社													
参考文献	特になし	_ 												
備考														

※以下は該当者のみ記載する。

科目ナンバリング TB-3-ECO-26

	1	2	3	4	5
*** ** -* EE	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
学修成果	•	•			

	•	•										
科目名		フ	ランス語	会話		単位 認定者	野中。	みどり		確認小テスト	50	%
11 m 24 m	観光ビジネス学科 選択 2年 開講時期			後期	単位数 1 単位 評 授業内課題 30					%		
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30 時間	方法	受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要							用される基本的なフランス語表現を繰り返し聞き,発して捉え,また自らも状況に合わせて「音の連鎖」を 文字表記法,様々な慣用表現などの説明も適宜行					
到達目標	基本的な考えを平易な表現で過不足なく相手に伝える 応を取れるようになる。						.ることができ、かつ相手の表現を理解し、適切な対					
学修者への 期待等	言葉はコミュニケーションの手段であると同時に、世界をどう見るか、どう切り取るかという世界観の表れ、つまり文化そのものです。フランス語は世界をどう見ているのかということを、常に日本語と比較しながら考えるとフランス語そのものに対する理解が劇的に深まります。											
			授	集計画					準備与	学修		
1	フランス	ス語の特征	敳とアル	ファベ						復習:概ね1時間		- 0.0
2						資料0(綴り字の読み方,簡単な挨拶)を予習:概ね30分。復習:概ね30分。						
3	国籍・身分と名前の言い方, être, 数字1-10					資料1(モデ 習:概ね30分		e, 名i	詞)を予習:概ね	130分。	,復	
4	話す言語を言う,規則動詞,定冠詞,否定文					資料2(モデ 概ね30分。復			, 否定, 定冠詞)	を予習	3 :	
5	好みを言	言う,不定	冠詞, av	oir			分。復習:概	発ね30分。		, avoir)を予習		
6	食べる・	・飲む,部	分冠詞,	提示の表	現, 疑問詞		概ね30分。復	夏習:概ね3	0分。	,動詞,疑問詞)		
7	人や物を	を描写する	る, 形容詞	月,所有形	容詞, 数字	211-20	資料5 (モデル会話, 形容詞, 所有形容詞, 指示代名詞) を予習: 概ね30分。復習: 概ね30分。					i])
8	前半(資	資料0-資料	斗5) の復	習			疑問点などを質問できるように整理しておくこと。 次料な (エデル会託 動詞 統約取 採用立のかなた) な					
9	allerと	venir,縮	訥形,疑	間文3型	Ĩ		資料6(モデル会話,動詞,縮約形,疑問文のかたち)を 予習:概ね30分。復習:概ね30分。					と
10	時刻を言	言う, ir型	」動詞, fa	ire			資料7(モデル会話,疑問詞quel,ir型動詞,faire)を予習:概ね30分。復習:概ね30分。					
11	近接未来	ド・過去 ,	vouloir,	, pouvoir	c, 数字30-1	.00	貸科8(セアル会話, 近接木米・適去, vouloir, pouvoir)を予習:概ね30分。復習:概ね30分					
12	日常の行	う動を言	う,天気を	と言う,代	名動詞,指	示形容詞	資料9 (モデル会話,代名動詞,指示形容詞,天候の表現) を予習:概ね30分。復習:概ね30分。					
13	場所や道順を言う、命令形、縮約形					資料10(モデル会話,縮約形,命令形)を予習:概ね30分。復習:概ね30分。						
14	過去のことを表現する, 複合過去形, 否定表現					資料11 (複合過去のかたち,さまざまな否定表現) を予習:概ね30分。復習:概ね30分。					を予	
15	後半(資料6-資料11)の復習					疑問点などを質問できるように整理しておくこと。						
教科書	随時資料	斗を配布	します。									
参考文献	仏和辞書	書(初回の	の授業で	簡単な辞	書の案内を	を行います	<u> </u>					
備考	授業内で却します		認小テス	トは実施	後に解答所	解説 します	。課題等の	提出物は回	収後	に添削し、次回	授業で	で返

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

科目ナンバリング TB-3-ECO-28

学修成果	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					TB-3-ECC	D-28	
丁伊以不		•	•								_	
科目名		‡	おもてなし	英語		単位 認定者	吉野	千乃		試験(筆記)	60	%
	観光ビジ	ネス学科	選択	2年	開講時期	月 後期	単位数	2 単位	評価の	ロールプレイ	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次							授業時間数	30 時間	方法	受講態度	10	%
					授業形態		授業回数	15 囯				
授業の概要	日々の生活の中で外国の方々と接する機会が急増し 表現を学ぶ。コンビニエンスストア,カフェ,レスト 身につける。実際の場面を想定したロールプレイング 現を修得する					ストランや	・販売店など,	広く接遇の	場面	で活用できる英	語力	を
到達目標	日常的な接客の場面を想定し、顧客である外国人観光3確認し、それらを英語で理解して説明できるようになる						語で対応でき	るようにな	る。	日本の文化や習	慣を	再
学修者への 期待等		は,店員とタ 履修を期待		互いに英詞	語で演じる	ロールプレ	プレイングを多く行う。積極的な姿勢で活動に取り組め					
			授第	自信				準	備学	修		
1		めかたにつ なし英語」										
2	Unit 1 Raペア・ワー	amen ク(会話練習	3)							まについてのUsel :作成する。(1時		度)
3		nimal Café ーク(会話								カフェについての :作成する。(1時		
4	Unit 3 Stand-up Eatery ペア・ワーク(会話練習)						事前にpp.16-18.を予習し,立ち飲み屋についてのUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間程度)					
5	Unit 4 Convenience Store ペア・ワーク(会話練習)								ビニについての [:作成する。(1時			
6		panese Fa ーク(会話		yudon			事前にpp.24-25.を予習し,牛丼屋についてのUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間程度)					
7	メディアを	を通して目	本の「おも	てなし」を	と考える		新聞,インターネットなどで日本の「おもてなし」を取り上げた英語の記事を探しておく。 (1時間程度)					
8	Unit 6 Ja ペア・ワー	panese Sp ーク(会話	a 練習)				事前にpp.28-31.を予習し,温泉についてのUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間程度)					
9		our Dishes ーク(会話					事前にpp.32·35.を予習し,粉ものについてのUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間程度)					
10	Unit 8 Ka ペア・ワー	araoke ーク(会話	練習)				事前にpp.36-39.を予習し,カラオケについてのUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間程度)					
11	Unit 9 Se ペア・ワー	ating Cha ーク(会話	rges at Ja _l 練習)	panese Res	staurant					しについてのUse 作成する。(1時		变)
12	Unit 10 Second·Hand Store ペア・ワーク(会話練習)						事前にpp.44·47.を予習し,リサイクルショップについて のUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(15 間程度)					
13	Unit 11 Kawaii Culture ペア・ワーク(会話練習)					事前にpp.48·51. を予習し,カワイイ文化についての Useful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間 程度)						
14	Unit 12 Soba ペア・ワーク(会話練習)					事前にpp.52-55.を予習し,日本そばについてのUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間程度)						
15	Unit 13 Bento ペア・ワーク(会話練習)					事前にpp.56-59.を予習し,弁当についてのUseful Words and Phrasesのリストを作成する。(1時間程度)						
教科書	坂部俊行,岡島徳昭,Howard Tarnoff.(2020). Glances of Japan. (『目						(『日本文化と	こおもてなし	英語。	』). 南雲堂.		
参考文献	授業にはき	時LMSより酉 テキスト,呑 犬況により	辞書を持参		可能性があ	る。						
	履修者の状況により, 進度に変更が生じる可能性がある。 者のみ記載する											

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

科目ナンバリング 1 2 3 4 5 生涯学習力 人問関係力 地域理解力 TB-3-ECO-30 基礎力 実践力 学修成果 単位 科目名 観光英語ガイド基礎 吉野 千乃 試験(筆記) 60 % 認定者 観光ビジネス学科 選択 2年 単位数 2 単位 授業内課題等 20 % 価 開講時期 前期 മ 対象学科 方 必修 選択 授業時間数 30 時間 受講態度 20 % 法 配当年次 授業形態 講義 授業回数 15 回 観光ビジネス学科の基礎科目・基幹科目で学んだ観光業に関する知識を活かし、地域の魅力を英語でガ イドできるような英語力を身に付けることを目的とする。訪日外国人観光客の視点で考えるため,外国人 授業の概要 からみた日本の文化等についても学ぶ。他者の視点を持つことで,地域の新たな魅力に気づくことにな る。それらをわかりやすく伝えるための英語表現を学ぶ。 観光英語に関する知識をさらに伸ばし,日本の代表的な観光地を訪れた外国人を英語で案内できるように 到達目標 なる。英語を通して,外国人にとって「異文化」である自国の文化をより深く理解できるようになる。 観光分野の知識とともに,英語の技能を伸ばしたいと考える者,異文化理解に関心のある者,テキストの 学修者への 内容理解にとどまらず,積極的に英語を使用したいと考える者の履修を期待する。 期待等 また,総合旅行業務取扱管理者試験の英語問題も授業内で扱うため,受験を目指す者の履修も歓迎する。 授業計画 準備学修 授業の進め方について Lesson 1 An Attitude of Hospitality: Welcome to シラバスをよく読み、到達目標を理解しておく。 1 Lesson 2 Preparation for the 2020 Olympic p.10 のオリンピックについての文章を読み, T/F 2 Games in Tokyo に回答しておく。(50分程度) p.14の歌舞伎についての文章を読み、T/Fに回答し Lesson 3 Do You Like to Watch Kabuki? 3 ておく。 (50分程度) Lesson 4 The Sapporo Snow Festival p.18の雪まつりについての文章を読み,T/Fに回答 4 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題① しておく。(50分程度) p.22の平泉についての文章を読み,T/Fに回答して 5 Lesson 5 Hiraizumi as the Buddhist Pure Land (50分程度) 基本的な会話練習と重要な語句 授業後にはロールプレイで用いた会話表現,重要語句 6 Scene 1-3 ロールプレイ をまとめておく。(50分程度) p.26の横浜についての文章を読み,T/Fに回答して 7 Lesson 6 Yokohama Port (50分程度) p.30の富士山についての文章を読み,T/Fに回答し 8 Lesson 7 Mt.Fuji ておく。(50分程度) p.34の近江地方についての文章を読み,T/Fに回答 Lesson 8 Omi Province and Its Military History 9 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題② しておく。(50分程度) p.38の奈良についての文章を読み、T/Fに回答して Lesson 9 The Deer in Nara 10 おく。(50分程度) p.42の京都についての文章を読み, T/Fに回答して 11 Lesson 10 Kyoto Station おく。(50分程度) Lesson 11 Let's Explore Osaka p.46の大阪についての文章を読み, T/Fに回答し 12 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題③ ておく。(50分程度) p.50の神戸についての文章を読み, T/Fに回答して 13 Lesson 12 Port City Kobe (50分程度) p.54の鳥取についての文章を読み, T/Fに回答して 14 Lesson 13 Sand Dunes in Tottori おく。(50分程度) 基本的な会話練習と重要な語句 授業後にはロールプレイで用いた会話表現,重要語句 15 Scene 4-5 ロールプレイ /全体の振り返り をまとめておく。(50分程度) 木戸美幸,Carolyn Wright, 河原俊昭,徳地慎二 (2016) Hospitality English. (『おもてなしの観光英語』) 教科書 参考文献 資料等は授業内,またはLMSより随時配信する。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

授業にはテキスト,辞書を持参すること。履修者の状況により,進度や順番に変更が生じる場合がある。

3 5 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-5-SEM-01 学修成里 単位 科目名 観光ゼミナールA 成澤 広幸 試験(レポート) 40 % 認定者 単位 % 観光ビジネス学科 選択 1年 単位数 1 授業内課題等 30 前期 価 開講時期 後期 対象学科 方法 必修·選択 観光ビジネス学科 選択 2年 授業時間数 30 時間 受講態度 30 % 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と、課題を発見し解決する能力の 育成を目的とする。 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修 授業の概要 得した専門的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身 我が国のアウトバウンドとインバウンドという国際観光の大きな流れについて、その沿革を概観す ることができ、乗り越えてきた諸問題について理解を深め、現在直面する課題とその解決の方向につ 到達目標 いて、自分なりの考えを自分の言葉で表現することができる。 国際観光の理解には旺盛な好奇心が必要です。好奇心による疑問を一つ一つ解いていくことで、観 学修者への 光現象はそれまでとは全く違った姿を呈してきます。好奇心を貪欲なくらい持って、観光の世界を眺 期待等 めてください。 授業計画 準備学修 ガイダンス: ゼミの進め方, ゼミ長などの選出, ゼミ予定の 検討。調査するアウトバウンドテーマの選定。 1 日本のアウトバウンド概略(1):バブル期まで(講義&ディ スカッション) 日本のアウトバウンド概略(2):「失われた30年のアウトバ 日本人の海外旅行の歴史、および「ハワイ」が日本人の 2 ウンド」(講義&ディスカッション)。 海外旅行の中で占める位置について、概略を調べてく アウトバウンド事例研究:ハワイ。 ださい(概ね1時間) 自分が選定したテーマの組み立てを考えておいてくだ アウトバウンドテーマの調査 3 さい(概ね30分)。 4 アウトバウンドテーマの調査結果のプレゼンテーション 5分ほどで発表をまとめるように準備してください。 5 フィールドワークの事前調査:定義山西方寺 定義山西方寺について調べてください(概ね30分)。 6 県内観光地フィールドワーク(1)仙台にとって馴染み深 宗教施設が広義の観光地となった理由を考えておいて い宗教観光地を尋ねる:定義山西方寺 ください。(概ね1時間) 7 日本のインバウンド概略(講義&ディスカッション)。イン 訪日外国人旅行者の観光活動について概略を調べて 8 バウンドテーマの選定。 ください(概ね1時間) インバウンドと経済:「安いニッポン」(講義&ディスカッ 「安いニッポン」について調べてください(概ね20分) 9 ション)。 自分が選定したテーマの組み立てを考えておいてくだ 10 インバウンドテーマの調査 さい(概ね30分)。 11 インバウンドテーマの調査結果のプレゼンテーション 5分ほどで発表をまとめるように準備してください。 宮城蔵王キツネ村の概略について調べてください(概 フィールドワークの事前調査:宮城蔵王キツネ村 12 ね30分) 13 県内観光地フィールドワーク(2) 宮城県のインバウンド 宮城蔵王キツネ村がなぜインバウンド観光の対象と の「聖地」を訪ねる:宮城蔵王キツネ村 なっているのか、調べてください(概ね30分) 14 アウトバウンドとインバウンドのバランス(講義&ディスカッ 日本にふさわしいアウトバウンドとインバインドの姿を考 15 えておいてください(概ね30分) 教科書 特に使用しません。必要な資料を随時配布します。 参考文献 授業中に紹介します。

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

この科目は前期と後期でそれぞれで開講する。

科目ナンバリング 2 3 1 5 TB-5-SEM-02 基礎力 実践力 人問関係力 牛涯学習力 地域理解力 学修成果 単位 科目名 観光ゼミナールB 朴 賢淑 試験(レポート) 70 % 認定者 観光ビジネス学科 単位数 1 単位 授業態度 選択 1年 前期 30 % 開講時期 後期 മ 対象学科 必修・選択 配当年次 方 観光ビジネス学科 選択 2年 授業時間数 30 時間 法 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と、課題を発見し解決する能力の育成を目的と する。 授業の概要 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修得した専門 的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身につける。 ①「観光」がまちづくりに果たす役割について理解できる。 到達目標 ②グループワークやフィールドワークをとおして第三者に自分の意見を伝える力を身に付ける。 学修者への まちづくり活動における「共同学習の意味」を受け身としての学習ではなく、参加する立場からの学習として考察 期待等 することにより、 自らの学習を主体的に決めていく習慣を習得することを期待する。 準備学修 授業計画 回 ガイダンス:「観光」による地域活性化とは? 1 観光関連の記事に目をとおしておいてください。 観光まちづくりとは? (1時間程度) 内発的観光まちづくりの仕掛けづくり一人材育成の視点 復習として振り返りノートを作成してください。 3 (1時間程度) 復習として振り返りノートを作成してください。 中山間地域における観光まちづくり 4 (1時間程度) <u>ヘルスツーリズムについて調べておいてください。</u> 5 ヘルスツーリズムによる地方創生 (1時間程度) 東北の中山間地域における観光資源について調べて コロナ禍における地域の『観光』 おいてください。自治体のホームページなどを参照。 6 (ゲストスピーカーによる講話) (1時間程度) 復習として振り返りノートを作成してください。 7 東北における「観光まちづくり」への取り組み (1時間程度) 蔵王町について調べておいてください。 グループワーク:蔵王町について 8 (30分程度) フィールドワーク①「観光政策」の視点から ※蔵王町 9 フィールドワーク②「観光資源」の視点から 10 ※蔵王町 女川町について調べておいてください。 グループワーク:女川町について 11 (30分程度) フィールドワーク①「観光政策」の視点から ※女川町 12 フィールドワーク② 「観光資源」の視点から ※女川町 13 PPT資料を準備しておいてください。(1時間程度) 観光まちづくりのための提言 (報告会) 14 復習として振り返りノートを作成してください。 観光まちづくりのための「人財」づくりの可能性 15 (30分程度) 教科書 使用しない。 『観光まちづくり」再考-内発的観光の展開へ向けて一』安福恵美子,古金書院,2016。 参考文献 ・受講者数受講者の理解度などによりフィールドワーク先および授業の順序を変更する場合がある。 備考 ・インタビュー調査を行う予定なので、個人情報に触れる際には倫理的配慮に心掛けなければならない。 ・この科目は前期と後期でそれぞれ開講する

-77-

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

※以下は該当者のみ記載する。

	1	2	3	4	5					科目ナンバ	リンゲ	
** ** - * ==	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					TB-5-SEM		
学修成果	•	•	•	•	•							
科目名					単位 認定者	吉野	千乃		試験(レポート)	50	%	
	観光ビジ	ジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価	授業内課題等	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジ	ジネス学科	選択	2年		後期	授業時間数	30 時間	の方法	受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	観光現場でのフィールドリークを通じて、論理的に自分の考えを第二者に伝える能力と本学科で修得した専門的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身につける。											
到達目標	1. 私たちに身近な観光地(Local Attractions)や文化を調査し、その魅になる。 2. 観光地や市街地での外国語使用実態について調査し、その現状やられるようになる。						、その現状やは	 数善すべき/	点に~	ついての考えを明	確に信	云え
学修者への 期待等	広い意味での日本文化や,異文化理解に関心を持つ者,可 の履修を期待する。グループワークには各自が責任感を持										のある	者
回				業計画					準備 等			
1	ガイダン	ンス:自	己紹介,	演習の進	め方,「文	化」に	自己紹介で話す内容として,自分が関心を持つ日本 文化について考えて来てください(40分程度)。					
2					魅力につい		事前に配布する英語文献を通読しておいてくださ い(1時間程度)。					
3	Local A けてのi		ons(1):	身近なん	云統文化鑑賞	賞に向	指定したテーマについて、日本語と英語で調べた内容をまとめておいてください(50分程度)。					
4	フィー	レドワー	カ①・自	近か伝統	売文化の鑑賞	営	私たちの身近なところにある伝統文化を体験します。 (状況によってはオンラインに変更して実					
5	7 1 7	- 1 2	<i>7</i> ① . 2	12 / A A	yu 🔨 L 🕶 🚉		施)			7年7年及天日		
6	フィーバ	レドワー	ク①のま	ことめ						てまとめるにに ごさい(30分程度		し
7	フィーバ	レドワー	ク①の発	表						よう, プレゼン い(1時間程度)		/ 3
8	Local A けてのi		ons(2):	身近なり	見代文化調	査に向	多くの人に て来てくだ			(県内のスポッ)。	トを考	え
9	フィーバ	フィールドワーク②の計画								でどのような情 ヾて来てください		
10	フィーバす	フィールドワーク②:宮城県内の新たな魅力				力を探	備をしてお			fの取材・調査を グループワーク		
11	フィーバ	レドワー	ク②のま	:とめ:原	福作成		程度)。 調査した事 度)。	項をまとめ	てお	いてください(1時間	程
13	フィーバ	レドワー	ク②のま	:とめ:英	語表現推高	ξ	英語表現の	ーネットで		なSNSアカウン Eしておいてくか		
									やす	ーノまとめられる	ストス	% ⊭

備考 この科目は前期と後期でそれぞれ開講する。状況によって,内容や進度に変更が生じる場合がある。 **※以下は該当者のみ記載する。**

随時紹介する。

14

15

教科書

参考文献

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

フィールドワーク②:発信方法の検討とその実行

フィールドワーク②の発表

使用しない。資料を適宜配布する。

調査した内容を分かりやすくまとめられるよう準

調査した内容が発表できるよう,プレゼンテーションの準備をしてきてください(1時間程度)。

備をしてきてください(1時間程度)。

2 3 科目ナンバリング 基礎力 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-5-SEM-04 学修成果 単位 科目名 観光ゼミナールD 佐藤 美輪 試験(レポート) % 50 認定者 観光ビジネス学科 単位数 1 単位 授業内課題等 % 選択 1年 前期 30 価 開講時期 後期 の 対象学科 観光ビジネス学科 選択 2年 授業時間数 30 時間 方 受講態度 20 % 必修 選択 法 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と,課題を発見し解決する能力の育成を目的と 授業の概要 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修得した専門 的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身につける。 到達目標 学修者への 期待等 授業計画 準備学修 回 1 2 3 4 5 6 7 8 今年度は開講しません。 9 10 11 12 13 14 15 教科書 参考文献

※以下は該当者のみ記載する。

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

科目ナンバリング 2 3 4 5 実践力 人間関係力 生涯学習力 地域理解力 TB-5-SEM-05 基礎力 学修成果 単位 試験(レポー 観光ゼミナールE % 科目名 林 春伽 50 認定者 卜) 観光ビジネス学科 選択 単位数 1 単位 授業内課題等 % 1 年 30 前期 価 開識時期 後期 മ 対象学科 方 必修·選択 授業時間数 % 観光ビジネス学科 選択 2年 30 時間 受講態度 20 法 配当年次 授業形態 演習 授業回数 15 回 観光ビジネス現場で必要とされる豊かなコミュニケーション能力と,課題を発見し解決する能力の育成 を目的とする。 授業の概要 観光現場でのフィールドワークを通じて、論理的に自分の考えを第三者に伝える能力と本学科で修得 した専門的知識をさらに深化させ、将来観光ビジネス等の分野で活躍できるビジネス実務能力を身につ 身近な観光地を実際に訪れ,実際に行き,具体的に観光の様子や情報を収集できるようになる。さら 到達日標 に,協調性やグループワークの力を身につけるとともに,発表を通じて情報伝達の能力を修得する。 学修者への 集団で課題に取り組み、積極的に自身の意見を発言する姿を期待する。フィールドワーク結果の発表 の際には聞き手に分かりやすく情報を伝える力を身につけてほしい。 期待等 授業計画 準備学修 1 ガイダンス(授業の流れや進め方について) 1人10分以内の自己紹介文を作成してきてくださ 自己紹介とゼミ長, 副ゼミ長の選出 2 い。(30分程度) 秋保成立の歴史について各自調べてきてください。 秋保成立の歴史 3 (30分程度) 秋保とその付近の文化遺産について各自調べてきて 4 秋保の文化遺産について ください。(30分程度) 秋保の温泉や旅館について各自調べてきてくださ 5 温泉地秋保の魅力について い。(30分程度) 秋保の観光スポットを各自調べてきてください。 6 秋保の観光スポットについて (30分程度) 効果的なフィールドワークを行うため着目する点な 7 フィールドワークの準備 どを考えてきてください。(40分程度) 8 フィールドワーク 9 フィールドワーク調査の振り返りと報告書作成の準 前回までの授業内容を復習してきてください。 (30 10 備 分程度) 前回までの授業内容を復習してきてください。 報告書と発表資料作成 11 分程度) 前回までの授業で作成した報告書を完成させてきて 12 報告書作成と発表準備 ください。 (30分程度) 分かりやすく発表するように各自スライドを作成し 13 報告書の発表、質疑応答、相互評価(1)全体発表 てきてください。(1時間程度) 報告書の発表,質疑応答,相互評価(2)発表改善 発表内容を振り返り改善案を考えてきてください。 14 ディスカッション (1時間程度) 15 全体の振り返り 教科書 特になし。必要に応じて適宜紹介する。

※以下は該当者のみ記載する。

参考文献

備考

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

特になし。必要に応じて適宜紹介する。

新型コロナウイルス感染症拡大により予定変更が余儀なくされる場合がありますが臨機応変に対応してください。

この科目は前期と後期でそれぞれ開講します。状況によって,内容や進度に変更が生じる場合があります。

観光ビジネス学科

- ナンバリング
- 学科教員一覧
- オフィスアワー
- 成績評価
- 実務経験を有する教員一覧

観光ビジネス学科のナンバリング

【例】TB-1-〇〇〇-01

ТВ	-	1	-	000	-	01
1	半角[-]	2	半角[-]	3	半角[-]	4

①学科(専攻)識別番号

観光ビジネス学科:TB固定

②科目レベル

教養科目:0(全学共通教養科目も学科独自教養科目も同じ)

専門基礎科目:1 専門基幹科目:2 専門展開科目:3

演習科目(基礎演習):4 演習科目(専門演習):5

③科目分類

半角アルファベット (大文字)3桁

教養教育分野				
人間と文化	HCU	Human & culture		
人間と社会	HSO	Human & society		
人間と科学	HSC	Human & science		
専門教育分野				
基礎科目	FCO	Foundation Courses		
基幹科目	ССО	Core Courses		
展開科目	ECO	Extended Courses		
演習分野				
基礎演習	SEM	Seminar		
専門演習	SEM	Seminar		

④連続番号

半角数字2桁

全学共通教養教育科目は全学科、以下のナンバリングを使用する。

科目名称	ナンバリング
日本語表現法	CO-0-HCU-01
英語	CO-0-HCU-02
歴史と文化	CO-0-HCU-03
法律入門	CO-0-HSO-04
現代の社会	CO-0-HSO-03
情報処理	CO-0-HSC-01

	科目区分	授業科目の名称	ナンバリング
		日本語表現法	CO-0-HCU-01
		英語 I	CO-0-HCU-02
≱/,	人間と文化	東北学	TB-0-HCU-03
教養教育分		歴史と文化	TB-0-HCU-04
教育		法律入門	CO-0-HSO-04
	人間と社会	現代の社会	CO-0-HSO-02
野		コミュニケーション論	TB-0-HSO-01
	1 88 3 47 37	情報処理	CO-0-HSC-01
	人間と科学	数理リテラシー	TB-0-HSC-01
		経営学入門	TB-1-FCO-01
		マーケティング	TB-1-FCO-02
		観光概論	TB-1-FCO-03
	基礎科目	観光ビジネス論	TB-1-FCO-04
		国内観光地理	TB-1-FCO-05
		国際観光論	TB-1-FCO-06
		観光史と観光文化	TB-1-FCO-07
		英語Ⅱ	TB-2-CCO-05
	基幹科目	ビジネスマナー	TB-2-CCO-03
	左 轩 代 日	情報機器演習	TB-2-CCO-02
		観光ビジネス英会話	TB-2-CCO-01
専		旅行ビジネス実務	TB-3-ECO-01
門		エアラインビジネス実務	TB-3-ECO-02
教 育		エアラインサービス	TB-3-ECO-03
育分野		鉄道ビジネス実務	TB-3-ECO-04
野		宿泊ビジネス実務	TB-3-ECO-05
		ホテル・ブライダルサービス	TB-3-ECO-06
		ホテル経営	TB-3-ECO-07
	展開科目	ブライダルビジネス実務	TB-3-ECO-08
	展 州 行 日	ウェディングブライダル演習	TB-3-ECO-35
		秘書実務	TB-3-ECO-09
		旅と文学	TB-3-ECO-12
		テーマパークビジネス	TB-3-ECO-13
		旅行業法	TB-3-ECO-14
		旅行業約款	TB-3-ECO-15
		国内運賃・旅費計算	TB-3-ECO-16
		国内観光資源	TB-3-ECO-19

		旅行業務演習	TB-3-ECO-20
		海外観光地理	TB-3-ECO-22
		旅程管理	TB-3-ECO-23
		東南アジアの言語と文化	TB-3-ECO-36
		韓国語会話I	TB-3-ECO-24
		韓国語会話Ⅱ	TB-3-ECO-37
専門		中国語会話 I	TB-3-ECO-25
教		中国語会話Ⅱ	TB-3-ECO-38
教育分野	展開科目	フランス語会話	TB-3-ECO-26
野野		英会話基礎	TB-3-ECO-32
		英会話応用	TB-3-ECO-39
		観光英語	TB-3-ECO-40
		TOEIC 演習	TB-3-ECO-31
		おもてなし英語	TB-3-ECO-28
		観光英語ガイド基礎	TB-3-ECO-30
		観光インターンシップ	TB-3-ECO-33
		海外研修	TB-3-ECO-34
		基礎キャリア形成ゼミ	TB-4-SEM-01
	基礎演習	実践キャリア形成ゼミ	TB-4-SEM-02
淀		初年次ゼミ	TB-4-SEM-04
演習分		観光ゼミナールA	TB-5-SEM-01
分野		観光ゼミナールB	TB-5-SEM-02
野 [*]	専門演習	観光ゼミナールC	TB-5-SEM-03
		観光ゼミナールD	TB-5-SEM-04
		観光ゼミナールE	TB-5-SEM-05

観光ビジネス学科 学科教員一覧

	職位	氏名	研究室	電話番号	E-mail
1	教授 (学科長)	成澤 広幸	成澤 研究室	022-395-5894	h_narusawa@seiyogakuin.ac.jp
2	教授	ばく ひょんすく 朴 賢淑	朴研究室	022-395-5942	h_park@seiyogakuin.ac.jp
3	講師	吉野 千乃	共同 研究室	022-395-6026	c_yoshino@seiyogakuin.ac.jp
4	講師	佐藤、美輪	共同 研究室	022-395-6097	m_satou@seiyogakuin.ac.jp
5	助教	林春伽	共同 研究室	022-302-5591	h_hayashi@seiyogakuin.ac.jp

2022年度 観光ビジネス学科 オフィスアワー

オフィスアワーとは、教員が学生の皆さんとのコミュニケーションを充実させ、個別に相談を受けるために研究室に在室する時間を設ける制度のことです。

相談を希望する教員のオフィスアワーの時間帯は、掲示などによりお知らせします。 指定時間に教員が研究室で待機していますが、臨時の会議や出張などにより不在の 場合もありますので、電話・メールなどで事前に連絡をとることをおすすめします。

非常勤の先生には、非常勤講師控室 (1階事務室内にあります) または授業後の教室で 相談をすることができます。

成績評価

成績評価基準は次のとおりです。

判定	成績評価	点数	GP
	秀 (AA)	90点以上	4
合格	優 (A)	80点以上90点未満	3
(単位認定)	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
	不可 (D)	60点未満(※)	0
不合格 (単位認定不可)	評価不能(E)	(1)履修規程第6条第5項により、受験資格を有しない者(2)資格取得に係る実習で、各学科が関係法令を踏まえて授業科目ごとに定める時間数を満たさない者	0

(※) 再試験で合格の場合の成績評価は可(C)、GPは1ポイントとなります。

観光ビジネス学科 実務経験を有する教員の科目一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
東北学	2	黒田 清志	H6年からH23年まで仙台市経済局、および仙台市 観光コンベンション協会で、また、中小企業診断士と して、地域の中小企業、商店街、農業、観光の支援 事業を担当。その後、山形県など各地の研修会等の セミナー講師、アドバイザーを務める。
法律入門	2	山口 元気	司法書士として,各種法律相談の相談員を経験。
ビジネスマナー	2	加藤 雅子	元大手国内航空会社国際線CA及びCA教官。機内 サービスCS推進部担当経験者。
エアラインビジネス実務	2	加藤 雅子	元大手国内航空会社国際線CA及びCA教官。機内 サービスCS推進部担当経験者。
鉄道ビジネス実務	2	紺野 純一	国鉄・JR職員(仙台駅長等)の経歴を経て、現東北 観光推進機構専務理事。
宿泊ビジネス実務	2	紺野 純一	元国鉄・JR職員、仙台ターミナルビル(株)専務取締役総支配人等の経歴を経て、現東北観光推進機構専務理事。
ホテル・ブライダルサービス	2	小野寺 理恵	ブライダルコーディネーターとして実務経験を有する。
ウェディングブライダル演習	1	梅宮 三輪子	ブライダル業界での実務経験を有する。
ブライダルビジネス実務	2	小野寺 理恵	ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル経験(美容、司会、アテンド、プランナー等)あり。
旅行業法	2	堤博史	総合旅行業務取扱管理者,観光庁登録の旅程管理 講習資格を有する。
旅行業約款	2	堤 博史	総合旅行業務取扱管理者, 観光庁登録の旅程管理 講習資格を有する。
旅行業務演習	1	堤 博史	総合旅行業務取扱管理者,観光庁登録の旅程管理 講習資格を有する。
旅程管理	2	堤 博史	総合旅行業務取扱管理者, 観光庁登録の旅程管理 講習資格を有する。
	24	実務経験を有する職員が担	当する科目の単位
		設置基準上の標準単位数	